

令和7年度公益財団法人せたがや文化財団の経営状況に関する書類の提出

1. 実施事業

世田谷文化生活情報センター / 生活工房		世田谷文化生活情報センター / 音楽事業部	
PART OF THE ANIMAL ―動物と人間のあいだ	28,197人	ミュージック・ラウンジ	710人
ヘアカラー展 なぜ染める、なぜ染まる。	37,809人	異分野とのコラボレーション	176人
戦後80年企画・春日明夫コレクション 子どもの時代―戦前・戦中・戦後 子どもをめぐる昭和 の暮らしと文化展	42,696人	室内楽シリーズ	1,274人
三軒茶屋 大三角地帯展 ―ひらき、ひもとく記憶と記録―	46,258人	せたがやジュニアオーケストラ	1,613人
生活工房常設展示 生活工房アレコレ2025	75,471人	シリーズ和・華・調	174人
セミナー・ワークショップシリーズ「日常を見限らない〈味覚〉のワーク ショップ」、「老人性アメイジング！vol.3寿ぎと尊厳」、穴アーカイブ2025 「世田谷クロニクル1936―83」、「せたがやアカカブの会」、「エトセトラの 時間」、子どもワークショップ2025「せたがやアートファーム2025 セー かつぶれぶれこーぼー」「第24回おはなしいっぱい」、「ちかくのとーく 三茶亭」、「RISO WORKSHOP リソグラフ®でZINEをつくる」ほか		宮川彬良のせたがや音楽研究所	418人
		せたがやまちかど・まちなかコンサート、せたがや名曲コンサート、連携 コンサート、音楽講座、世田谷アーティスト支援企画Discovery Setagaya Sounds ほか	
総入場者数	270,899人	総入場者数	11,444人
世田谷文化生活情報センター / 世田谷パブリックシアター			
上村聡史演出作品 『みんな鳥になって』	11,469人	カンパニー・ルーブリエ／ラファエル・ポアテル 『Ombres Portées/キャストシャドウ』	953人
芸出監督企画 『シッタールタ』	29,012人	海外招聘ダンス ピーピング・トム『トリプティック』	2,146人
杉原邦生演出作品 『黒百合』	5,871人	フリーステージ(音楽部門・ダンス部門・バレエ部門)、移動劇場「あっと ホーム公演」、学校のためのワークショップ、せたがやアートファーム 2025 アロフト・サーカス・アーツ『ブレイブ・スペース』『せたがや夏いちら くご』『キャプテン・アメイジング』、あたらしい国際交流プログラム リー ディング公演『不可能の限りにおいて』『紅い落葉』、地域の物語 ほか	
瀬戸山美咲演出 音楽劇 『コーカサスの白墨の輪』	7,571人	総入場者数	236,875人
世田谷文化生活情報センター / 国際事業部			
せたがや国際交流センターの運営	5,282人	外国人のための日本語教室	105人
まち歩き	51人	せたがや日本語サポーター講座	125人
にほんご交流会	278人	区内活動団体の支援事業(せたがや国際交流センター館内展示企画 連携)、区民国際交流事業(多様性・多文化に出会う、せたがや国際 メッセ) ほか	
多文化理解講座	419人	総入場者数	9,247人
世田谷文化生活情報センター			
世田谷アートタウン2025『三茶de大道芸』	165,000人		
世田谷美術館		世田谷文学館	
世田谷美術館コレクション選 緑の惑星―セタビの森の植物たち	4,891人	開館30周年記念 土郎正宗の世界展 ～『攻殻機動隊』と創造の軌跡～	57,155人
横尾忠則 連画の河	28,901人	開館30周年記念事業 「セタブン30祭」	1,457人
野町和嘉―人間の大地	14,277人	ドナルド・キーン展 Seeds in the Heart	8,996人
自然と魂 利根山光人の旅 ―異文化にみた畏敬と創造	9,010人	コレクション展前期 海野十三と日本SF 同時開催「ムットーニ コレクション」	20,698人
つぐ minä perhonen	81,110人	コレクション展後期 世田谷線・100年間のものがたり 同時開催「ムットーニ コレクション」	8,034人
本館ミュージアム コレクション(前年度からの継続含め 年4回)	53,567人	ライブラリー「ほんとう」の運営	25,989人
各分館収蔵品展(年2回)	10,045人	どこでも文学館(出張展示、ワークショップなどの教育 普及事業)	364,306人
講座・ワークショップ、鑑賞教室、区民ギャラリー、他		幼保連携事業、企画展・コレクション展・ライブラリー関連講演会、上映 会、コンサート等事業、セタブンマーケット、ホームページコンテンツ制 作、「ほんととわラジオ」放送 ほか	
総入場者数	370,764人	総入場者数	497,887人

2. 損益計算書(正味財産増減計算書)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	公2	小計	収1	収2	小計			
	文化芸術の振興、 地域文化創造活動 の支援及び教育普 及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業		物品販売事業	飲食物提供事業				
I 一般正味財産の部									
1 経常増減の部									
(1)経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	3,728,332		3,728,332
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	1,258,300		1,258,300
事業収益	2,025,434,439	374,900	2,025,809,339	46,145,218	3,204,739	49,349,957	0		2,075,159,296
受取区補助金	1,267,037,848	53,258,000	1,320,295,848	0	0	0	138,009,000		1,458,304,848
受取助成金等	75,183,470	1,523,000	76,706,470	0	0	0	0		76,706,470
受取寄附金	900,000	0	900,000	0	0	0	0		900,000
受取負担金	6,954,556	0	6,954,556	172,650	5,941,352	6,114,002	0		13,068,558
雑収益	346,142	0	346,142	30,340	0	30,340	737,825		1,114,307
経常収益計(A)	3,375,856,455	55,155,900	3,431,012,355	46,348,208	9,146,091	55,494,299	143,733,457		3,630,240,111
(2)経常費用									
事業費	3,295,504,585	51,176,692	3,346,681,277	35,486,501	6,980,864	42,467,365			3,389,148,642
管理費			0			0	114,837,641		114,837,641
経常費用計(B)	3,295,504,585	51,176,692	3,346,681,277	35,486,501	6,980,864	42,467,365	114,837,641		3,503,986,283
当期経常増減額(C)=(A-B)	80,351,870	3,979,208	84,331,078	10,861,707	2,165,227	13,026,934	28,895,816		126,253,828
2 経常外増減の部									
(1)経常外収益	165,262	0	165,262	0	0	0	0		165,262
経常外収益計(D)	165,262	0	165,262	0	0	0	0		165,262
(2)経常外費用	773,295	0	773,295	0	0	0	0		773,295
経常外費用計(E)	773,295	0	773,295	0	0	0	0		773,295
当期経常外増減額(F)=(D-E)	△ 608,033	0	△ 608,033	0	0	0	0		△ 608,033
他会計振替前当期一般正味財産増減額(G)=(C+F)	79,743,837	3,979,208	83,723,045	10,861,707	2,165,227	13,026,934	28,895,816		125,645,795
他会計振替額(H)	5,793,987	0	5,793,987	△ 4,830,959	△ 963,028	△ 5,793,987	0		0
法人税、都民税及び事業税(I)	0	0	0	1,007,217	200,783	1,208,000	0		1,208,000
当期一般正味財産増減額(J)=(G+H-I)	85,537,824	3,979,208	89,517,032	5,023,531	1,001,416	6,024,947	28,895,816		124,437,795
一般正味財産期首残高(K)	699,341,066	27,929,876	727,270,942	160,092,740	17,118,610	177,211,350	△ 9,465,579		895,016,713
一般正味財産期末残高(L)=(J+K)	784,878,890	31,909,084	816,787,974	165,116,271	18,120,026	183,236,297	19,430,237		1,019,454,508
II 指定正味財産の部									
受取寄附金	1,468,500	0	1,468,500	0	0	0	0		1,468,500
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	3,728,332		3,728,332
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	3,728,332		3,728,332
当期指定正味財産増減額(M)	1,468,500	0	1,468,500	0	0	0	0		1,468,500
指定正味財産期首残高(N)	10,253,731	0	10,253,731	0	0	0	800,000,000		810,253,731
指定正味財産期末残高(O)=(M+N)	11,722,231	0	11,722,231	0	0	0	800,000,000		811,722,231
III 正味財産期末残高(P)=(L+O)	796,601,121	31,909,084	828,510,205	165,116,271	18,120,026	183,236,297	819,430,237		1,831,176,739

令和7年度
公益財団法人せたがや文化財団

事業報告書
財務諸表

自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日

公益財団法人 せたがや文化財団

目 次

(事業報告書)

1	令和7年度事業報告総括	1
2	事業実績	11
3	事業評価	48
4	重要な契約の概要	53
5	登記事項	54
6	理事会・評議員会開催状況	55
7	役員名簿	58
8	評議員名簿	59
9	財団幹部名簿	60

(財務諸表)

1	貸借対照表	62
2	損益計算書（正味財産増減計算書）	63
3	附属明細書	78
4	財産目録	79

(監査報告)

監査報告書	82
-------------	----

事業報告書

1. 令和7年度事業報告総括

(1) 財団全体の取組み

せたがや文化財団は、世田谷区の文化・芸術振興におけるパートナーとして、世田谷区第4期文化・芸術振興計画の将来像である「誰もが文化・芸術を楽しめるまち 世田谷」の実現に向け、取組みを進めてきた。

令和7年度(2025年度)のせたがや文化財団全体での施設入場者・事業参加者は、前年度を超える約140万人となった。世田谷パブリックシアターでは、「シッダールタ」が約6週間、50公演で約2万9千人の集客という、これまでにないロングラン公演を成功させた。音楽事業部では、「世田谷アーティストバンク」事業の事務局を担い、31組の演奏家等を登録し今後の活動につなげた。世田谷美術館の「横尾忠則 連画の河」では、本展のために2年間にわたって制作した150号を中心とする新作油彩画約60点を展示するなど、アーティストと美術館との信頼関係に基づく企画となった。世田谷文学館の開館30周年記念事業「セタブン30祭」では展示、シンポジウム、連続講座、街歩きイベントなど、多彩な事業を展開した。

夏休み期間に、子どもから大人まで楽しめる多彩な企画を取り揃えた「せたがやアートファーム」事業では、世田谷パブリックシアターでの演劇・ダンス・寄席公演に加え、子ども達がデザイナーやアーティストと交流しながら自由に造形活動を体験できる「せーかつぷれぷれこーぼー」を、生活工房が技術部の協力を得て開催した。世田谷文学館の開館30周年記念「ドナルド・キーン展」に併せ、音楽事業部が、オペラと能楽という2つの側面から連携コンサートを技術部の協力を得て開催した。このように3館6つのジャンルを一括で運営するというスケールメリットを活かした独創的で効果的な事業展開を図ることができた。

財団の運営面では、引き続きコンプライアンスを遵守し、適正な財団運営を行うとともに人材活用計画の見直しや旅費規程の改正等を行い、職員の働きやすい就労環境の整備に取り組んだ。また、外部理事・監事、評議員は、法の規定を順守し定款の定めに従い各部門の識者を選任し、ガバナンスを確保している。理事・監事、評議員の役員等へは、定期報告だけでなく事業の案内を送ることで、役員の役割を全うできるよう配慮している。

財務面では、公益目的事業比率(注)は9割を超えており、損益は経常収益が36億3,024万余円、経常費用が35億399万余円で、当期経常増減額は1億2,625万余円のプラスとなった。

混沌とする国際情勢や、それに伴う諸物価の高騰など、先行きの不透明感はさらに強まり区民生活に暗い影を落としている。このような時だからこそ、財団は、文化・芸術が持つ力を最大限に発揮し、人々を繋ぎ、次世代が希望を持ち続けるための一助となるような取組みを、区とともに進めていく。

(注)公益目的事業比率：公益法人の活動全体における公益目的事業活動の割合がその費用額において、50%以上であることを求めるもの(公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第15条)

各事業部の事業参加者・施設入場者数の推移(人)

年度	生活工房	パブリックシアター	音楽事業部	国際事業部	世田谷美術館	世田谷文学館	合計
令和 7(2025)	270,899	236,875	11,444	9,247	370,764	497,887	1,397,116
令和 6(2024)	221,367	173,377	11,845	8,411	334,369	566,685	1,316,054
令和 5(2023)	152,692	211,081	7,488	8,142	287,092	343,871	1,010,366
令和 4(2022)	159,741	214,182	6,350	7,056	352,362	375,167	1,114,858
令和 3(2021)	212,399	147,748	2,608	5,047	276,315	270,977	915,094

(オンライン参加者数を含む。世田谷アートタウン「三茶 de 大道芸」は含まず)

(2)各事業部事業

《世田谷文化生活情報センター》

① 生活工房

生活工房は、区民の暮らしに身近な文化施設として、「暮らしをデザインする」をコンセプトに、デザインやアート、生活文化をテーマにした展覧会や、年齢や障害の有無にかかわらず様々な人たちが交流・対話する場となるワークショップ、セミナー等を実施した。施設の維持管理を適切に行い、運営にあたっては、来場者が快適な時間を過ごせるような環境づくりに努めた。市民活動団体とも連携し、多くの方が文化・芸術に触れあう機会を広げた。ホームページや情報誌で事業を広報するとともに、様々な創作・表現活動の魅力を伝え、積極的な情報発信に取り組んだ。映像アーカイブの活用や、動画コンテンツの一層の充実も図った。

公1-2「文化芸術の啓発、体験に資する展覧会」

身近にあるものの科学に焦点をあてた「ヘアカラー展 なぜ染める、なぜ染まる。」では、白髪染めからファッションツールへと変容したヘアカラーの歴史を紹介し、技術と時代のトレンドが両輪で進化してきた文化史をひもといた。

「戦後80年企画・春日明夫コレクション 子どもの時代―戦前・戦中・戦後 子どもをめぐる昭和の暮らしと文化展」では、戦後80年、世田谷区平和都市宣言40年を機に、玩具や雑誌、双六や教材から、アートやデザインの力が戦時下には戦意高揚に利用され、戦後は平和教育に寄与した事実を伝えた。

移転前の生活工房ギャラリー最後の展示となる「三軒茶屋 大三角地帯展―ひらき、ひもとく記憶と記録―」では、令和4年度(2022年度)から生活工房アニュアルレポートで特集してきた三角地帯のフィールドワークの成果を紹介すると同時に、来場者からも写真や言葉を広く募り、参加型かつコンテンツが進化していく展覧会場とした。

常設の展示コーナーでは、区内で収集した8ミリフィルムのアーカイブ「世田谷クロニクル」の中から、月替わりで作品を上映した。

公1-3「文化芸術の啓発、体験、支援などの教育普及活動」

「老人性アメイジング! vol.3寿ぎと尊厳」では、村瀬孝生氏によるユーモア溢れる介護トークと、社会学者の上野千鶴子氏による講演、映画上映など多彩なコンテンツを通じて、ネガティブに捉えがちな「老い」を豊かなものとして捉え直す試みとなった。

夏休み期間には、市民の手作り企画として回を重ねるおはなし会「第24回 おはなしいっぱい」を実施した。多彩な演目を幅広い年代の参加者が楽しんだ。また、世田谷パブリックシアターと協働した“せたがやアートファーム”の一環として、「セーかつぶれぶれこーぼー」を開催、ワークショップルームのある4階フロア全体を大きな工作室として地域に開放した。

8ミリフィルム映像のアーカイブの活用を進める「穴アーカイブ」では、映像を囲んで鑑賞する「せたがやアカカブの会」、障害のある人となない人が一緒に映像を鑑賞するオンライン・ワークショップ「エトセトラの時間 見えるものと見えないものを語る会」を実施した。「穴アーカイブ」10周年を記念し、事業に関心を寄せた小説家を招いてトークイベントを開催した。

事業アーカイブの充実と活用促進にも力を入れ、セミナーやワークショップの記録動画を順次公開した。

公1-6「文化芸術の活性化を図るための情報提供」

事業や施設について常に的確な情報を届けるため、ウェブサイトや館内掲示等を随時更新した。ウェブサイトの記事を充実させ、暮らしの中にある様々な創作・表現活動の魅力を伝えた。メディアへの情報提供とともにSNSも活用し、効果的な情報発信に取り組んだ。

情報誌「季刊 生活」や年次報告書「アニュアルレポート」を編集、発行した。情報と共に紙媒体のデザインの魅力を伝える体裁や装丁とした。

公1-7「国際交流のための文化芸術事業」

「日常を見限らない〈味覚〉のワークショップ」では、言葉によって多様に変化する味わいを体験し、日欧料理の文化を比較しながら、美味しさを感じるメカニズムや、出汁やコクの奥深い世界について学んだ。

公2-1「市民活動の支援及び振興に関する事業」

世田谷区内で活動する市民活動団体の支援を目的に、運営団体と協働し、「市民活動支援コーナー」の管理運営を行った。イベントでは、世田谷区内で地域に貢献する活動に取り組む団体や個人を囲むトークイベント「ちかくのとく」を、対面とオンラインでシリーズ開催した。また、世田谷うまれの印刷機である「リソグラフ」を活用し、創作ワークショップを行った。

② 世田谷パブリックシアター

世田谷パブリックシアターは、平成9年(1997年)に開場し、主劇場(世田谷パブリックシアター)とシアタートラムの2つの劇場と大小3つの稽古場を中心に、「新しい作品とレパートリーの創造」、「国際的な共同制作」、「地域や学校その他の区内施設との連携」、「普及啓発・人材養成事業」、「国内の公共劇場との連携」等を柱に、国内外に発信する創造型の公共劇場として活動している。令和4年度(2022年度)から芸術監督が白井晃に交代し、新たな展開を図っている。

公1-1「文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究」

国内演劇創作事業として、主劇場で4本の作品を上演した。令和8年度(2026年度)は主劇場が改修工事のため1年間休館となることを踏まえ、主劇場での上演に注力した。6～7月に『みんな鳥になって』、11～12月に『シッダールタ』、2月に『黒百合』、3月に『コーカサスの白墨の輪』を上演。このうち2作品はツアー公演を実施し、好評を得た。『シッダールタ』は約6週間というこれまでにない長期公演に挑み、券売も好調でロングランという新しい主催公演のモデルを作ることができた。

令和7年度(2025年度)はコロナ禍の影響も比較的小さくなったが、感染症を原因とする公演中止の危険性が去ったわけではなく、体調不良による出演者の休演も複数発生した。しかしながら、一部公演ではアンダースタディ(代役)を準備したり、カンパニー内であらかじめ代演の可能性を見越した対策を講じるなどの工夫を凝らすことで、中止公演を出すことなく舞台成果を最後まで観客に届けることができた。

上演作品は一部観客動員が目標に届かない公演もあったが、ツアー公演を含めて健闘したと考えている。また、いずれの作品も各種メディアに好意的な劇評が掲載されるなど、高い評価をいただいた。『みんな鳥になって』は第33回読売演劇大賞において、最優秀スタッフ賞(長田佳代子)を受賞した。白井晃芸術監督が自ら演出した『シッダールタ』では、芸術監督によるレクチャーを実施したり、近隣の大学や高校の学生・生徒に対する特別講義を実施するなど、多角的な取り組みを実施した。また、主劇場休館前の最後の上演となった『コーカサスの白墨の輪』の期間中には「サヨナラ 世田谷パブリックシアター 青空天井 劇場ツアー」と題した劇場ツアーを開催し、高い関心を集めることができた。

夏休み期間には、劇場をアートで満たされた「農園」にするというコンセプトで、子どもから大人まで楽しめる多彩な企画を取り揃えた“せたがやアートファーム”事業をさらに拡大した形で実施した。トリプルキャストによる一人芝居という意欲的な企画となった『キャプテン・アメイジング』、夏の定番事業として定着してきた春風亭一之輔プロデュースによる寄席企画『せたがや夏いちらくご』を上演すると同時に、各種のワークショップを展開してアートに触れ合う機会を提供した。『キャプテン・アメイジング』は地方公演も実施し、各地で好評を博した。また、文化庁「文化施設による高付加価値化機能強化支援事業」に採択されたことを受け、令和9年度(2027年度)以降の海外展開を見据えた企画としてリーディング公演『不可能の限りにおいて』、『紅い落葉』、さらに英国ロンドンでのワークショップを実施した。

令和7年度(2025年度)には、劇場部総合調整担当において、劇場が取り組んでいくべき課題に関して調査・研究を集中的におこなう体制を整備したことも特筆される。劇場を取り巻く環境が大きく変化しつつある中、俯瞰的な視点から劇場運営を考える礎としていきたいと考えている。

ダンス/演劇の提携公演では、劇場が目する次世代のアーティストやカンパニーを招聘し、公演をサポートする「フィーチャード・シアター」事業を継続して実施した。今年度に招聘したストミック『彼方の島たちの話』(作・演出・音楽:額田大志)、劇団普通『季節』(作・演出:石黒麻衣)の2作品が共に第70回岸田國土戯曲賞最終候補作品に選出されるなど、大きな成果を上げることができた。

公1-3「文化芸術の啓発、体験、支援などの教育普及活動」

コミュニティプログラムや学校プログラムを担当する学芸チームは、令和7年度(2025年度)より「学芸事業担当」として独立した部署となり、事業内容の整理と再検討を実施しつつ、さらに充実した展開を図るための検討作業を行った。

学校でのワークショップは、従来のプログラムに加え、新しい環境で人間関係を作ることが難しい子どもが増えているのではないかとの問題意識から、令和6年(2024年)のパイロットプロジェクトの成果を踏まえて小学校入学直後の児童を対象とした「新小学1年生のためのスタートカリキュラム」を本格的に展開するなど、新しい取り組みを行った。また、専門家育成プログラム「SPT ラボラトリー」でも、提携公演フィーチャード・シアター事業と連携して、演出家によるワークショップとクロストークを実施。提携ダンス公演と連携して実施している観客育成プログラム「ダンス食堂」とあわせ、公演事業と連携して人材育成を行う事業展開の可能性を模索した。

開場以来の区民参加型企画「地域の物語」は、令和7年度(2025年度)は「広場」をキーワードに、世田谷区内で活動する方々にインタビューを行って作品を立ち上げるという新しいアプローチを試みた。進行役として、若手演出家を新たに招くなど、ここでも公演事業との連携を深める試みを行った。

高齢者施設や障害者施設を訪問して行う「移動劇場あっとホーム公演」は、メンバーの入れ替えも行い、リフレッシュした内容で上演を行った。区教育委員会からの受託事業「小学校古典芸能鑑賞教室」は、せたがやイーグレットホールが開館したものの、周辺の工事が続いていることで児童のバス輸送が難しいという事情があり、前年度に続いて学校の体育館に出向く形で実施した。

公1-4「文化芸術活動の発表の機会の提供」

開場以来、区民が舞台に立つ機会として恒例となってきた「フリーステージ」は、コロナ禍の際に得られた知見を活用し、出演者間の感染予防に注意を払いつつ開催した。

また、若手実演家育成事業「シアタートラム・ネクストジェネレーション」は、応募者が固定化する傾向が見られたこともあり、令和5年度(2023年度)から「フィジカル」と「ドラマ」の2部門制とし、毎年交互に募集することとしており、今回は「フィジカル」部門を実施した。

公1-5「地域交流のための文化芸術事業」

秋の恒例事業となった世田谷アートタウン「三茶 de 大道芸」は、近隣の大学や区立図書館とも連携して規模を拡大させて実施した。令和7年度(2025年度)は日本におけるウェールズ年事業としてウェールズ国立劇団「シアター・カムリ」による上演も併催した。

公1-6「文化芸術の活性化を図るための情報提供」

刷新した劇場ホームページを継続的に更新し、広報紙誌、マスコミ媒体等を通じた発信と併せて、劇場の活動を広く区民等に発信した。

また、学芸事業のニュースレター『学芸プログラム通信』やテーマごとに事業を詳細に紹介する冊子『CarroMag(キャロマグ)』も発行した。

公1-7「国際交流のための文化芸術事業」

急激な為替変動や国際輸送費の高騰など、海外との交流事業には強い逆風が吹いているが、その中でも3本の海外招聘作品を上演した。継続的に作品を紹介してきたピーピング・トム『トリプティック』は今回も高い評価を集め、アートタウン関連企画として招聘したカンパニー・ルーブリエ/ラファエル・ボワテル『Ombres Portées/キャストシャドウ』は現代サーカスの新しい展開を予感させる公演となった。「せたがやアートファーム」でもアロフト・サーカス・アーツ『ブレイブ・スペース』を招聘し、各地へのツアーも実施した。

③ 音楽事業部(せたおん)

公1-1「文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究」

「室内楽シリーズ」は、3企画を実施。『J-TRAD Ensemble MAHOROBA ー日本伝統音楽の新しいかたち』は、独自の道を歩むグループの現在地を余すところなく伝えた。『上野耕平 サクソフォン・ワールド』では、ソロと四重奏の2つの形態で、若きトップ・サクソフォン奏者の力を示した。両者とも、小学生を対象としたワークショップも行った。『一子どもと大人に贈る語りと音楽ー遠くから来たきみの友だち』は春休みの特別企画。細川俊夫の子ども向けオペラを日本初演した。提案者でもある若い演奏家たちの、入念な準備を重ねた充実の演奏で、音楽関係者からも称賛を受けた。

「シリーズ和・華・調」は、貴重な「宮園節」を取り上げ、注目を集めた。解説も含め、望みうる最良の形で紹介となり、せたおんの存在感を示すことになった。

「KSO 高雄市青少年交響楽団・SJO せたがやジュニアオーケストラ 交流コンサート」は、3度目の共演。高雄市青少年国楽団も一緒に来日して、バラエティに富んだプログラムとなり、親善に花を添えた。

「せたがやジュニアオーケストラ オータムコンサート」は、合奏だけでなく、吹奏楽や弦楽のアンサンブル演奏も交えた公演。メンバーが進行役を務め、親しみが持てるように趣向を凝らした。終演後には、楽器体験のワークショップを行った。

「宮川彬良のせたがや音楽研究所」は、子どもの持つ可能性に焦点をあてた。子どもたちから「鼻歌」を募集して紹介、作品に仕立てて演奏するという、たいへんユニークな公演になった。

「ミュージック・ラウンジ」は、3企画を実施。打楽器のリズムで会場を乗せるもの、ベテラン歌手の技で会場を巻き込むもの、アットホームな雰囲気と若いエネルギーで会場を包むもの、三様の個性で、観客を魅了した。

「世田谷区民会館ラウンジ・コンサート」は、ラウンジ空間を利用して無料のコンサートを開催した。世田谷区民会館音楽事業アドバイザー推薦の様々な音楽家が登場。締めくくりに、アドバイザー3人によるトークイベントも行った。

池辺晋一郎音楽監督企画『異分野とのコラボレーション』は“水と音楽”がテーマ。朗読、歌、ピアノの実演とトークで、“水”が音楽に与えた影響を解き明かす、興味の尽きない公演となった。

支援しているアマチュア団体、世田谷フィルハーモニー管弦楽団と世田谷区民合唱団による「せたがや名曲コンサート」は、『ヴェルディ・オペラ・ガラ』と銘打ち、4作品から選り抜きの楽曲を演奏した。ソリストの好演もあり、多数集まった観客から好評を得た。

「連携コンサート」は、世田谷文学館の開館30周年記念『ドナルド・キーン展』に合わせ、オペラと能楽という2つの側面から2企画を実施。周到な準備の甲斐あって、意義深いものとなった。

公1-3「文化芸術の啓発、体験、支援などの教育普及活動」

「音楽講座」として、夏休みにテルミンと打楽器、2種類のこども対象ワークショップを開催。また、音楽とAIについて考えるトークイベントのほか、区民愛好家たちが語り合う『せたおん音盤ミーティング』を2回開催、関連したフリーペーパーも2号発行した。

「せたがやジュニアオーケストラ」は、連携する東京フィルハーモニー交響楽団との関係を密にしながら、1年間に4公演を実施。池辺晋一郎音楽監督の縁で繋がる姫路市ジュニアオーケストラとの「交流イベント」では、気鋭の若手指揮者・米田覚士との出会いもあった。

締めくくりの「定期演奏会」では、セクションディレクターがソリストとなった協奏曲をはじめ、難曲が揃ったプログラムを見事にこなして、喝采を受けた。

「学校への訪問企画」は、区立の小・中学校3校で実施。各校の状況、要望に合わせた形で、コンサートを実施した。

公1-4「文化芸術活動の発表の機会の提供」

「世田谷アーティスト支援企画『Discovery Setagaya Sounds』」は、エリック・ミヤシロのビッグバンドに、井上鑑が加わる、世田谷ならではの公演で、目覚ましい成果を得た。

「区民参加プログラム」では、亀田誠治のプロデュースで『Setagaya Voice Fes』を実施。事前のハーモニー・ワークショップに参加した老若男女30人が、腕利きの音楽家たちと共演しただけでなく、客席も巻き込んだ、会場全体が一体化した公演になった。

「世田谷区民音楽団体の支援」は、引き続き、世田谷フィルハーモニー管弦楽団、世田谷区民合唱団、世田谷区民吹奏楽団の3団体の活動を支援した。

公1-5「地域交流のための文化芸術事業」

「せたがやまちかど・まちなかコンサート」では、『まちなかコンサート』をせたがやイーグレットホールで、初めて開催した。ホールだけでなく、集会室やラウンジも会場にして、家族連れなどを喜ばせた。玉川せせらぎホールでの『Sirius Christmas Duo』は、唯一の玉川地域での開催で、歓迎を受けた。夏休みには、こどもたち向けワークショップに関連した『まちかどコンサート』を2回行った。

世田谷区からの受託事業である「ホストタウンコンサート」では、世田谷区がホストタウンになっているアメリカ合衆国で生まれた音楽、ゴスペルを楽しむコンサートを実施した。

「Setagaya Arts Place」では、世田谷区や商店街などが主催する15か所計16回のイベントに、趣旨に沿った芸人や音楽家を派遣した。

世田谷区が新たに始める「世田谷アーティストバンク」事業を受託、音楽演奏部門の発足にあたっては、事務局機能を担い、立ち上げ準備作業を担当した。

公1-6「文化芸術の活性化を図るための情報提供」

「音楽事業部広報」活動は、年間の活動を紹介する冊子『せたおんイベント』を発行したほか、積極的な SNS 発信やホームページに細かく手を入れ、改善を図るなど、インターネット・メディアの活用に励んだ。

④ 国際事業部

公2-1「市民活動の支援及び振興に関する事業」

せたがや国際交流センターでは、在住外国人からの問合せや相談に、情報提供や相談機関の紹介、必要に応じて関連する団体と連携を取りながら柔軟なサポート体制に努めた。

「市民活動支援」では、区内で子育て支援を行う国際交流団体と連携して「多様性・多文化」をテーマにしたイベント「世界のことばでおはなし会」「せたがや・せかいファミリーDAY」を開催して、若い親子世代からも好評を得た。

「区民国際交流事業」では、区共催の「せたがや国際メッセ」で区民と留学生が英会話で交流する「イングリッシュテーブル」を担当した。また、留学生や区内在住外国人と区民が“やさしい日本語”で会話する「にほんご交流会」は、テンプル大学ジャパンキャンパスで4回、日本大学文理学部でも1回開催し、気軽に参加できる交流イベントとして定着した。

令和7年度(2025年度)の「まち歩き」は、「日本語教室」「サポーター講座」の受講者対象の「さんちゃ・にほんご・まちたんけん」を11月に実施した。公益財団法人世田谷区産業振興公社、地元商店街の方々に協力いただき、まちを散策しながら日本人と外国人が交流を楽しむ機会となった。

「多文化理解講座」は、様々な文化、生活等を体験し学ぶ機会とした。第1回は「やさしい日本語ワークショップ入門編」、外国人等にも優しい平易な日本語に言い換えを体験しながら、外国人とのコミュニケーションについて学習した。第6回には「やさしい日本語ワークショップ実践編」として、国士館大学留学生にも協力してもらい、日本人と外国人の相互の視点から「日本語の伝わり方」をディスカッションしながらワークショップ形式で実践した。第2回は外国人対象の「外国人のための いけばな体験(草月流)」を開催した。第3回の難民映画祭パートナーズ上映会では、玉川せせらぎホールでドキュメンタリー「ビバ・マエストロ！指揮者ドゥダメル挑戦」を上映した。第4回の「外国人のためのテーブル茶道」では日本の伝統文化である茶道を解説とともに体験した。今回は気楽に茶道に親しめるように椅子に座っての「テーブル茶道」の形式で実施した。第5回はカナダ・マニトバ州都ウィニペグ市姉妹都市提携55周年記念事業として「ウィニペグ市の魅力～多文化共生の街を旅する」を実施。カナダ大使館の後援をいただき、今でも先住民をはじめ多くの民族が暮らす多文化共生の街ウィニペグ市の知られざる魅力を紹介した。第7回「珈琲で知るルワンダ共和国」では、珈琲を通してルワンダ共和国の生活文化の奥深さを紹介した。第8回「“子ども大使”のアンゴラ共和国大使館訪問」は区内の小学5年生がアンゴラ共和国大使館を訪問し、大使館の職員と交流しながら、貴重な体験学習となった。

地域日本語教育の総合的な体制づくりとして、「外国人のための日本語教室」、「せたがや日本語サポーター講座」を実施した。両事業とも応募者が多く、関心の高さがうかがえた。また12月には「サポーター講座」のフォローアップとして「実践編」も開催した。

日常的な取組みとして行っている館内イベントも盛況であった。「多言語での絵本朗読会」や韓国入スタッフによる「韓国語でおしゃべり」、日曜日の「折り紙デコレーション」は親子でのリピーターも多く、せたがや国際交流センターの人気イベントとなった。

広報活動として、毎月、ボランティアによる翻訳(日・英・中)で発行している外国人向け情報紙「Newsletter」は、SNS、メールマガジンなどの電子媒体による発信とあわせ、今後もホームページでも閲覧できるデジタルコンテンツ化にむけて充実を図っていく。

《世田谷美術館》

公1-1「文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究」

企画展では、昭和11年(1936年)生まれの世田谷区在住で、今なお精力的に制作活動を続け、海外でも評価の高い横尾忠則の個展「横尾忠則 連画の河」(4月26日～6月22日)を開催。本展のために横尾が2年間にわたって制作した150号を中心とする新作油彩画約60点と関連作品やスケッチ等を展示した。1枚の記念写真を起点に時空を超えて次々と連歌のように展開していく横尾の独特な世界が示された。「野町和嘉——人間の大地」(7月5日～8月31日)は、地球規模的スケールで旅し、記録し続けた写真家・野町の代表作を旅のエッセイとともに、「サハラ」、「ナイル」、「エチオピア」、「グレート・リフト・ヴァレー」、「チベット」、「メッカとメディナ」、「アンデス」の7つのテーマで紹介した。「自然と魂 利根山光人の旅 異文化にみた畏敬と創造」(9月13日～11月9日)は、世田谷の等々力にアトリエを構えていた画家を、これまでにない視点から紹介。アトリエに遺された膨大な素描や版画などを調査し、利根山がメキシコだけでなく、インドや中国、中東といった世界各地、そして日本各地の祭りなどから創作のイメージを求めていたことを紹介。令和7年(2025年)で創設30周年を迎えたブランド「ミナ ペルホネン」。「つぐ minä perhonen」(11月22日～令和8年(2026年)2月1日)は、手仕事や職人との協業を大切にしながら、暮らしのなかに永く息づき、時を重ねて深みを増すデザインを、洋服やプロダクトのほか、オリジナルのテキスタイルやそれらの原面などで紹介した。ものづくりのありかたを「つぐ」という言葉が内包する多様な意味を通じて示した。

所蔵品を紹介するミュージアム コレクションでは、「世田谷でインド」(4月19日～7月13日)と題した一風変わった切り口で、世田谷美術館のコレクションからインドにまつわる多種多様な作品を紹介した。また、「もうひとつの物語——女性美術家たちの100年」(7月26日～11月3日)は、1926年の昭和の始まりからちょうど100年を迎えたことに因み、昭和・平成・令和と時代が流れ、価値観が変化していったなかで、美術の世界の「もうひとつの物語」として当館コレクションより戦前・戦後に先陣を切った画家たちから、現在活躍を続ける作家たちまでの女性美術家たちの作品を紹介した。

そして、「ミュージアム コレクション特別篇 開館40周年記念 世田美のあしあと——暮らしと美術のあいだで」(令和8年(2026年)2月21日～4月12日)では、1、2階の両展示室を使って、開館当初から掲げてきた芸術における「素朴性」や「暮らし」といった切り口や、世田谷という文化風土の豊かさを、美術館のこれまでの活動とともに、収蔵作品を通じて広く紹介した。また3つの分館ではそれぞれ前期・後期で魅力的なテーマを工夫して展示を行った。

作品保管整理では、展示活用が出来るように作品の修復や額装などを行い、作品収集については、これまでの当館の活動実績によって育まれた作家や遺族などとの関係によって、貴重な美術作品などが新たに464点寄贈された。また、展覧会に付随した調査研究をまとめた「紀要」を発行した。

公1-3「文化芸術の啓発、体験、支援などの教育普及活動」

各展覧会では、毎回手話通訳付きの専門家などによるレクチャーやトークイベントのほか、音楽イベントなど、多彩な関連企画を行った。「美術大学」では、本科をはじめ、受講者OBを対象にしたステップアップ講座も積極的に対面で行うほか、オンラインでの通信講座も引き続き開催した。夏休みは

子ども映画ワークショップや閉館後に子どもたちが夜の美術館を謎解きしながら探検する「ナイトツアー」、宮本三郎記念美術館でのサマーワークショップなど、子どもたちが楽しめるプログラムを実施した。子どもから大人まで誰もが気軽に参加できる恒例の100円ワークショップは、ボランティアと協働で毎回、展覧会の内容に合わせ、工夫を凝らした工作を実施した。美術鑑賞教室は、ベテランから新人ボランティアまで、多くの市民が鑑賞リーダーとして参画し、豊かな美術鑑賞体験を子どもたちと分かち合った。インターンによる出張授業は22校の学校で行い、博物館実習生も25名を受け入れ、美術鑑賞教室や100円ワークショップなどで鑑賞リーダーの体験をすることで、市民との関わりを学ぶ機会となった。4回目となる若手アーティストを対象とした「世田谷美術館×アートネットワーク・ジャパン Performance Residence in Museum2025-26」は、脚本家、演出家の村田青葉が美術館に滞在し、多くの来館者と対話した。また、これまでのレジデンス参加アーティストによる「40周年プレ企画」>「世田谷美術館×アートネットワーク・ジャパン Performance Residence in Museum 2025-26トークセッション/美術館ツアー創作・生活・レジデンス」を開催。更に、「開館40周年記念展」関連パフォーマンス事業として「偶戯を巡る2026／オシラサマを巡る旅」を展覧会会期中に行った。

公1-4「文化芸術活動の発表の機会の提供」

世田谷区民や群馬県川場村民、そして世田谷区を拠点として創作を続ける市民、鑑賞リーダー（美術館ボランティア）が出品できる無審査のアンデパンダン形式の公募展「世田谷区民展」を開催し、区民の芸術活動の発表及び交流の機会とした。令和7年度（2025年度）も清川泰次記念ギャラリーを含め、多くの利用者が区民ギャラリーで作品を発表した。

公1-5「地域交流のための文化芸術事業」

新規のボランティアも加わり、100円ワークショップ、美術鑑賞教室など、多くのボランティアが積極的に美術館の事業に参画した。世田谷区と友好を結んでいる群馬県川場村とも、スケッチ旅行の企画や、川場村の文化祭に100円ワークショップが出張参加するなど交流を深めた。40周年記念のコレクション特別篇「世田美のあしあと」の無料開館日には、友の会会員やボランティアの協力により、さくら祭を開催した。

公1-6「文化芸術の活性化を図るための情報提供」

友の会と連携した美術館の活動や収蔵作品を紹介するニュースレターを年3回発行したほか、当館のホームページをはじめ、X、Instagram等の公式 SNS を継続的に発信し、展覧会だけでなくイベントなどについても積極的にタイムリーな情報発信を行った。また、来館を促す展覧会の会場風景を紹介するショート動画も毎回制作し、配信した。

《世田谷文学館》

公1-1「文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究」

企画展は「士郎正宗の世界展～『攻殻機動隊』と創造の軌跡～」、「ドナルド・キーン展 Seeds in the Heart」を実施した。

「士郎正宗の世界展～『攻殻機動隊』と創造の軌跡～」は、当館がこれまで取り組んできた、漫画・SF・80年代サブカルチャー展示の集大成であり、かつ、これからの活動を見据えての新たなチャレンジとなった。士郎正宗氏はメディア露出が少ない神秘的な漫画家だが、展覧会会場には士郎氏の人柄がうかがえる楽しい自作解説を多数寄せてもらい、作家本人の言葉とともに作品を鑑賞することが

できたと大好評だった。また、昨今の展覧会では記念グッズ販売も欠かせない要素となっており、本展では1階に特設会場を設置し、来場者にグッズ購入を楽しんでもらうことができた。

もうひとつの企画展「ドナルド・キーン展 Seeds in the Heart」は、日本人以上に日本を知り、その魅力を伝え続けたキーンの生涯を通して、日本文化・文学とは何かをあらためて問いかけようと企画した。木材を多用した「和」の展示空間で、文学の奥深さを伝え、「キーンさん」のパーソナルな部分もふんだんに紹介することができた。

コレクション展は前期に「海野十三と日本SF」と題して、日本SFの父・海野十三を軸に、海野作品を愛読して育ち、その後の日本SF文学を築いた作家たちの活躍を紹介した。同時期の企画展「土郎正宗の世界展」との相乗効果もあり、想定以上の入場者を記録した。後期は「世田谷線・100年間のものがたり」と題して、沿線に住んだ作家たちや、地域を舞台に描かれた作品を紹介し、地域文学の豊かさを存分に伝えることができた。

公1-3「文化芸術の啓発、体験、支援などの教育普及活動」

世田谷文学館開館30周年の今年度は、これまでの歩みを振り返る「セタブン30祭」展示のほか、シンポジウムやコンサート、連続文学講座、街歩きイベントなど、多世代を対象に多角的なテーマで事業を集中的に展開した。また、開館30周年記念誌も制作した。

「いつでも、どこでも、だれでも参加できる博物館」というコンセプトのもと、出張展示、地域と連携したワークショップを多数実施した。出張展示は全国への貸出しが年々増加しており、理想的なアウトリーチ事業の展開が実現している。

広く区民が参加できる大型事業「セタブンマーケット」も開催することができた。同時期開催中だった「ドナルド・キーン展 Seeds in the Heart」にちなみ、「日本・再発見」をテーマにした書店セレクトを行い、手仕事を元にした出店者や区内商店街と連携してマーケット空間を作ったほか、古浄瑠璃演奏や水引細工・茶道ワークショップを行った。また30周年記念として、世田谷文学館とゆかりの深いウルトラマンオメガ撮影会、作家の音楽ライブなどを実施した。

公1-4「文化芸術活動の発表の機会の提供」

長らく区民より文芸作品を募集し創作活動を支えてきた「世田谷文学賞」を刷新し、「新世田谷文学賞」として再開した。今年度は小説、エッセイの散文(長文)部門を実施し、前回、前々回の散文(随筆)部門を大きく上回る応募となった。また、入賞作と選評発表をホームページで公開するという新しい手法を導入し、より広域に作品を読んでもらうことができた。

公1-6「文化芸術の活性化を図るための情報提供」

資料関連では、インターネット資料検索システムを一層充実させた。今年度の資料調査研究の成果としては、「世田谷文学館収蔵資料〈調査と探究〉03横溝正史/海野十三」を刊行した。今回は初公開の「横溝正史日記 昭和10年、昭和23年、昭和30年、昭和32年」、海野十三発・横溝正史あて書簡計77通の掲載と、関係者のインタビュー2編を収録した。

また、文学館の事業活動を広く周知するため、ホームページコンテンツの制作、文学事業に合わせた「ほんととわラジオ」特別番組の放送、文学館ニュースを1回発行した。利用者サービスの充実を目的とする「セタブンパス」事業も継続実施し、定期的なメールマガジンの情報伝達の効果もあって、30周年イベントを中心に多数の会員に参加してもらうことができた。

2. 事業実績

(1) 世田谷文化生活情報センター 生活工房

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
デザイン・ アートの展 示	【生活工房ギャラリー2025】 PART OF THE ANIMAL ー動物と人間のあいだ	デザイン、生活文化に関する幅広いテーマの展示事業を、生活工房ギャラリーで実施。関連事業としてトークイベントやワークショップも開催した。 絵に描くだけではない、詩や音楽や、演劇、踊りをも包括した〈動物をえがく〉ことについて、人類学・芸術学・生物学・比較文学の研究者たちが世界をフィールドに行った調査や、アーティストたちの思索をたどりながら「動物と人とのあいだ」の回路をひらく展覧会を開催した。	(1月21日)～ 4月20日	無料	28,117 (総計: 65,502)	2,000 (総計: 15,000)	生活工房ギャラ リー
		【関連イベント】 ワークショップ 動物とふれる、つくる、えがく 講師:石倉敏明(人類学者)、永沢碧衣(アーティスト)、西澤真樹子(なにわホネホネ団団長/大阪市立自然史博物館外来研究員)、長谷川朋広(ゲームクリエイター)、盛口満(作家)、山口未花子(人類学者)	4月12日～13日	3,000 1,000	80	—	ワークショップ ルームAB
	ヘアカラー展 なぜ染める、 なぜ染まる。	髪を染めるという身近な美容・科学に着目し、広がり続けるヘアカラー文化を考察する展覧会を開催した。	4月29日～8月11日	無料	37,737	15,000	生活工房ギャラ リー
		【関連イベント】 なりたい髪色になるヘアカラーとのつきあい方 講師:伊熊奈美(美容ジャーナリスト/毛髪診断士 指導講師)	7月6日	1,000	41	—	ワークショップ ルームAB
		親子向けワークショップ ヘアカラーでストラップをつくろう(2回) 講師:梶原秀一(ホーユーヘアカラーミュージアム館長)	7月20日	500	31	—	ワークショップ ルームAB
	戦後80年企画・春日明夫コ レクション 子どもの時代 一戦前・戦中・ 戦後 子どもをめぐる昭和の 暮らしと文化展	戦後80年・平和都市宣言40年・昭和100年となる節目の年に、研究者の春日明夫氏が所蔵する数百点の玩具コレクションを通して、「戦争と子ども文化」を考える展示を開催した。	8月19日～ 12月28日	無料	42,586	15,000	生活工房ギャラ リー
		【関連イベント】 セミナー「昭和の子どもの暮らしと文化〈デザイン・美術・教育の視座から〉」 講師:春日明夫(芸術学博士/東京造形大学名誉教授)	11月2日	500	34	—	ワークショップ ルームA
		「すごろくあそびば」	11月2日～3日	無料	45	—	ワークショップ ルームB
		「アートなサイコロをつくって、昭和のすごろくであそぼう！」(2回)	11月3日	500	31	—	ワークショップ ルームA

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
デザイン・ アートの展 示	三軒茶屋 大三角地帯展 —ひらき、ひもとく記憶と記 録—	世田谷区三軒茶屋に位置する通称・三角地帯をハブに文化的な紐帯が結ばれた「大三角地帯」。各種スタディツアーやワークショップを通し、同地帯の記憶と記録をひもとく、「生活」のかたちと未来への残し方について考える、来場者参加型の展覧会を開催した。	2026年1月20日～ 3月22日	無料	46,126	10,000	生活工房ギャラ リー
		【関連イベント】 酒場の話を聞く 酒場にまつわるトーク 講師：バリッコ(酒場ライター)、塩見なゆ(酒場案内人)	2026年1月25日	1,000	51	—	ワークショップ ルームB
		自分史をひもとく 年表＋事典ワークショップ 講師：パンス(年表作成者／ライター)	2026年1月31日	無料	11	—	生活工房ギャラ リー
		三角地帯のルーツを知る 闇市にまつわるトーク 講師：石樽督和(関西学院大学建築学部准教授／中央研究院臺灣史研究所訪問學人)、金谷匡高(法政大学江戸東京研究センター客員研究員／昭和女子大学歴史文化学科非常勤講師)	2026年2月5日	1,000	30	—	ワークショップ ルームB
		三角地帯を歩く 古地図でめぐる三角地帯 講師：男鹿芳則(前一般財団法人世田谷トラストまちづくり理事長)、金谷匡高(法政大学江戸東京研究センター客員研究員／昭和女子大学歴史文化学科非常勤講師)	2026年2月7日	500	11	—	生活工房ギャラ リーほか
		会場を作る 三角地帯でエレメントを探す 講師：荒木源希(建築士／モクタンカン株式会社代表)	2026年2月14日	500	5	—	生活工房ギャラ リーほか
		写真を集める 29年後のファウンドフォト 写真を集める ファウンドフォトワークショップ 進行：篠原繭(TISSUE Inc.編集者) ゲスト：VIDEOTAPEMUSIC (ミュージシャン／映像作家)	2026年2月21日	無料	7	—	生活工房ギャラ リーほか
		日記を書く 日記ワークショップ 講師：金川晋吾(写真家)	2026年3月7日	1,500	17	—	生活工房ギャラ リーほか
	常設展示 生活工房アレコレ2025	生活工房で実施した展覧会やワークショップを記録した写真、映像、資料などを公開し、閲覧できる可動的なコーナーで紹介した。	通年	無料	75,471	50,000	生活工房3Fロ ビー

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
ワーク ショップ・ 講座	【セミナー・ワークショップシリーズ2025】	財団内部、教育機関、企業、地域の活動団体等と連携し、多様な人たちが交流・対話する場となるワークショップ、セミナー等を実施。					
	日常を見限らない 〈味覚〉のワークショップ	五感を使って日常の見落とされた出来事を再発見する体験型セミナー・ワークショップ・シリーズの第5弾。味覚や食文化について学んだ。					
		Talk1 味覚と芸術 講師：関口涼子(著述家／翻訳家)	11月9日	2,000	66	100	ワークショップ ルームAB
		Talk2 味覚の世界 講師：伏木亨(一般社団法人和食文化国民会議会長／NPO法人日本料理アカデミー理事)	12月13日	2,000	54		ワークショップ ルームAB
		Workshop 言葉と巡る味覚の冒険 講師：関口涼子(著述家／翻訳家)	11月15日～16日	3,000	32		ワークショップ ルームAB
	老人性アメイジング！vol.3 寿ぎと尊厳	介護の小嘶、文学や映画のトーク、歴史や思想の講演など多彩なコンテンツを通して、ネガティブに捉えられがちな「老いや死」のイメージを積極的に更新するアメイジングなイベントを開催した。 進行：山内泰(一般社団法人大牟田未来共創センター理事)				100	
		(1)寿ぎと尊厳[小嘶＋講演＋鼎談] 講師：村瀬孝生(「宅老所よりあい」ほか統括所長)、上野千鶴子(社会学者)	2026年1月18日	3,000	168		ワークショップ ルームAB
		(2)不可思議な世界[小嘶＋語り＋鼎談] 講師：村瀬孝生(「宅老所よりあい」ほか統括所長)、吉田悠軌(怪談研究家)、新澤克憲(NPO法人やっこ理事長)	2026年2月15日	3,000	88		ワークショップ ルームAB
		(3)【関連上映】アニメーション映画『しわ』 (2011年／スペイン／89分／監督：イグナシオ・フェレーラス)	2026年2月15日	1,000	67		セミナールーム AB
	アーカイブ配信	セミナー・ワークショップの記録をYouTubeで公開するラーニングプログラム。PV数は約6.3万、チャンネル登録者数は年間で967名増加した。	通年	無料	PV数 63,117回	PV数 30,000回	オンライン
	【穴アーカイブ2025】	世田谷区民から募った8ミリフィルムのアーカイブ事業。デジタル化した映像をオンラインで公開している。上映会や常設展示でも紹介し、映像から想起した個々人の記憶を収集、公開した。					
	世田谷クロニクル1936-83	8ミリフィルムを公開しているウェブサイト「世田谷クロニクル1936-83」。ウェブサイトの運営に加えて、美術館等への貸出を行うほか、アウトリーチ事業で活用を図った。	通年	無料	PV数 24,550回	PV数 10,000回	オンライン
	せたがやアカカブの会	「世田谷クロニクル1936-83」に収録された映像をもとに、フィルムを介して思い出した個人的なエピソード、気付いたことや気になったことなど、スクリーンを囲みながら言葉にしていける定期上映会。(3回)	①5月11日 ②9月28日 ③2026年1月25日	無料	①6 ②7 ③16	80	ワークショップ ルームA

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
ワーク ショップ・ 講座	上映会&トークイベント 昭和100年にみるホーム ムービー	8ミリフィルム・アーカイブ事業「穴アーカイブ」が10周年を迎えたことを機に、トークゲストが選んだフィルムを鑑賞しながら、記録に残ったもの、残らなかったものについて考える記念イベントを開催した。 ゲスト:滝口悠生(小説家) 進行:松本篤(NPO法人remo/AHA!世話人)	9月27日	500	38	—	ワークショップ ルームB
	エトセトラの時間 見えるものと見えないものを 語る会	視覚障害者と一緒に8ミリフィルムを鑑賞するワークショップ。「視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ」との協働で、視覚障害者の鑑賞機会の拡充や、相互理解の機会を創出した。	2026年2月11日	無料	5	20	オンライン
	【共催事業】 財団内部、教育機関、企業、 地域の活動団体等との共催	施設の利活用を促進するとともに、利用者の裾野を広げるため、地域の大学やNPO等と共催し、生活やデザイン、社会課題等と結びついた様々な催しを行った。 遊べ！大人たち「冒険遊び場」「雑居まつり」「自主保育」ともに歩んだ50年(共催:認定NPO法人プレーパークせたがや) 1975年の経堂での試行から数えて50年の節目に、羽根木公園で実践された各取り組みの経緯や相互の関わり、課題の意見交換などを行ったシンポジウム。	6月21日	会場1,500 会場+後日配 信2,000	112	500	セミナールーム ABほか
		世田谷線貸切朗読会「つむじ風食堂の夜」 (共催:世田谷文学館) 世田谷線100周年を記念して世田谷文学館で開催された「世田谷線・100年間のものがたり」の関連イベントとして、世田谷線車内での朗読会を行った。	11月8日	1,500	56		セミナールーム、 世田谷線貸切車 両
		インタビューシート「コロナ禍のこと」 (共催:せんだいメディアテーク) 東日本大震災後に「3がつ11にちをわすれないためにセンター」を設立し、市民の手で記録を残す活動のプラットフォームとなったせんだいメディアテーク(宮城県仙台市)と、2015年から一般家庭に眠る8ミリフィルムのデジタルアーカイブ事業「穴アーカイブ」に取り組んできた生活工房がお互いの知見を活用し、企画・制作。双方の施設に設置した。	2026年3月11日～ (2027年3月31日)	無料	44		市民活動支援 コーナー/オンラ イン
子どもワー クショップ	【子どもワークショップ 2025】	幼児から中高生、さらに若年層を対象に、デザインやコミュニケーションの体験などを通して、創造性を育む機会を創出する事業を実施した。					
	せたがやアートファーム 2025 せーかつぶれぶれこーぼー	地域の子供たちが事前申込なしで気軽に訪れ、デザイナーやアーティストなどのプロフェッショナルと交流しながら自由に造形活動を体験できる特別なスペースを、夏休み期間中に設けた。 参加作家:靴郎堂本店(アーティスト)、椎木彩子(画家/絵本作家)、村上慧(アーティスト)、もっと!!いい状態!(シルクスクリーン)	8月5日～11日	1,000～500	682	2,000	ワークショップ ルームAB
	第24回おはなしいっぱい	幼児から大人まで楽しめる朗読、素話、パネルシアターなど、区内30団体で構成する「世田谷おはなしネットワーク」によるお話会。子どもが、地域に根差した活動をする大人たちと出会う機会を創出し、世代間や地域間の交流の活性化や、ネットワークの広がりを支援した。	8月20日～22日	無料	1,135	1,000	ワークショップ ルームAB

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
人材育成 プログラム	インターンの受け入れ	近隣大学からインターン生を受け入れ、コミュニティや交流について事業の現場を体験する場を提供した。	8月1日～22日 (期間内のうち 6～12日)	—	2校 (3)	2校 (若干名)	—
	博物館実習の受け入れ	学芸員育成と生活工房事業の普及のために、①「博物館学芸員資格過程」における「博物館実習」の講義、実習を行った。また、②「美術博物館実習」の学外見学授業を行った。	①8月1日～15日 (期間内のうち6日)、 ②12月6日	—	1校 ①(1) ②(18)	—	—
生活工房 広報	生活工房ウェブサイトの運営・SNS配信	生活工房の施設案内、事業予定、募集情報、レポートなどを掲載し、情報を発信した。SNS(X、Facebook、Instagram)と併せ、効果的に広報を展開した。	通年	—	—	—	—
	情報紙の編集・発行	生活工房の事業を紹介する情報紙を定期発行。区内施設や全国の文化施設等で配架して施設全体の周知を図るとともに、デジタル化された情報では受け取ることが難しい層にも情報提供した。	通年	—	—	—	—
	生活工房「アニュアルレポート2025」の編集・発行	年間のプログラムを記録した報告書。生活工房の活動を視覚的にわかりやすく紹介する冊子を発行した。施設の総合的な情報を開示することで事業への関心を高めた。	2026年4月	—	1,500部	1,500部	—
国際交流・ 異文化理 解の推進	日常を見限らない 「味覚」のワークショップ [再掲]	五感を使って日常の見落とされた出来事を再発見する体験型セミナー・ワークショップ・シリーズの第5弾。味覚や食文化について学んだ。 ①Talk1 味覚と芸術 ②Talk2 味覚の世界 ③Workshop 言葉と巡る味覚の冒険	①11月9日 ②12月13日 ③11月15日、16日	①②2,000 ③3,000	①66 ②54 ③32	100	ワークショップ ルームAB
市民活動 支援	市民活動支援コーナーの運営	世田谷区内で活動する市民活動団体を支援するため、打合せスペース、プリントアウトスペースなどの貸し出しや交流の場を提供した。運営は市民活動団体(NPO法人国際ボランティア学生協会)に委託した。	通年	—	7,878	8,000	市民活動支援 コーナー
	ちかくのとーく 三茶学	世田谷区内で身近な地域課題に取り組む団体や人物を紹介しながら、市民活動への参加や支援を促進する継続的なトークシリーズの三軒茶屋編。会場とオンラインで開催した。(3回) 進行:市川徹(まちづくりコーディネーター) 記録:千葉晋也(まちづくりデザイナー) vol.10 太子堂の、子どもの遊びとまちのこと ゲスト:荻原礼子(まちづくりプランナー/結まちづくり計画室主宰)、小柴直樹(一般財団法人世田谷トラストまちづくり常務理事)	5月25日	会場200 オンライン無料	会場14 オンライン 10	360 うちオンライ ン100	セミナールームB
		vol.11 三軒茶屋の、大道芸とまちのこと ゲスト:橋本隆平(大道芸プロデューサー)、小山恵(三軒茶屋銀座商店街振興組合広報部長)、酒井淳美(世田谷パブリックシアター企画制作担当)	10月1日		会場22 オンライン 7		ワークショップ ルームB
		vol.12 三茶でつくる、これからの仕事のこと ゲスト:吉田亮介(三茶WORK)、熊谷充紘(twililight)	2026年2月28日		会場8 オンライン 13		セミナールームB
	RISO WORKSHOP リソグラフ®でZINEをつくる	市民活動を支えるリソグラフ(簡易印刷機)に着目し、クリエイターを講師に招いて、その印刷特性を活かした創作ワークショップを開催した。大人向けに内容をリニューアルし、参加者全員で1冊のZINEを制作した。(各日2回) 講師:Hand Saw Press(安藤僚子、菅野信介)	10月11日～12日	2,000	46	160	市民活動支援 コーナー

(2)世田谷文化生活情報センター 世田谷パブリックシアター

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
国内演劇 創作事業	上村聡史演出作品 『みんな鳥になって』	【作】ワジディ・ムワド 【演出】上村聡史 2014年よりシアターラムおよび世田谷パブリックシアターで上演を重ねてきた、作:ワジディ・ムワド、演出:上村聡史による「約束の血4部作」シリーズの第4弾として、『みんな鳥になって』を上演した。 上村の緻密かつダイナミックな演出により、パレスチナとイスラエルの問題を真正面から扱う重厚なテーマを観客にわかりやすく提示するとともに、作品に内在する普遍性と現代性を鮮やかに浮かび上がらせた。第一弾『炎』から出演を重ねてきた俳優陣に加え、新たに参加した実力派俳優たちが集結し、高水準の演技によって、遠い地の戦乱を切実な現実として観客に伝えることに成功した。 その結果、舞台芸術の持つ社会的意義と表現の豊かさを広く示し、多様な観客層に深い鑑賞体験と高い満足度を提供する公演となった。なお、本作の美術を手がけた長田佳代子が第33回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞を受賞した。(22回)	6月28日～ 7月21日	10,000～ 3,250	11,469	12,400	パブリックシアター
		【兵庫公演】兵庫県立芸術文化センター(4回)	7月25日～27日	11,000	3,055	—	阪急中ホール
		【愛知公演】東海市芸術劇場(4回)	8月1日～3日	11,000	3,301	—	大ホール
		【岡山公演】岡山芸術創造劇場 ハレノワ(3回)	8月8日～10日	10,000～ 8,000	3,363	—	大劇場
		【福岡公演】J:COM 北九州芸術劇場(4回)	8月15日～17日	10,000～ 8,500	3,585	—	大ホール
	芸術監督企画 『シッダールタ』	【原作】ヘルマン・ヘッセ 【作】長田育恵 【演出】白井晃 ヘルマン・ヘッセの代表作『シッダールタ』、『デーミアン』を原作とする舞台を上演した。本作は、同作に深い感銘を受けた白井晃芸術監督の演出により創作され、NHK連続テレビ小説『らんまん』で注目を集めた長田育恵が劇作を手掛けた。 紀元前6世紀の物語を基軸としながら、“現代”の視点を交差させる構成により、原作の思想を今日的に再解釈することに成功した。「人間の存在とは何か」「これからの世界はどこに向かうのか」という普遍的かつ現代的な問いを観客に提示し、時代や価値観を超えた深い思索を促す作品として、高い芸術性と社会的意義を示した。結果として、多様な観客に対し、強い印象と充実した鑑賞体験を提供することができた。(50回)	11月15日～ 12月27日	12,000～ 4,500	28,949	29,000	パブリックシアター
		【関連企画】バックステージツアー 劇場スタッフの案内のもと、終演後の舞台見学を実施し、作品世界への理解をより一層深める機会を提供した。	12月14日	無料	27	20	
		【関連企画】「上演作品をめぐるレクチャー」 演出家の白井晃が、『シッダールタ』をどのように捉え、演出に挑んだのかについて、作品の背景や台本に関する解説を交えながらレクチャーを行った。	12月21日	無料	36	40	セミナールーム
		【兵庫公演】兵庫県立芸術文化センター(11回)	2026年1月10日～ 1月18日	12,000	8,266	—	阪急中ホール

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
国内演劇 創作事業	杉原邦生演出作品 『黒百合』	【原作】泉鏡花 【脚本】藤本有紀 【演出】杉原邦生 【音楽】宮川彬良 世田谷パブリックシアター初登場となる杉原邦生の演出により、泉鏡花原作『黒百合』を上演した。脚本はテレビドラマでも高い評価を得る藤本有紀が手がけ、全曲を宮川彬良のオリジナル楽曲が彩り、作品に豊かな情感と深みをもたらした。翻訳劇から歌舞伎まで幅広いジャンルで実績を重ねてきた杉原の確かな構成力のもと、プロデュース公演ならではの多彩な背景をもつ俳優陣が集結し、従来の鏡花作品の印象にとどまらない、新鮮かつ力強い舞台として結実した。 富山を舞台に、洪水と立山に伝わる「黒百合伝説」を重ね合わせた本作は、現代的な視点から鏡花文学の魅力を新たに提示したことで、舞台芸術に親しみの浅い観客からも好評を得て、若年層を含む幅広い世代へ作品の魅力を届けるとともに、古典文学作品の新たな価値創出と観客層の拡大につながった。(16回)	2026年2月4日～ 22日	9,500～ 3,000	5,871	9,900	パブリックシアター
	瀬戸山美咲演出 音楽劇 『コーカサスの白墨の輪』	【作】ベルトルト・ブレヒト 【上演台本・演出】瀬戸山美咲 20世紀で最も偉大な劇作家と称されるドイツのベルトルト・ブレヒトがアメリカ亡命時代に未来への希望を描いた代表作の一つ『コーカサスの白墨の輪』を瀬戸山美咲が演出し、現代日本を映し出す作品として上演した。(22回)	2026年3月12日～ 30日	9,500～ 3,250	7,547	11,300	パブリックシアター
		【関連企画】「サヨナラ 世田谷パブリックシアター青空天井 劇場ツアー」 2026年4月1日からの改修工事を前に、客席および通常は立ち入ることのできない舞台上から天井画や上演中作品の舞台美術を間近に鑑賞できる、貴重な劇場ツアーを実施した。	2026年3月20日	無料	24	20	
	作品創造研究	劇場における創造環境の改善・開発を目的としたリサーチや勉強会を実施した。特に、近年社会的要請が高まっているアクセシビリティの向上に焦点を当て、音声ガイドの作成やリラックス・パフォーマンスの実施に関し、レクチャーや実習を通じて実践的な知識を獲得する機会とした。また、海外や地方における創造環境について知識を深めるレクチャーも開催し、多角的な視点から取り組みを行った。	通年	—	—	—	稽古場ほか
せたがや アート ファーム	せたがやアートファーム 2025 『せたがや夏いちらくご』	当代随一の人気と実力を兼ね備えた春風亭一之輔を迎え、評価と将来性をあわせ持つゲストと共に落語をはじめとする芸能プログラムを企画・上演した。幅広い年齢層に向けて寄席芸能の魅力を次代へと継承するとともに、その価値を発信する機会を創出した。はじめて落語に触れる子どもたちに向けた親子で楽しめる入門的な公演と、落語通も満足できる本格的な落語会と、それぞれ対象を明確に分けた特色ある公演を2回実施し、来場者の裾野拡大と鑑賞体験の充実の両立を図り、寄席芸能の多様な魅力を効果的に提示することができた。(2回)	7月27日	5,000～ 2,000	1,227	1,100	パブリックシアター

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
せたがや アート ファーム	せたがやアートファーム 2025 『キャプテン・アメイジング』	【作】アリスター・マクドウォール 【翻訳】永田景子 【演出】田中麻衣子 イギリス出身の劇作家アリスター・マクドウォールによる、子どもから大人まで楽しめる一人芝居のコメディ作品『キャプテン・アメイジング』を上演した。2013年の初演以降、エジンバラをはじめ各地で高い評価を得てきた話題作を、日本の近代戯曲から海外古典、ミュージカルまで幅広く手掛ける演出家・田中麻衣子の演出により、日本初演として実現した。 10人以上の役を一人で演じる本作を、トリプルキャストで上演することで、多様な表現の魅力を引き出し、幅広い観客に新鮮で充実した鑑賞体験を提供することができた。(15回)	7月26日～8月3日	7,000～ 1,500	3,199	2,800	シアタートラム
		【愛知公演】春日井市東部市民センター(2回)	8月23日～24日	5,500～ 1,000	546	—	春日井市東部市民センター
若手アー ティスト育 成ワーク ショップ	あたらしい国際交流プログラム リーディング公演 『不可能の限りにおいて』	《文化施設による高付加価値化機能強化支援事業対象事業》 【作】ティアゴ・ロドリゲス 【翻訳】藤井慎太郎 【演出】生田みゆき 今後グローバルな活躍が期待される若手演出家を登用し、今日的な問題を世界的な視点で考察する同時代戯曲をリーディング公演として実施した。本作は2023年のアヴィニョン演劇祭で上演されて話題を呼んだもので、人道支援者の証言をもとに構成されたドキュメンタリー演劇としての要素を持つ作品である。 観客の想像力に訴えかけるリーディング公演ならではの演出で、「可能の領域」と「不可能の領域」を対比的に描き、救える命を救えない現実を提示し、現代社会に対する強い問題提起を行った。 本公演に向けたワークショップオーディションを経て、4名編成だった原作を若手を中心とした14名の俳優で上演する新たな形で立ち上げ、2チームに分かれた出演者により、多様な表現と作品解釈の広がりを提示した。(6回)	8月8日～11日	4,000～ 1,750	1,232	1,100	シアタートラム
	あたらしい国際交流プログラム リーディング公演 『紅い落葉』	《文化施設による高付加価値化機能強化支援事業対象事業》 【原作】トマス・H・クック 【脚色】キム・ドヨン 【翻訳】石川樹里 【演出】白井晃 「あたらしい国際交流プログラム」の第二弾として、韓国・文化体育観光部および(財)芸術経営支援センターの助成を受け、世田谷パブリックシアターと韓国・ライブラリーカンパニーによる日韓共同制作としてリーディング公演を実施した。 本作は、トマス・H・クックの小説『緋色の迷宮』を原作とし、キム・ドヨンの脚色、イ・ジュヌの演出により2021年にソウルで初演され高い評価を得てきた作品である。今回の上演では、芸術監督・白井晃の演出のもと、実力派俳優が集結し、作品の緊張感と物語性を鮮明に立ち上げた。韓国オリジナル版のクリエイターを招いたアフタートークも実施し、観客に韓国演劇の現在地を紹介するとともに、国際的な舞台芸術交流の可能性を示す成果を上げた。(2回)	8月16日～17日	無料	437	—	シアタートラム
	日英共同制作	《文化施設による高付加価値化機能強化支援事業対象事業》 北朝鮮による日本人拉致問題を題材としたイギリスナショナル・シアター制作の『The Great Wave』(2018年初演)の脚本で大きな注目を集めたイギリス人劇作家フランシス・ターンリーによる新作を日英共同制作する。2027年～2028年に計画されている東京及びロンドンでの上演に向けた創作プロセスの一環として、ワークショップを行った。日本人若手アーティスト(クリエイター、俳優、スタッフ等)とイギリス側チーム(劇作家・演出家・俳優)による5日間のワークショップを実施し、最終日には30名以上の現地の舞台芸術関係者を招いた試演会を行い、企画の可能性や今後の作品開発に向けた課題等を共有することができた。	2026年3月23日～ 27日	—	20	15	ロンドン・マウントビュー(リハーサルスタジオ)/ソーホーシアター(ダウンステアーズ)

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
若手アーティスト育成ワークショップ	海外公演調査研究	《文化施設による高付加価値化機能強化支援事業対象事業》 当劇場が制作した舞台芸術作品の海外ツアー公演や新規のプロジェクトにおける国際共同制作の実現可能性について調査するもの。2027年度～2028年度にかけて計画している海外公演の実現に向けて、海外の劇場及び舞台芸術関係者との交渉・打ち合わせ、現地視察等を行った。調査先は韓国およびイギリス。(韓国3回、イギリス1回)	通年	—	—	—	韓国 イギリス
ダンス公演	ダンス提携公演／育成	気鋭の若手カンパニーからベテランまで、選りすぐりのダンスカンパニーと提携し、現代演劇と舞踊を専門として上演する劇場のレパートリーの多様性を創出した。創作活動を支援しながら、演劇的な要素や、音楽、美術など、異なるジャンルのアートとの出会いを提案し、世田谷でしか生まれ得ない新しい舞台芸術の創造を目的とした。(8団体) ・ハラサオリ ・ダンス・カンパニー ブッシュマン ・Room Kids ・山海塾 ・Xstream project ・水中めがね∞ ・Co.山田うん ・鈴木竜×棚川寛子	通年	—	5,464	4,700	パブリックシアター/シアタータラム
提携公演	演劇提携公演	気鋭の若手から長年の実績を誇るカンパニーまで、優れた演劇作品の上演実績がある劇団・ユニット・制作会社・団体等と提携し制作的な補助、広報宣伝協力等を行った。 ・シス・カンパニー ・to R mansion ・イキウメ ・JACROW ・iaku ・劇団俳優座 ・ストミック ・公益社団法人日本舞台音響家協会 ・劇団普通 ・範宙遊泳	通年	—	35,823	23,000	パブリックシアター/シアタータラム
コミュニティプログラム	劇場での演劇ワークショップ	「デイ・イン・ザ・シアター」1日～2日単位で気軽に演劇や劇場を体験できるワークショップを実施した。(12コース12回)	4月5日～ 2026年3月13日	各回1,000	184	410	稽古場ほか
	子どものためのワークショップ	子どもを対象に、演劇ワークショップを実施した。				810	稽古場ほか
		「エンゲキワークショップ」小中高の長期休暇に合わせたワークショップを実施した。(11コース11回)	7月22日～8月31日	各コース 3,000	延693		
		「子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ」学齢で区切らないワークショップとし、子どもたちが年齢の違うグループと作業する機会を提供した。(12コース12回)	4月19日～ 2026年3月8日	各回1,000	218		
		おやこで楽しむ！絵本読み聞かせワークショップ「ひらけ！絵本」(4コース8回)	9月16日、23日、 11月27日、 2026年1月22日	1組 1,000	197		

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
コミュニ ティプログ ラム	地域の物語	区民を中心とした参加者たちが、現代社会が抱える社会的課題から考えられるテーマをもとに自分たちの住む社会・暮らし・地域について思考するワークショップを2か月余りをかけて実施した。最後には、作品としてまとめあげ、シアタートラムにて広く地域の観客に向けて上演した。(ワークショップ16回、発表会1回)	2026年1月11日～ 3月22日	17,000	延412	850	稽古場/シアター トラムほか
学校とそ の他区内 施設との 連携プロ グラム	学校のためのワークショップ	世田谷区内の小中学校の児童・生徒・教員を対象に、進行役やアーティストが学校へ出向き、教科の学びに活かす演劇ワークショップ「かなりゴキゲンなワークショップ巡回団」を実践した。(227回)	4月21日～ 2026年2月27日	無料	6,705	8,250	世田谷区内の各 小中学校/稽古 場
	地域連携プログラム	非営利の区内施設／団体(児童館、障害者支援施設、病院、集合住宅等)に進行役を派遣して、演劇的手法を用いたワークショップを、当該施設／団体と協働して施設利用者及び近隣住民に向けて実施した。 2025年度も下馬地区に焦点をあて、地域の福祉法人等と連携したアートのお祭り「極楽フェス2026」の開催に向けた準備を行うとともに、同フェスティバルの参加団体にインタビューを行い、冊子を刊行した。(2企画6回)	12月9日～ 2026年3月31日	無料	105	200	世田谷区内施設 ほか
	中学生演劇支援	中学生を対象に、年間を通じた演劇活動を提供した。 (1)中学校支援 世田谷区立中学校教育研究会演劇教育研究部と連携した、区立中学校演劇部を中心とした中学生への活動支援。支援内容は、演劇区大会支援を中心に、学校を訪問しワークショップ、講習会を行う等、希望に応じた。	通年	無料	122	350	世田谷区内各小 中学校/区民会 館ほか
		(2)世田谷パブリックシアター中学生演劇部 演劇部がない学校の子どもに向け、劇場で演劇ワークショップを実施した。2学期には、作品をつくり発表することを前提としたワークショップを実施。作品は世田谷区立中学校演劇発表会等で発表した。(18回)	7月13日～ 2026年3月27日	1回 1,000	延320		世田谷区内中学 校/成城ホール/ 稽古場
	小学校古典芸能鑑賞教室 [区受託]	世田谷区立の小学校(全校)6年生を対象に、各学校体育館にて狂言ワークショップを実施。能狂言の発想や技能を体感し、日本固有の伝統芸能について関心を高める機会を提供した。(28回)	5月26日～ 2026年3月2日	—	6,500	6,500	世田谷区内各小 学校体育館
	移動劇場「あっとホーム公演」	劇場へなかなか足を運ぶことのできない、お年寄りや障害者が生活する場所へ、劇場から演劇を運んで上演する企画。観客は施設の利用者、職員ほか、家族、近所に住む方々で、プロの演出家、俳優が、誰にでも楽しんでもらえ、かつ移動可能なオリジナル作品を創って、見ている人たちの前で演じた。劇には施設の職員が登場する場面や、見ている人たちが物語に参加できる仕掛けを用意して、その場にいる人たちが全員が劇を介して一体感を持てるように工夫した。(14回)	5月30日～ 6月13日	無料	600	1,000	世田谷区内特別 養護老人ホーム、 デイサービス、 障害者施設

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
研究育成 プログラム	観客育成プログラム	地域市民及び観客を対象に「世田谷パブリックシアターダンス食堂」を実施した。劇場で上演するダンスプログラムと連携し、ダンサーの理念やメソッドに触れるワークショップ及びトークを実施した。(ワークショップ2回、トーク2回)	6月25日～ 2026年2月17日	各回1,000	60	170	稽古場/セミナー ルームほか
	専門家育成プログラム	大学生や進行役、研究者を対象に、演劇ワークショップの社会における活用方法について調査研究する「SPTラボラトリー～演劇ワークショップラボ2025」を設定し、ラボメンバーを募集。今年度は、ラボメンバーを対象としたゼミの他、「まちづくり」をテーマにしたレクチャー、劇場の提携公演「フィーチャードシアター」と連携したワークショップ&クロストークなどのプログラムを一般にも公開した。(36回)	通年	3,000～ 1,000	363	300	稽古場/セミナー ルームほか
舞台技術 者人材育 成プログ ラム	Technical Theatre Training Program 舞台技術講座	次世代を担う舞台技術者やプランナー、デザイナーを対象に、舞台・照明・音響各分野で未経験者及び経験者向けの安全講座、各分野別プログラムを実施した。また、体験編、劇場構造講座など多様なプログラムを設け実施した。(7講座)					
		(1)音響基礎講座	8月21日		15		
		(2)照明基礎講座	8月22日		24		
		(3)舞台技術安全講座	8月23日～24日		5		
		(4)舞台音響講座 体験編	2026年2月6日	3,000～500	27	310	パブリックシア ター/シアター ラム
		(5)舞台照明講座 体験編	2026年2月7日		31		
		(6)舞台技術安全講座 座学編	2026年2月8日		22		
		(7)劇場建築と構造の解説講座「劇場が表現に与える力」(5回)	7月9日～ 2026年3月26日		49		
	舞台技術支援	劇場利用者等に対して、設備等の使用講習会を実施するとともに、プラン・オペレートや機材等の支援を行った。	通年	—	—	—	—
区民の表 現の場の 提供	フリーステージ	世田谷区民を中心とした、音楽やダンスなどの文化活動を行なっている団体から出演団体を公募。 世田谷パブリックシアター(ダンス部門)とシアターラム(音楽部門・一部ダンス団体)にて、各団体と劇場スタッフが協力し、事前の打ち合わせやリハーサルなどの作業を重ね、日ごろの成果を発表した。(5日間5回)	4月26日～5月5日	—	2,256	3,000	パブリックシア ター/シアター ラム
	シアターラム・ネクストジェネレーション vol.17—フィジカル— MWMW(モウィモウィ)『どこにもない場所』	2008年度より実施されてきた、世田谷パブリックシアターによる若い才能の発掘と育成を目的とした事業である「シアターラム・ネクストジェネレーション」を、2023年度からは「演劇」「フィジカル(ダンス、サーカス等身体表現)」とジャンルを分け、隔年で開催。2025年度は「フィジカル」部門として、MWMW(モウィモウィ)『どこにもない場所』を上演した。(3回)	12月19日～21日	6,000～ 2,000	464	560	シアターラム

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
地域活性のための文化芸術事業	世田谷アートタウン2025『三茶de大道芸』	三軒茶屋の街を舞台に、商店街の各所で大道芸のパフォーマンスなどを行った。三軒茶屋の活性化と地域の文化向上を図るため、地元商店街や町会等との実行委員会方式により実施した。2日間開催。(文生センター全体事業)	10月18日～19日	—	165,000	200,000	三軒茶屋駅周辺 商店街ほか
劇場広報	劇場営業広報宣伝	営業・広報宣伝活動を通じて世田谷パブリックシアターの事業を世田谷区内外に広く周知した。地域の劇場/創造発信型劇場としての当劇場の存在意義を高めるブランディング活動として各種メディアへの情報提供、ホームページなどによる情報発信を行い、主催事業への集客を図り財団の収益性の向上に資する営業活動を行った。	通年	—	—	—	—
	学芸共通広報宣伝	学芸部門で行われているワークショップ・レクチャー等の普及を進めるための広報物の作成や宣伝等の活動を、紙媒体ならびにホームページ(オンライン)を中心に展開した。	通年	無料	—	—	—
	劇場雑誌の発行	各事業の成果を記載したアニュアルレポートを劇場雑誌として編集・発行した。2025年度は2024年度の事業を報告するために事業ごとの活動を分析、記録、周知するアニュアルレポートを劇場雑誌として編集・発行した。	通年	無料	400部	500部	—
	劇場ツアー	世田谷パブリックシアター及びシアタートラムの施設や機構などをツアー形式で参加者に紹介した。ツアーのナビゲートは芸術監督及び劇場職員が行った。(4日間9回)	4月22日、 7月20日、 10月5日、 2026年1月25日	無料	283	250	パブリックシアター/シアタートラム
海外招聘・国際共同制作	海外招聘ダンス ピーピング・トム 『トリプティック』	驚異的なテクニックと独創的なスタイルで国際的に高い評価を受ける、ベルギーを拠点に世界で活躍するダンスカンパニー、ピーピング・トムの公演。約2年半ぶりの来日公演として代表作『トリプティック』を上演した。本作はオランダのネザーランド・ダンス・シアター(NDT)の委嘱により制作された三部作をピーピング・トムのオリジナルキャストで再構築した、傑作として知られる作品である。あわせてダンスワークショップやレクチャーなどの関連事業を実施し、カンパニーの表現を多角的に紹介した。これにより、日本の観客に舞台芸術の魅力に触れる機会を提供し、鑑賞体験の深化と関心の喚起につなげる成果を上げた。(公演4回、ワークショップ2回)	9月27日～30日	7,500～ 2,000	2,041	2,150	パブリックシアター
		【関連企画】 パフォーマンスワークショップ ①Aコース:一般向け(ダンス経験不問) ②Bコース:ダンサー・パフォーマー向け	①9月28日 ②9月29日	①②2,000	①24 ②22	—	稽古場
		プレトーク&「サード・アクト/Third Act」特別上映会 ピーピング・トム主宰のフランク・シャルティエを迎えたプレトークと、世田谷パブリックシアターでも上演された「家族」3部作の第1弾『ファーザー』と第2弾『マザー』のツアー公演を追ったドキュメンタリーの特別上映会	9月28日	無料	59	—	セミナールーム
		【滋賀公演】滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	10月4日	6,050～ 2,200	566	—	中ホール
		【愛知公演】穂の国とよはし芸術劇場PLAT	10月11日	6,600～ 1,000	464	—	主ホール

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
海外招聘・国際共同制作	世田谷アートタウン2025関連企画 カンパニー・ループリエ/ラファエル・ボワテル 『Ombres Portées/キャストシャドウ』	フランス・ボルドーを拠点に活動し、当館での国際共同制作の実績も有するラファエル・ボワテル率いるカンパニー・ループリエを招聘し、話題作『Ombres Portées/キャストシャドウ』を上演した。本作では、クラウド・スウィングやコントーション、アクロバット、エアリアルなどの迫力あるサーカスアクトに加え、“言葉”が新たな役割を担い、秘密と不穏さを帯びた家族の物語を描き出した。あわせてアマチュアおよびプロ向けのワークショップを実施し、創作手法や表現の魅力を広く共有した。これにより、多くの観客に質の高い舞台芸術に触れる機会を提供し、理解と関心の深化につなげる成果を上げた。(3回)	10月24日～26日	6,000～3,000	922	1,350	パブリックシアター
		【関連企画】 現代サーカスワークショップ ①Aコース：一般向け(パフォーマンス経験不問) ②Bコース：パフォーマー向け	①10月28日 ②10月29日	①1,500 ②2,500	①19 ②12	①20 ②10	パブリックシアター 稽古場
せたがやアートファーム	せたがやアートファーム2025 アロフト・サーカス・アーツ『ブレイブ・スペース』	せたがやアートファームのプログラムとして、アメリカ・シカゴを拠点に活動するアロフト・サーカス・アーツの観客参加型サーカス公演『ブレイブ・スペース』を招聘し、上演した。2005年設立の同カンパニーは力強さと温かみを兼ね備えた表現で人気を博しており、本公演は初来日公演となった。本作は「信頼できるコミュニティをつくる」ことをテーマに、テントの設営から始まる空間の中で、シルホイールやトラピーズ、ジャグリングなどを展開し、観客参加型の構成によりその理念を体感的に提示した。あわせて子どもおよび大人向けのワークショップを実施し、多様な参加機会の創出と舞台芸術を通じたコミュニティ形成の可能性を示す成果を上げた。(8回)	7月28日～31日	3,500～1,000	772	700	パブリックシアター
		【関連企画】 レクチャー『アメリカにおけるサーカスの現在と未来』	7月24日	500～無料	10	—	パブリックシアター 稽古場
		サーカスわくわくワークショップ ①Aコース【キッズ向け】エアリアル ②Bコース【パフォーマー向け】エアリアル ③Cコース【キッズ向け】ジャグリング&フラ・フープ ④Dコース【高校生以上向け】ジャグリング&フラ・フープ	①②7月25日 ③④7月27日	①③④1,500～1,000 ②2,500～2,000	①8 ②6 ③13 ④9	51	パブリックシアター 稽古場
		【福島公演】いわき芸術文化交流館アリオス(4回)	7月20日～21日	2,000～500	388	—	大リハーサル室
		【長野公演】松本市美術館 市民創造ひろば(2回)	8月2日～3日	2,500～1,000	180	—	中庭
		【京都公演】ロームシアター京都(3回)	8月5日～6日	2,000～800	294	—	サウスホール 舞台上
		【福岡公演】J:COM 北九州芸術劇場(3回)	8月9日～10日	3,500～1,500	292	—	中劇場 舞台上

(3)世田谷文化生活情報センター 音楽事業部(せたおん)

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
身近に親しむ演奏会	室内楽シリーズ	内外で活躍する演奏家を選び、質の高い音楽を提供する、室内楽の演奏会シリーズ。 春休み特別企画 —子どもと大人に贈る語りと音楽— 遠くから来たきみの友たち 実力ある意欲的な若い世代の演奏家たちからの提案により、細川俊夫作品を日本初演した。入念な準備が重ねられた充実の演奏となり、子どもはもとより、大人も楽しむことができるものとなった。	4月4日	4,000円～ 1,000円	248	1,290	成城ホール
		J-TRAD Ensemble MAHOROBA —日本伝統音楽の新しいかたち 伝統を重んじながらも、高度な技術が求められる現代の新しい作品の演奏に取り組んでいる稀有なグループ。選りすぐりの曲目を熱のこもった演奏で聴かせ、客席から喝采を浴びた。① 〈こども向け特別企画〉 MAHOROBA 一日限りの音楽授業 募った言葉をつなげて歌詞にし、それを元に即興的に演奏するなど、子どもたちに邦楽器の楽しさを自然に伝えることができた。②	①7月6日 ②11月3日	①4,000円～ 1,000円 ②1,000円	①198 ②40		①成城ホール ②三茶しゃれな あどホール
		上野耕平 サクソフォン・ワールド 前半はピアノの山中惇史とのデュオ、後半はThe Rev Saxophone Quartetとしての演奏。高い技術と表現力を備え、エネルギーにあふれる演奏で、満席の会場を沸かせた。① 〈こども向け特別企画〉 上野耕平 一日限りの音楽授業 佐藤采香(ユーフォニアム)、高橋優介(ピアノ)と共に実施した子ども向けワークショップ。アイデア満載の楽しいものとなり、子どもたちを堪能させた。②	①10月18日 ②9月15日	①4,000円～ 1,000円 ②1,000円	①765 ②23		①せたがやイー グレットホール ②せたがやイー グレットホール練 習室
	シリーズ和・華・調	宮園節～色香る古曲のたのしみ～ 日本の伝統音楽を紹介するシリーズ。実演機会のほとんどない「宮園節」を取り上げる貴重な機会となり、各方面から称賛を受けた。古川諒太による明瞭で機知に富んだ解説も、多くの観客を惹きつけ、理解を深めた。	4月19日	4,500円～ 4,000円	174	270	成城ホール
	KSO高雄市青少年交響楽団・SJOせたがやジュニアオーケストラ 交流コンサート [区受託]	台湾・高雄市から、KSO高雄市青少年交響楽団とKCO高雄市青少年国楽団が来日、せたがやジュニアオーケストラとの合同演奏会を開いた。バラエティに富んだプログラムで好評を得た。	7月29日	無料	650	750	せたがやイーグ レットホール
	宮川彬良のせたがや音楽研究所	#17「子どもはみんな天才だ！」 前半は歌手と児童合唱団による、子どもたちに因んだ曲の演奏。後半は募集した子どもたちの「鼻歌」を紹介し、編曲を施して演奏するという、研究所ならではのオリジナリティに富んだ公演となった。	8月24日	3,000円～ 1,000円	418	760	せたがやイーグ レットホール
	せたがやジュニアオーケストラ オータムコンサート	親しみやすい曲目と趣向を用意して、せたがやジュニアオーケストラの練習の成果を披露する。全体合奏のほかに、吹奏楽、弦楽のアンサンブル曲も交えたバラエティ豊かな公演。終演後には、楽器体験のワークショップも開催した。	11月9日	500円	519	730	せたがやイーグ レットホール

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
身近に親しむ演奏会	ミュージック・ラウンジ	仕事帰りの人たちがリラックスして楽しめるように、金曜の夜、1ドリンク付きで開くコンサートのシリーズ。 vol.8 三沢またろう マジカル・リズム・ツアー 井上鑑、ジェームス小野田、BONのほか、三沢またろう打楽器塾のメンバーが、様々な打楽器を用いながら、リズムの楽しさと奥深さを披露し、熱気あふれる公演となった。	5月16日	4,500円～ 3,800円	224	750	北沢タウンホール
		vol.9 鈴木聖美&桑野信義 with TZ's ベテラン歌手2名による、熟練の技で客席を巻き込む歌唱と演出で、往年のヒット曲の数々が披露され、大いに盛り上がった。多様な年齢層が来場し、満足度は高かった。	9月19日	4,500円～ 3,800円	258		
		vol.10 世田谷トリオ featuring 大友良英 & HIMI 地元出身ということもあり、非常にアットホームな雰囲気となった。スタンダードからフリー、フュージョンまで多様なアプローチに加え、若手らしい澁渾としたエネルギー溢れる演奏が観客から好評を博した。	2026年1月30日	4,500円～ 3,800円	228		
	世田谷区民会館ラウンジ・コンサート [区受託]	世田谷区民会館(せたがやイーグレットホール)が、区民に親しまれ、憩いの場、交流の場となるように、ラウンジ空間で無料のライブを実施した。		無料		—	せたがやイーグレットホール 2階ラウンジ
		#2 津軽三味線 輝&輝	5月21日		65		
		#3 大谷舞(ヴァイオリン) 栗原陸人(ギター)(2回)	7月24日		130		
		#4 中西俊博(ヴァイオリン) 古川昌義(ギター)	9月11日		155		
		#5 「ウクレレ クリスマス」 rena(ウクレレ)	12月4日		140		
		#6 「Ari&Akira 福袋LIVE」 宮川安利(歌)、宮川彬良(ピアノ)	2026年1月22日		260		
		イカメラ探鼎談 井上鑑×亀田誠治×宮川彬良の気ままなトーク	2026年3月4日		120		
活動をつなぐ演奏会	異分野とのコラボレーション	第19回 お話と音楽でつづる「水と音楽」 池辺晋一郎音楽監督の企画シリーズ19回目。堀井美香の朗読や質が高く聴きごたえのある演奏を交え、水が音楽表現に対して大きな影響力を持っていることが語られ、興味深い公演となった。	11月15日	4,000～ 1,000	176	240	烏山区民会館
	せたがや名曲コンサート	ヴェルディ オペラ・ガラ 世田谷フィルハーモニー管弦楽団と世田谷区民合唱団と共に、実行委員会を組んで行う恒例のコンサート。演奏会形式ながら、4作品のハイライトを一挙に、安価に聴くことのできるコンサートとして、人気を呼んだ。	2026年2月22日	2,500～ 1,000	1,571	1,320	昭和女子大学 人見記念講堂

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
活動をつ なぐ演奏 会	連携コンサート	多様な事業を展開していくため、意義のある企画を選んで、他の団体と共同で開催するコンサート。世田谷文学館の30周年記念事業として、早期から綿密な協議を重ねて、質の高い、文化的価値のあるプログラムを実現した。 《ドナルド・キーン展》× せたおん 連携イベント ①トークとオペラ「キーンさんの愛したオペラ」〈トーク〉池辺晋一郎(当財団音楽監督)／種谷典子(ソプラノ)、原田圭(バリトン)、高瀬さおり(ピアノ) ②座談会と能楽「ドナルド・キーンと三島由紀夫 近代能楽集を巡って」 〈座談会〉織田紘二(元 国立劇場・理事)・児玉竜一(早稲田大学演劇博物館・館長)・キーン誠己(一般財団法人ドナルド・キーン記念財団代表理事) ／浅見重好(能楽師)、上田公威(能楽師) ほか	①12月16日 ②2026年1月18日	①2,500～ 1,000 ②2,500～ 1,000 ※①②セット券 4,500	①87 ②86	—	世田谷文学館
ワーク ショップ・ 講座	音楽講座	区民がいろいろな形で音楽の楽しさに触れられる企画を実施した。音楽の持つ多彩な魅力を紹介した。 せたおん夏休みスペシャル！ その1 テルミンの巻 夏休み時期に、こどもたち向けに行うワークショップ。テルミン奏者・街角マチコを講師に、「小学生」「中学生・高校生」「小学生の親子」の3コース実施した。	8月20日	1,000～ 500	18	140	深沢区民センター
		せたおん夏休みスペシャル！ その2 打楽器の巻 夏休み時期に、こどもたち向けに行うワークショップ。パーカッション・グループどやどや楽団を講師にして、「小学生」対象を2コース実施した。	8月30日	500	23		代田区民センター
		「せたおん音盤ミーティング」 音楽と新たに出あうための、みんなでトーク&リスニング・イベント ①テーマ「クリスマスに聴きたい曲」 ②テーマ「旅立ち」 テーマのもとに、区民がお気に入りの音楽を持ち寄り、お喋りを楽しむ会合。それぞれが思う音楽の魅力について共有した。	①12月7日 ②2026年2月21日	無料	①9 ②12		ワークショップルーム
		音楽と新たに出あうためのトークイベント マイ・プレイリスト vol.6 【菊地成孔＋新音楽制作工房】 「AI時代に音楽をどう聴く？」をテーマに、音楽制作にAIを活用しているゲストを招いて、現状とこれからについて、実演を交えながら、語ってもらった。	2026年3月5日	1,000	58		ワークショップルーム
		フリーペーパー「プレイリスト・ノート」 区民から募集した〈世田谷の100曲〉を特集した『2025・秋』号とトークイベントの記録をまとめた『2026・春』号を発行した。	—	—	—		—
次の時代の ための プログラム	せたがやジュニアオーケストラ運営	子どもたちが、オーケストラ活動を通じ、豊かな人間性、社会性を身に付けることを目指して、年間を通じて活動。週一度の練習だけでなく、連携する東京フィルハーモニー交響楽団のリハーサル見学なども行った。	通年	月額5,000	90	85	区内各所
	せたがやジュニアオーケストラ交流イベント	せたがやジュニアオーケストラ × 姫路市ジュニアオーケストラ 合同演奏会 2023年の姫路公演に続く、「姉妹オーケストラ」との2回目の演奏会。双方のメンバー間での交流も進み、それぞれでの演奏はもちろん、合同のオーケストラとしても、しっかりとした演奏を披露した。	8月10日	500	413	700	せたがやイーグレットホール
	せたがやジュニアオーケストラ定期演奏会	メンバー全員が揃って、取り組んだ活動の成果を問う、年1回の定期演奏会。難曲揃いのプログラムだったが、見事にこなし、喝采を浴びた。セクションディレクターをソリストにした協奏曲にも取り組み、演奏面だけでなく、協調性の面でも成長があった。	2026年3月22日	2,000～ 1,000	591	820	せたがやイーグレットホール

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
次の時代の ための プログラム	学校への訪問企画	多くの子どもたちに音楽を身近に感じてもらうため、コンサートやワークショップを通じて、学校に生の音楽を届けた。区立の小・中学校に希望を募り、それぞれの学校の状況や要望に合わせて実施した。	①12月19日 ②2026年1月29日 ③2026年3月12日	無料	550	1,000	①八幡山小学校 ②弦巻小学校 ③喜多見中学校
区民の表 現の場の 提供	世田谷アーティスト支援企画 Discovery Setagaya Sounds	Eric Miyashiro BIG BAND 世田谷区民の一流アーティストによる、世田谷区民に向けた、世田谷ならではの公演。異色ともいえるゲスト・井上鑑との希少性の高いステージは、相乗効果を発揮し、来場者から極めて高い満足度を得た。	11月29日	5,000～ 1,000	709	700	せたがやイーグ レットホール
	区民参加プログラム	Setagaya Voice Fes 一声のチカラ、音楽のチカラ 亀田誠治のプロデュース。全3回のハーモニー・ワークショップを経た区民参加者とアーティストの共演や、客席全体を巻き込んだ「即興ハーモニー体験」を組み込み、会場全体が表現の場となる一体感と温かさを創出した。	2026年2月15日 ワークショップ 2026年1月24日、 2月5日、13日	4,500～ 1,000 ワークショップ 4,000	510 ワークショップ 30	800	せたがやイーグ レットホール
	世田谷区民音楽団体の支援 [区受託]	世田谷フィルハーモニー管弦楽団、世田谷区民合唱団、世田谷区民吹奏楽団のアマチュア3団体を支援。3団体集まるとの会合を開くなど、連絡を密にし、各団体の活動の活発化を図った。	通年	—	3団体	3団体	—
地域活性 のための 文化プロ ジェクト	せたがやまちかど・まちなか コンサート	区民が身近な地域で音楽を楽しめるよう、区内各所の公共施設や街角などで、コンサートを実施した。	6月8日	無料	636	1,000	せたがやイーグ レットホール
		(1)せたおんまちなかコンサート in セタがやイーグレットホール ホール、集会室、カフェラウンジを使い、Orchestra Tokyo Brass Quintet with Pianoによる金管アンサンブル、新居由佳梨のピアノなど、それぞれの場所に似合った音楽を演奏。老若男女が半日楽しむことができるイベントとなった。	8月20日	無料	90		深沢区民セン ター
		(2)まちかどテルミンコンサート 街角マチコが奏でる、不思議な楽器テルミンの音を楽しむコンサート。玉川地域で初開催となり、近隣の人たちを中心に家族連れが多く集まり、好評を得た。	8月30日	無料	80		代田区民セン ター
		(3)どやどや打楽器コンサート パーカッション奏者4人で構成された、どやどや楽団が、様々な打楽器を紹介しながら進行。観客も参加して、会場が一体となって楽しんだ。	12月20日	無料	540		玉川せせらぎ ホール
	セタおんまちなかコンサート SiriuS Christmas DUO	1日2回公演を実施。玉川地域を中心に地域住民の広報を強化した結果、家族連れなど地域の人々とみられる来場者も多く、良質の公演を気軽に区民に聴いてもらうことができた。(2回)	2026年2月28日	無料	550	—	せたがやイーグ レットホール
	ホストタウンコンサート [区受託]	「第9回せたがや国際メッセ」の一環として、世田谷区がホストタウンとなっているアメリカ合衆国発祥の音楽ゴスペルを楽しむ「第7回ホストタウンコンサート」を開催した。	7月13日～ 2026年3月1日	無料	—	—	区内各所
	Setagaya Arts Place [区受託]	区民に身近な場所で気軽に文化・芸術に触れる機会を提供するため、区が主催するイベントや地域のにぎわいとなっている商店街のイベントに、芸人やアーティストを派遣した。15か所で全16回実施した。	—	—	—	—	—
	世田谷アーティストバンク (音楽演奏部門) [区受託]	世田谷のアーティストが、より多くの人に出会い、表現の場を広げていくための登録制度。音楽演奏部門の発足にあたり、事務局を担った。106組の応募があり、審査の結果、31組の登録アーティストが生まれた。	通年	—	—	—	—
音楽事業 部広報	「情報ガイド」をはじめとする 各種広報活動	ホームページ、「せたおんイベント」や「情報ガイド」、さらにはマスコミ等への情報提供を通じ、事業予定・内容等を広く区民へ発信するほか、戦略広報としての展開を推進した。	通年	—	—	—	—

(4)世田谷文化生活情報センター 国際事業部

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
市民活動 支援	せたがや国際交流センター の運営	主に、区内在住外国人の生活相談等の問い合わせに対する窓口案内などを行った。また、行政情報、生活・文化情報を多言語で発信し、国際交流に関する地域活動団体の紹介、パネル展示企画などを行った。	通年	—	5,282	4,000	せたがや国際交 流センター
	区内活動団体の支援事業	区内で多文化共生、国際交流、国際貢献活動をしている団体のPRや、イベント等の紹介、情報の共有などにより事業連携を行った。 【せたがや国際交流センター 事業連携・協力団体】 ①イクリスせたがや、②(一社)おやまちプロジェクト(ばすれる)、③Cultural Fusion Hub、④(一社)じゅんぐり、⑤(NPO)せたがや子育てネット、⑥昭和女子大学 国際交流センター、⑦白百合女子大学、⑧(一社)日本国際教育協会 ⑨(一社)国歌の輪⑩(NPO)エンチャイルド ⑪(NPO)国際ボランティア学生協会、⑫(NPO)CFFジャパン、⑬JCA玉川、⑭JCA千歳船橋、⑮KiyorinPark、⑯(NPO)インターナショナル世界平和の響き、⑰日本語サークル「わかば」、⑱日本語教室wbt、⑲世田谷海外研修者の会、⑳明治大学情報コミュニケーション学部、㉑国士舘大学国際交流センター、㉒世田谷区立弦巻中学校、㉓SANCHA ³ 【広報】(一財)世田谷トラストまちづくり、SANCHA ³ 、(福)世田谷ボランティア協会、世田谷区、生活工房、世田谷美術館、向井潤吉アトリエ館など	通年	—	23団体	10団体	せたがや国際交 流センター
国際交流・ 異文化理 解の推進	区民国際交流事業	【国際交流団体との共催】 区民と外国にルーツを持つ人と交流を目的とする事業を、区内の国際交流団体と共催して実施した。 世界のことばでおはなし会 ～多様性・多文化に出会う～ 区内で子育て支援を行う国際交流団体が集まり、グループ紹介や交流・情報交換を行うイベントを開催した。	7月12日	無料	100	—	ワークショップ ルーム
		多様性・多文化に出会うVol.2「せたがや・せかいファミリーDAY」 「多様性・多文化」をテーマとする企画第二弾。世田谷に住む外国人家族を対象に交流スペースやワークショップ、相談コーナーなどを設け、支援を必要としている人々が団体とつながる機会とした。	2026年1月24日	無料	64		ワークショップ ルーム
		社協共催「Kami-U-Friends」 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会ぷらっとホーム世田谷との共催事業。社協の行う外国人の居場所支援事業の特別編に協力参加した。①「アートタウンに行こう！」②「おにぎりFestival&各国家庭のおやつ」	①10月18日 ②2026年3月21日	無料	①24 ②15		①三茶de大道芸 会場、②上馬塩 田ふれあいの家
		【第9回せたがや国際メッセ&第7回ホストタウンコンサート】 区民が多様な文化を知り・触れることができ、参加・出展する区民団体等の活動をPRする場を提供する「せたがや国際メッセ」を区と共催で実施した。	2026年2月28日	—	2,000		せたがやイーグ レットホール
	にほんご交流会	にほんご交流会inテンブル大学 在住外国人と日本人住民が小人数のグループに分かれ、各回それぞれのテーマに沿って「やさしい日本語」で会話をする交流会を実施した。	①7月5日 ②11月8日 ③11月29日 ④2026年3月28日	500 (学生無料)	①67 ②63 ③54 ④58	各50	テンブル大学ジャ パンキャンパス
		にほんご交流会in日本大学文理学部 「我愛我家」:中国にルーツを持つ学生による中国文化紹介をテーマに交流会を実施した。	12月13日	500 (学生無料)	36		日本大学文理学 部本館ラーニン グコモンズ

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
国際交流・異文化理解の推進	まち歩き	文化施設や商店街など、地域をめぐるイベントを企画し、区内の在住外国人と区民が、地域の魅力を発見しながら交流した。 【さんちゃ にほんご まちたんけん】 三軒茶屋の商店街を中心に謎解きをしながらまち歩きを楽しんだ。(協力:公益財団法人世田谷区産業振興公社、世田谷警察署)	11月16日	無料	51	20	三軒茶屋周辺
ワーク ショップ・ 講座	【多文化理解講座】	主に区民を対象として、文化の違いなどを学ぶことができる講座を開催し、共生社会実現に向けての一助とした。					
	第1回 やさしい日本語ワークショップ入門編～外国人にも伝わる日本語のコツ～	「やさしい日本語」について理解を深め、ワークショップ形式による「やさしい日本語」への言い換えを体験しながら、より外国人とのコミュニケーションの実践につながる内容とした。	4月19日	500 (学生無料)	37	60	セミナールーム
	第2回 外国人のための いけばな体験(草月流)	やさしい日本語に英語も交えながら、草月流の基本のいけ方(立真型)に挑戦。外国人の方々が、伝統的ないけばなを体験することで、日本文化への理解を深める一助とした。	5月17日	2,000	17	10	ワークショップルーム
	第3回 難民映画祭パートナーズ上映会2025	上映作品「ビバ・マエストロ! 指揮者ドゥダメル挑戦」 世界難民の日に合わせて国連UNHCR協会との関連事業「難民映画祭パートナーズ上映会」を実施した。	6月22日	500 (学生無料)	210	120	玉川せせらぎホール
	第4回 外国人のためのテーブル茶道	外国人を対象に、日本の伝統文化である茶道を体験する講座を開催。今回は、椅子に座り、気楽に茶道に親しむことができる「テーブル茶道」の形式で開催した。	9月20日	1,000	18	10	ワークショップルーム
	第5回 カナダ・マニトバ州都ウィニペグ市姉妹都市提携55周年記念「ウィニペグ市の魅力～多文化共生の街を旅する」	姉妹都市提携55周年を記念し、先住民をはじめ多くの民族が暮らす多文化共生の街ウィニペグ市の知られざる魅力をカナダ大使館の後援のもと紹介した。	11月15日	無料	46	40	セミナールーム
	第6回 「やさしい日本語」ワーク ショップ実践編～やさしい日本語を使ってみよう	国士舘大学国際交流センターの協力により留学生6名が参加し、相互コミュニケーションをワークショップ形式で体験しながら、伝わりにくい日本語についてグループワークで話し合った。	11月22日	500 (学生無料)	32	60	セミナールーム
	第7回 珈琲で知るルワンダ共和国	区内に大使館のあるルワンダ共和国に焦点を当て、珈琲を切り口にルワンダ共和国の生活・文化などを知る機会を提供した。	2026年2月7日	1,500	37	30	ワークショップルーム
	第8回 “子ども大使”のアンゴラ共和国大使館訪問	小学6年生になる児童を対象に、アンゴラ共和国大使館のご協力で外国の文化を体験する機会を提供した。	2026年3月31日	無料	22	20	アンゴラ共和国大使館
	韓国語でおしゃべり	国際交流センターの韓国人スタッフによる韓国語講座を実施した。(19回)	各月第4木曜日ほか	無料	68	—	せたがや国際交流センター
	外国語で絵本の読み聞かせ	国際交流センターの外国人スタッフによる①外国語で絵本の読み聞かせ会②折紙デコレーション③アートタウン子どもお楽しみ企画を実施した。	①②通年 ③10月18日～19日	無料	①72 ②360 ③170	—	せたがや国際交流センター

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
地域日本語教育の総合的な体制づくり	外国人のための日本語教室	第1期 週2回(水・土) 18回 ※オリエンテーション 5月10日	5月17日～7月16日	無料 (テキスト代のみ)	22	20	セミナールームほか
		第2期 週2回(水・土) 18回 ※オリエンテーション 7月5日	7月12日～9月17日		19	20	オンライン
		第3期 週2回(水・土) 18回 ※オリエンテーション 9月6日	9月13日～11月12日		22	20	セミナールームほか
		第4期 週2回(水・土) 18回 ※オリエンテーション 11月1日	11月8日～2026年1月21日		18	20	オンライン
		第5期 週2回(水・土) 18回 ※オリエンテーション 2026年1月7日	2026年1月17日～3月18日		24	20	セミナールームほか
	せたがや日本語サポーター講座	①基礎 オンライン 週1回(全5回)	6月8日～7月6日	無料	50	40	オンライン
		②基礎 オンライン 週1回(全5回)	10月26日～11月23日		43	40	
		実践編(全1回)	12月7日		32	40	セミナールーム
	交流会Meetup(日本語教室・サポーター講座)	「外国人のための日本語教室」「せたがや日本語サポーター講座」受講者対象の交流会。お互いが日本語でのコミュニケーションをとることで、日本語上達に向けての交流を図った。(2回)	①7月19日 ②2026年3月21日	無料	①27 ②42	各40	ワークショップルーム
	【その他】						
	定住外国人等向け「しごとのためのにほんご」	厚生労働省が実施している定住外国人のための「しごとのためのにほんご」の講座を区(経済産業部)と共催して実施した。(2期)	①5月30日～7月30日 ②9月30日～12月3日	無料	①9 ②11	各20	セミナールーム ワークショップルーム
	外国人のためのリレー専門家相談会	外国人在留支援センターが実施する、主に留学生向けの仕事に関する専門家相談会を区(文化・国際課)と協力して実施した。	7月12日	—	12	—	せたがやイーグレットホール
	外国人のための労働相談会	厚生労働省が実施している定住外国人のための労働相談会を区(経済産業部)と共催して実施した。	11月28日	—	11	—	世田谷産業プラザ
国際事業部広報	国際事業部広報	せたがや国際交流センターの施設案内、国際事業部の事業などを情報発信した。また国際交流活動や地域活動などを実施する団体の情報、外国人への生活に役立つ情報、区内の施設案内なども併せて発信した。 (ホームページ、Facebook、X、Instagram、メールマガジン、ニュースレター、せたがやふるさと区民まつりブース参加)	通年	—	—	—	—

(5)世田谷美術館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
企画展事業	世田谷美術館コレクション選 緑の惑星——セタビの森の 植物たち	当館のコレクションから、古今東西、様々な手法で表現された多様な植物にまつわる作品を一堂に展示する内容。Ⅰ《森林》、Ⅱ《風景》、Ⅲ《庭園》、Ⅳ《花園》、Ⅴ《楽園》、の5つの章で構成し、併せて来場者が参加できる参加コーナー、関連イベントも多数開催した。	(2月27日)～ 4月13日	一般500ほか	4,891 (総計: 13,125)	4,000 (総計: 10,000)	世田谷美術館
		身体表現ワークショップ「植物を見よ」(全7回)	(3月19日)～ 4月13日	20,000	23	—	
		クロージングパフォーマンス「植物を見よ」(2回)	4月13日	無料	79	—	
		参加コーナー「みんなでつくるセタビの森」	(2月27日)～ 4月13日	無料	7,721	—	
	横尾忠則 連画の河	88歳にしてなお、破格の創造活動が続ける美術家・横尾忠則(1936-)。描く際にどこまで自由になれるかを試すべく、昨今はテーマすら決めずにキャンバスに向かうようになった。アトリエを訪れる来客との対話、そしてある日モチーフとして選んだ、故郷の川辺で撮られた1枚の記念写真からイメージが湧きあがって、日々連なってゆくようになる。その様子は、連歌ならぬ「連画」。2023年春から約2年にわたり制作されてきた新作には郷里の川が流れ、その水が伏流となり、すべての画面をひそかに横断してゆく。横尾忠則の壮大で新たな世界を紹介した。	4月26日～ 6月22日	一般1,400 ほか	28,901	22,000	世田谷美術館
		講演会「横尾忠則、連画の魅力」	4月29日	無料	104	—	
		ピアノコンサート「Yokoo×Mishima×Glass」	5月3日	2,000	120	—	
		即興ライブ「Terry Riley & SARA-Musica Geometrica Sagrada-」	5月24日	3,000	100	—	
	野町和嘉——人間の大地	熱心な信仰を支えとして多様な風土を折り合いながら生き抜く人々を、地球規模的スケールで旅し、記録し続けてきた写真家・野町和嘉(1946年、高知県生まれ)。現在では政情悪化のために足を踏み入れることが困難な地も多く、さらに、携帯電話の普及や急速なグローバル化のなかでかつての人の営みは一変している。二度と撮影できない人と大地のドキュメントに、旅のエッセイも加え、野町の半世紀にわたる足跡を辿った。	7月5日～8月31日	一般1,400 ほか	14,277	14,000	世田谷美術館
		講演会「人間の大地を踏みしめた50年を振り返って」	8月2日	無料	190	—	

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
企画展事業	自然と魂 利根山光人の旅 ——異文化にみた畏敬と創造	利根山光人(1921-1994)は茨城県に生まれ、長く世田谷の等々力にアトリエを構えた洋画家。利根山といえば初期の佐久間ダムシリーズやメキシコとの関わりで紹介されることの多い作家だが、アトリエに遺された膨大な素描や版画群を調査するなかで、メキシコのみならずインドや中国、中東や欧米、そして日本各地の祭り、とりわけ古墳や遺跡に関心を寄せ、世界中に創作のイメージを求める姿が明らかになった。それらはまるで時空を超えた旅をしているかのようだ。 本展では、旺盛な好奇心による利根山の創作の旅路を追うことで、自由な創造の源泉を探り出し、新たな作家像を提示した。	9月13日～11月9日	一般1,400 ほか	9,010	10,000	世田谷美術館
		工房見学「絶筆石版画の公開制作—利根山光人の版画技法をひも解く」	10月5日	無料	33	—	
		ナイトイベント「トネヤマ・デ・ノーチェ」	10月11日	無料	51	—	
		レクチャー「人間讃歌の画家 利根山光人—大いなる生を描く—」	10月19日	無料	40	—	
		レクチャー「担当学芸員による展覧会解説(友の会共催事業)」	10月25日	無料	47	—	
	つぐ minä perhonen	「つぐ」という言葉の持つ様々な意味と、2025年で創設30周年を迎えたブランド「ミナ ペルホネン」の活動と思想を組み合わせで紹介した。展示品としては、手作業で描かれたテキスタイル原画、オリジナルテキスタイル、ミナ ペルホネンのプロダクトや洋服なども並んだ。	11月22日～ 2026年2月1日	一般1,700 ほか	81,110	80,000	世田谷美術館
		ライブペインティング	11月24日	無料	1,811	—	
		ワークショップ「テキスタイルのデザインをしよう」(2回)	12月7日	8,800	39	—	
		皆川 明・田中景子トークイベント	12月14日	無料	143	—	
		トークイベント「つくるきもち・つかうきもち—remixをめぐる—」	2026年1月10日	無料	141	—	
		トークイベント「ミナ ペルホネンのものづくり—ひととくと世界につながる—」	2026年1月11日	無料	145	—	
調査・研究	調査・研究						
	企画展	次年度以降の企画展の立案・具体化のため、国内外各所との交渉や基礎的な調査研究を行った。	通年	—	—	—	世田谷美術館
	収蔵品等 [指定管理]	収蔵品及び美術館活動に係る調査・研究を行った。学芸員による調査研究成果を『紀要』として編集発行し、美術研究に資した。	通年	—	300冊	350冊	世田谷美術館及び分館
	アーカイブ [指定管理]	今年度の事業のまとめとして『年報』を編集発行し、美術館活動を総括し、記録した。	通年	—	300冊	300冊	世田谷美術館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
収蔵品展	美術館 ミュージアム コレクション [指定管理]	世田谷美術館の収蔵作品を、テーマを設定して公開した。					
		第Ⅲ期 1980年代のイギリス美術 展覧会の記憶とともに	(1月25日)～4月6日	一般200ほか	2,042 (総計: 16,298)	17,920	世田谷美術館
		第Ⅰ期 世田谷でインド	4月19日～7月13日		25,447		
		講演会「中村屋サロンに集った芸術家たち—そして、純印度式カレーと中村屋」	5月10日	無料	100		
		講演会「インド音楽の楽しみ方—ビートルズからヒップホップまで」	5月31日	無料	100		
		出張カレー販売&DJ「東京カレー番長 世田谷でインド・カレー」	6月21日～22日	無料(カレー1,500)	300		
		第Ⅱ期 もうひとつの物語—女性美術家たちの100年	7月26日～11月3日	一般200ほか	15,087		
		ミュージアム コレクション特別篇 開館40周年記念「世田美のあしあと—暮らしと美術のあいだで」	2026年2月21日～(4月12日)	10月1日から一般220ほか	10,991 (総計: 14,551)		
		講演会「料理からみる北大路魯山人」	2026年2月22日	無料	120		
		座談会「企業と美術シリーズを語りあう」	2026年3月1日	無料	61		
		講演会「今ふりかえる世田谷美術館」	2026年3月14日	無料	97		
		講演会「ルソーと素朴派と、セタビのコレクション」	2026年3月15日	無料	85		
	向井潤吉アトリエ館収蔵品展 [指定管理]	向井潤吉作品にかかわる作品展を年2回実施した。				8,100	向井潤吉アトリエ館
		第Ⅰ期 京都と武蔵野—向井潤吉が描いたふたつの風景	4月1日～9月7日	一般200ほか	2,076		
		第Ⅱ期 没後30年 向井潤吉 心の交流記—民家を訪ね、描く楽しみ	10月1日～2026年3月15日	一般220ほか	2,318		
	清川泰次記念ギャラリー収蔵品展 [指定管理]	清川泰次作品にかかわる作品展を年2回実施した。				2,420	清川泰次記念ギャラリー
		第Ⅰ期 清川泰次の写真—その時代とまなざし	4月1日～9月7日	一般200ほか	1,059		
		第Ⅱ期 清川泰次 デザインの仕事—生活に息づく美	10月1日～2026年3月15日	一般220ほか	1,318		

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
収蔵品展	宮本三郎記念美術館収蔵品展 [指定管理]	宮本三郎作品にかかわる作品展を年2回実施した。					
		第Ⅰ期 宮本三郎 部屋のなかで—人物と静物をめぐって	4月1日～ 9月7日	一般200ほか	1,503	3,600	宮本三郎記念美術館
		第Ⅱ期 宮本三郎 都市と自然—それぞれの光	11月1日～ 2026年3月15日	一般220ほか	1,771		
資料収集・ 管理	資料収集 [指定管理]	貴重な美術作品及び美術に関する資料を、世田谷区民の文化的財産として蓄積していくため、区と共に収集委員会条例に基づき、美術品等を収集した。作品の購入は行わなかったが、作家本人や区民から寄贈の申し出があり、収集する機会があった。これらの機会を的確にとらえ調査を行い、収集委員会への提案に結び付けた。新規委託物品464点(取得評価額167,574,500円)。	通年	—	—	—	世田谷美術館及び分館
	作品保管整理 [指定管理] ・収蔵品管理システムの運用	収蔵品を保管・整理し、いつでも展示・公開できるように作品のコンディションを良い状態に保った。問題が生じた作品は修復や額装改善などの処置を施した。作品のデータについては収蔵品管理システムを活用し、一括管理した。また、収蔵品の公開の機会を増やすため、貸付要領に基づき作品の貸出を行った。修復、額装など68点。貸出については、貸出8件42点(うち資料9点)、返却12件73点(うち資料8点)。	通年	—	—	—	世田谷美術館及び分館
アートライブラリーの運営	アートライブラリーの運営 [指定管理]	世田谷美術館が所蔵している美術専門書の閲覧や視聴覚資料(DVD)の視聴、またレファレンスサービス等による情報提供を行った。	通年	—	13,357	12,000	世田谷美術館
ワーク ショップ・ 講座・イ ベ ン ト	講座・ワークショップ	美術と創造の普及を目的とした各種講座、企画展に関連した講座、子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とした単独開催形式の講座を開催した。どなたでも気軽に参加できる100円ワークショップ、実技の体験を目的とした講座や小中学生を対象にした実技と講義で美術を学ぶ講座を開催した。また、ウェブサイト及び公式Youtubeからの動画配信など様々な普及活動を行った。					
		【100円ワークショップ】 「オリジナルカンパッチを作ろう」(緑の惑星——セタビの森の植物たち)(3回)	4月5日～4月19日 の毎土曜日	100	133	1,545 ↓	世田谷美術館創作室ほか
		「連画のアイデアブックづくり」(横尾忠則 連画の河)(9回)	4月26日～6月22日 の毎土曜日	100	666		
		「サハラの空」(野町和嘉——人間の大地)(14回)	7月5日～8月31日 の毎土曜日と8月中 の毎金曜日	100	625		
		「生命の樹～アルボル デラ ビダ～」(自然と魂 利根山光人の旅)(9回)	9月13日～11月9日 の毎土曜日	100	698		
		「スタンプぽんぽん♡テキスタイルでカードをつくろう」(つぐ minä perhonen)(10回)	11月22日～2026年 2月1日の毎土曜日	100	1,359		
		「おいわいの小さな花束」(開館40周年記念 世田美のあしあと——暮らしと美術のあいだで)(5回)	2月21日～3月21日 の毎土曜日	100	294		

※ ↑ ↓ は前後のページを含む人数を示す

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
ワーク ショップ・ 講座・イ ベント	講座・ワークショップ	こども映画ワークショップ[2025]	8月1日、5日、6日、 7日、31日	4,000	17	↑ 1,545	世田谷美術館
		ナイトツアー2025	8月23日	500	54		世田谷美術館
		宮本三郎記念美術館 サマー・ワークショップ2025	8月9日～8月11日	300	46		宮本三郎記念美術館
		川場村交流ワークショップ「まるごとこんやく！」	9月28日～29日	24,000	18		群馬県川場村
	美術大学	講義・実技を組み合わせた半年間の本科を、定員60名で開催。その他、ホームページからの動画配信などを通じての通信講座を引き続き開催した。また修了者を対象としたステップアップ講座も開催した。	通年	本科75,000 ／ステップアッ プ講座2,000 ～10,000	本科60/ ステップアッ プ329	460	世田谷美術館 オンライン
	プロムナード・コンサート	美術館を音楽による交流の場とするとともに、若手音楽家の育成を図ることを目的に、実力ある若手を中心とする音楽家によるリサイタル形式のコンサートを行った。 ①第274回 栗田桃子 ピアノコンサート ②第275回 To Perform! ～ピアニスト川崎慎耶が贈る実験音楽の世界～	①2026年1月25日 ②2026年2月7日	無料	①140 ②140	280	世田谷美術館
	パフォーマンス等イベント	当館の建築空間や、教育普及の取組みを活かしたイベントやアーティストの創造支援等を実施した。 ①「Performance Residence in Museum 2025-26 村田青葉」 ②「Performance Residence in Museum 2025-26 トークセッション／美術館ツアー 創作・生活・レジデンス」 ③偶戯を巡る2026／オシラサマを巡る旅	①9月～11月 ②2026年2月8日 ③7月～2026年3月	①無料 ②無料 ③一般3,000 ほか (観覧料は無料)	①94 ②47 ③377	190	世田谷美術館 オンライン
子どもと学 校プログラ ム	美術鑑賞教室	世田谷区教育委員会との連携により、世田谷区立の小学校4年生の児童、中学校の生徒を対象に、展覧会及び美術館内の施設見学を実施した。またそのための区立小学校への出張授業を実施(19校)した。また、ガイドブックの作成を行い全小学校4年生と全中学生に配付した。(計90校)				17,300 (全90校)	世田谷美術館 区内小中学校
		【小学生】美術鑑賞教室・来館者数 6,495人 年間61校(63日) 無料鑑賞券利用者131人	5月～2026年3月	—	(ガイド配付 数)6,495		
		【中学校】個別鑑賞教室・来館者数 615人	5月～2026年3月	—	(ガイド配付 数)12,331		
人材育成 プログラム	学校との連携	(1)博物館実習 学芸員後継者育成と美術館諸活動の普及のために、「博物館学芸員資格課程」における「博物館実習」の講義、実技、実習を行った。(11日間)	7月～11月	10,000	25	20	世田谷美術館 オンライン
		(2)インターンシップ 東京学芸大学と連携してインターン生を育成し、美術鑑賞教室で来館する区立小学校4年生への事前(若しくは事後の)出張授業を実施した。(区内小学校22校)	通年	—	インターン生 6 実施校児童 2,008	10	世田谷美術館 区立小学校
		(3)ジュニア向けの作品マップを配布した。	通年	無料	17,000	9,990	—

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
アクセシビリティ向上事業	アクセシビリティ向上事業	展覧会に関連した講演会において、より良い理解を目的として、手話通訳を手配し、配置した。	通年	—	13	8	世田谷美術館
	ミュージアム・セッション	教育施設等と連携し、研究会等を実施した。また、ハンディキャップのある方の来館を支援する企画や取組みを行った。	通年	無料	201	300	世田谷美術館
区民の表現の場の提供	世田谷区民展	世田谷区在住、在勤、在学者、または当館ボランティア、友の会会員や世田谷区を拠点にして制作をされている方、さらに群馬県・川場村在住・在勤・在学者を対象に、作品の募集を行い、区民ギャラリーにて展示した。	2026年3月13日 ～22日	無料	320	250	世田谷美術館
	区民ギャラリー等の貸出 [指定管理]	世田谷美術館及び清川泰次記念ギャラリーにおいて、創作活動発表の場として区民ギャラリー及び講堂の貸出を行った。	通年	1日あたり1/4室 3,450ほか 10月1日から 3,910ほか (利用は6日単位)	71,309	75,000	世田谷美術館
	美術館(本館)区民ギャラリー	創作活動発表の場として、世田谷美術館の区民ギャラリーA・B貸出を行った。(利用団体数118)					
	清川泰次記念ギャラリー区民ギャラリー	創作活動発表の場として、清川泰次記念ギャラリーの区民ギャラリー貸出を行った。(利用団体数46)	通年	1日2,880ほか 10月1日から 1日あたり 3,260ほか (利用は6日単位)	4,323	4,000	清川泰次記念 ギャラリー
美術館(本館)講堂	文化・芸術に関する活動・発表の場として、美術館活動に支障のない範囲で世田谷美術館の講堂貸出を行った。(利用団体数16)	通年	1日10,800ほか 10月1日から 1日12,240ほか	511	1,300	世田谷美術館	
地域活性のための文化芸術事業	ボランティア活動	世田谷区立小学校鑑賞教室及び出張授業、中学校美術鑑賞教室、川場小学校出張授業、ミュージアム・ツアー、ワークショップ、イベント等の支援を行った。	通年	無料	490	455	世田谷美術館 ほか
	さくら祭	砧公園のお花見客への当館のPRを目的として、エントランス広場でのミニワークショップ、フリーマーケット、「春の盆踊り！みんなで輪になって葉っぱのダンス《光合成》を踊ろう」など行った。	2026年 3月28日、29日	—	4,500	6,000	世田谷美術館
	石川県小松市との共催事業	第8回宮本三郎記念デッサン大賞展 明日の表現を拓く(東京巡回展) ※世田谷美術館区民ギャラリーで開催	11月15日～23日	無料	1,223	2,000	世田谷美術館
美術館広報	美術館広報	当館ウェブサイトや各種公式SNS、印刷物のほか、マスコミ等の媒体への情報提供を通じて、館の活動や事業予定・内容等について広く区民等へ発信した。	通年	—	—	—	—
	ニュースレター(美術館だより、友の会だより)等の発行	世田谷美術館の友の会事業、また世田谷美術館事業の近況や、事業予定をお知らせした。 ①「ニュースレター 美術館だより、友の会だより」年3回、6月・10月・2026年2月発行、各1,500部の発行 ※友の会分をあわせると各3,000部 ②「年間予定表」2026年3月、30,000部の発行	①6月、10月、 2026年2月 ②2026年3月	—	39,000部	54,500部	—

(6)世田谷文学館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
企画展事業	開館30周年記念 士郎正宗の世界展 ～『攻殻機動隊』と創造の軌跡～	1985年に商業デビューした士郎正宗は、1989年に代表作『攻殻機動隊』の連載を開始し、現在に至るまで熱狂的な人気を博している。本展では、現在までの活動をたどる士郎正宗年譜から始まり、漫画の描き方、『アップルシード』『攻殻機動隊』などの代表作品やイラストワークを紹介し、〈アナログ原稿〉を含む約440点を展示する、初の大規模展覧会となった。初公開となる原稿を通して、士郎の特徴である「膨大な情報量の描きこみ」を体感し、作家のコメントでたどる展示は「士郎正宗」のパーソナルな部分にも触れる機会となった。 世田谷文学館がこれまで取り組んできた〈漫画〉〈SF〉展示の集大成となった本展は、海外での人気も高い士郎ファンが国内外問わず多く訪れ、好評を博した。	4月12日～ 8月17日	1,500～450	57,155	26,000	世田谷文学館
	開館30周年記念事業 「セタブン30祭」	「セタブン30祭」と名付けた期間中、世田谷文学館の30年間の歩みを振り返る展示のほか、シンポジウムやコンサート、トークショー、連続文学講座、街歩きイベント、ヒーロー握手会、ワークショップなど、多世代を対象に多角的なテーマで事業を集中的に展開した。また、開館30周年記念誌を制作した。 なお、本事業は例年実施している「シーズン展示」事業を振り替えて行った。				3,370	世田谷文学館
		【上映会】 やなせたかしシネマ『やさしいライオン』『ハルのふえ』(各2回上映)	8月30日	無料	75		
		【記念シンポジウム】 文学、この素晴らしいもの——21世紀の文学と文学館の役割 ファシリテーター:紅野謙介 パネリスト:荻野アンナ、鴻巣友季子、保坂展人、亀山郁夫	9月6日	無料	95		
		【トーク&ライブ】 岩井俊二 絵と詩と歌／小説と音楽 出演:岩井俊二ほか	10月5日	2,000	125		
		【連続講座】 世界文学への誘い ～愛について～ ①第1回 講師:沼野充義 ②第2回 講師:藤井省三 ③第3回 講師:野谷文昭 ④第4回 講師:くぼたのぞみ ⑤第5回 講師:亀山郁夫	①9月21日 ②10月19日 ③10月25日 ④11月1日 ⑤11月2日	各500	244		
		【展覧会】 セタブン30祭 1995－2025	10月7日～ 11月16日	無料	512		
		【講演会】 詩と小説と世界——昭和期の名作 出演:荒川洋治	10月18日	500	82		
		【朗読会】 世田谷線貸切朗読会「つむじ風食堂の夜」 出演:吉田篤弘	11月8日	1,500	56		世田谷線貸切車両、セミナールーム
		【トークイベント】 東京都書店商業組合共催「室井滋さんと本の話」 出演:室井滋、平尾隆弘	2026年2月7日	無料	268		世田谷文学館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
企画展事業	ドナルド・キーン展 Seeds in the Heart	アメリカ・ニューヨーク生まれのドナルド・キーン(1922～2019)は、10代の頃に日本文学と出会い、第二次世界大戦を経て、戦後日本文学研究者としての道を歩み出した。日本文学の「黄金時代」に、三島由紀夫・安部公房・大江健三郎ほか、名だたる文学者たちと交流を深めたキーンは、晩年の2011年、東日本大震災後に日本への帰化を表明した。 本展では日本人以上に日本・日本文学を知っていたドナルド・キーンの軌跡を辿り、その日常生活を追いながら、日本文学の魅力を伝えた。	11月15日～ 2026年3月8日	1,000～300	8,996	10,000	世田谷文学館
調査・研究	調査・研究 [指定管理]	文学館活動の基盤となる収蔵コレクション及び世田谷ゆかりの作家とゆかりの作品の調査・研究を行い、コレクション展や公刊物としてその成果を公表した。今年度は昨年度に引き続き「世田谷文学館収蔵資料(調査と探究)03横溝正史/海野十三」を刊行するとともに、ホームページからのPDFダウンロードも可能とした。	通年	—	—	—	世田谷文学館
収蔵品展	コレクション展 [指定管理]	文学館が収蔵する貴重な文学資料を核に、世田谷を舞台にした文学作品の関連資料とゆかりの文学者の資料を展示し、区民に広く親しむ機会を提供した。	4月26日～ 9月28日	200～100	20,698	15,000	世田谷文学館
		【前期】 海野十三と日本SF 同時開催「ムットーニ コレクション」 【後期】 世田谷線・100年間のものがたり 同時開催「ムットーニ コレクション」	10月18日～ 2026年3月31日	220～110	8,034		
資料収集・管理	資料収集・管理 [指定管理]	世田谷ゆかりの作家や区民等からの寄贈・寄託により、文学資料等の収集を行い、世田谷区が所有している作品を系統的に整理するとともに、良好な状態で保存・展示するため保管管理し、計画的に調査を進めた。保管環境の維持・向上のため、展示室・収蔵庫及び周辺部の環境確認のための環境調査のモニタリングを年間を通じて実施した。 また、収蔵資料を広く活用するため、貸付要領に基づき、コレクションの貸付を行った。逼迫した課題である収蔵庫 狭小化対応のため、引き続き収蔵資料の保管場所の見直しと保管場所確保のための2階3階両収蔵庫の整理作業を行った。 2026年3月31日現在107,413点の収蔵品を保管・登録(2025年度新規収蔵品:176点) 資料貸付:3件16点 特別観覧:9件39点 特別閲覧:10件122点	通年	—	—	—	世田谷文学館

※ ↑ ↓ は前後のページを含む人数を示す

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
OAシステム	OAシステムの運用 [指定管理]	収蔵品管理システムの円滑な運用を図り、所蔵資料の適切な情報管理を行った。また、新規に収集した資料や調査結果などのデータ入力(Adobeを使った画像修正含む)を合わせて行った。区民等が直接来館しなくても所蔵資料を閲覧・活用できるよう、所蔵資料のデジタルデータ化及びインターネット公開業務を計画的に行った。収蔵品を厳密に管理するために、一部資料につきICタグ管理システムを導入した。	通年	—	—	—	世田谷文学館
地域連携事業	どこでも文学館	「いつでも、どこでも、だれでも参加できる博物館」というコンセプトのもと、地域と連携してワークショップのプログラムの開発を進め、子ども対象だけではなく世代間交流イベントなどにより広い層の利用者獲得を目指した。学校や地域と連携しての写真展や文学作品のパナー出張展示・出張ワークショップも引き続き実施し、出張展示キットの全国への貸し出しも行った。(区内33、川場村2、全国14、全49会場)					
		「だれでも小説家 ～ショートショートを書こう～」 参加者は講師の指導のもと、特製ワークシートの手順に沿って、オリジナルのショートショート作品を完成させた。最後に完成した作品を発表し、講師から講評を受けた。 講師：荒居蘭(作家)	8月7日～8日	500 (教材費)	28		世田谷文学館
		高校生向けワークショップ 生業さがし ―出版社見学― 本にまつわる様々な職業について学ぶ高校生向けワークショップ「生業さがし」。今回は世田谷文学館を飛び出して、出版社の新潮社を見学した。現地では、壁面彫刻「人類の文字」や校閲部、資料室を見学したあと、新潮社の歴史や活動について講義を受けた。普段は見ることのできない社内の様子を体験することができた。 講師：馬宮守人(新潮社総務部)	8月27日	無料	8	100,000 ↓	新潮社
		ダンスワークショップ「ことばとからだ からだで冒険！」 ことばを手がかりにしてダンス作りに挑戦するワークショップの今年度のテーマは「冒険」。一人一人の伸び伸びとした動きと、フロアいっぱいに使ったチームダンスならではのダイナミックな表現が組み合わさって、「冒険」をダンスで表現した。 講師：日本女子体育大学ダンス・プロデュース研究部(顧問：高野美和子)	12月14日	100 (保険料)	13		世田谷文学館

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
地域連携 事業	どこでも文学館	朗読ワークショップ もっと朗読を楽しもう ～プロの読み方を聞いてやってみよう～ 4年生の国語の教科書に採用されている『白いぼうし』を題材に、朗読ワークショップを開催した。児童たちは、朗読によって物語がより豊かに伝わることを実感していた様子で、最後には、俳優や声優の仕事について児童から質問が寄せられ、交流を深めることができた。 講師：堀越富三郎(俳優・声優)、きみづか縁(俳優・声優)	2026年1月23日	無料	176	↑ 100,000 ↓	芦花小学校
		演劇ワークショップ こえとことばの実験室 参加者は、「シアターゲームのおにごっこ」「からだのリズム探求」「ミラーワーク」「声のマッサージ」など演劇のメソッドを活用したいくつものワークを体験した後、「ことば」から気になる1点をまず選び、それぞれが選んだ言葉を声に出して表現した。 講師：福本鴻介(俳優)、太田緑ロランス(俳優)	2026年1月24日	無料	9		世田谷文学館
		だれでも探検家 世田谷線100周年にちなみ、世田谷線・宮の坂駅周辺を探索した。講師がつくったワークシートをもとに、豪徳寺の調査をすすめ、招き猫に関する謎をはじめとして、様々な発見をすることができた。また、世田谷八幡宮の土俵など、地域の歴史への考察を深め、探検隊の一員となって活動した。 講師：高橋大輔(探検家)	2026年3月21日	200 (教材費・保険料)	8		東急世田谷線 宮の坂駅周辺
		出張展示「やなせたかしの新アラビアンナイト」	5月1日～ 2026年3月31日	無料	13,553		川場村 ふじやま ビレジ
		出張展示「北杜夫 どくとるマンボウ昆虫展」	5月1日～ 2026年3月31日	無料	10,348		川場村 なかのビ レジ B棟
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本 ～きみだったらどうする？」	6月4日～7月24日	無料	310		駒留中学校
		出張展示「やなせたかしの新アラビアンナイト」	6月6日～6月30日	無料	495		弦巻中学校
		出張展示「目と耳で出あう寺山修司 詩と演劇」	6月20日～ 7月23日	無料	47,949		中央図書館
		出張展示「やなせたかしの新アラビアンナイト」	7月23日～8月31日	無料	63,237		中央図書館
		出張展示「水丸さんのがたんごとん」	8月5日～8月26日	無料	1,000		コミュニティカ フェななつのこ
		出張展示「目と耳で出あう寺山修司 詩と演劇」	8月6日～9月4日	無料	870		せたがやイーグ レットホール
		出張展示「若草物語 -Little Women-」	8月28日～ 10月17日	無料	46,285		名取市図書館
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本 ～きみだったらどうする？」	9月1日～9月26日	無料	343		池之上小学校

※ ↑ ↓ は前後のページを含む人数を示す

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
地域連携 事業	どこでも文学館	出張展示「やなせたかしの新アラビアンナイト」	9月4日～10月7日	無料	1,190	↑ 100,000 ↓	せたがやイーグレットホール
		出張展示「井上ひさし ふかいことをゆかいに」	10月1日～10月30日	無料	530		上祖師谷中学校
		出張展示「宮西達也と子どもたち」	10月2日～10月31日	無料	3,600		上馬まちづくりセンター
		出張展示「水丸さんのがたんごトン」	10月2日～10月31日	無料	368		山崎小学校
		出張展示「シートン動物記」	10月2日～11月5日	無料	338		八幡小学校
		出張展示「SF入門 星新一 Vol.2」	10月2日～11月5日	無料	338		八幡小学校
		出張展示「詩人 萩原朔太郎」	10月9日～11月18日	無料	11,998		潮来市立図書館
		出張展示「台湾はどんな国？(文学・スポーツ編)」	10月18日	無料	40		和光市民文化センター サンアゼリア
		出張展示「やなせたかしの新アラビアンナイト」	10月18日～10月19日	無料	300		代田区民センター・代田図書館
		出張展示「大竹英洋 ノースウッズ 生命を与える大地」	10月18日～11月16日	無料	500		太宰府市 絵本の店 あっぷつぶ
		出張展示「台湾はどんな国？(文学・スポーツ編)」	10月25日	無料	10		蕨市民会館
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本 ～きみだったらどうする？」	10月25日～10月26日	無料	2,000		田園調布雙葉中学校・高等学校
		出張展示「台湾はどんな国？(文学・スポーツ編)」	11月1日	無料	30		吉川市民交流センター おあしす
		出張展示「セタブン人生相談 あなたのための人生処方箋」	11月1日～11月12日	無料	1,200		田園調布せせらぎ館
		出張展示「若草物語 -Little Women-」	11月3日～11月28日	無料	1,044		芦花小学校
		出張展示「台湾はどんな国？(文学・スポーツ編)」	11月4日～11月9日	無料	200		秩父市地場産業センター
		出張展示「SF入門 星新一 Vol.1」	11月4日～11月28日	無料	530		上祖師谷中学校
		出張展示「やなせたかしの新アラビアンナイト」	11月5日～11月26日	無料	509		世田谷小学校
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本 ～きみだったらどうする？」	11月5日～11月26日	無料	377		三宿中学校

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
地域連携 事業	どこでも文学館	出張展示「水丸さんのがたんごとん」	11月10日	無料	176	↑ 100,000	経堂コルティ
		出張展示「宮西達也と子どもたち」	11月12日～ 11月21日	無料	948		桜丘小学校
		出張展示「目と耳で出あう寺山修司 詩と演劇」	11月14日～ 12月10日	無料	2,000		下馬図書館
		出張展示「台湾はどんな国？(文学・スポーツ編)」	11月15日	無料	30		東松山市立総合 会館
		出張展示「水丸さんのがたんごとん」	11月20日	無料	202		山梨県立文学館
		出張展示「大竹英洋 ノースウッズ 生命を与える大地」	11月29日～ 2026年1月25日	無料	2,500		東近江市 八日 市図書館
		出張展示「大竹英洋 北の森 ノースウッズの世界」	11月29日～ 2026年1月25日	無料	2,500		東松山市立総合 会館
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本 ～きみだったらどうする？」	12月4日～ 2026年1月14日	無料	530		上祖師谷中学校
		出張展示「山へ！ to the mountains」	12月10日～ 2026年2月10日	無料	77,424		中央図書館
		出張展示「宮西達也と子どもたち」	2026年1月9日～ 1月29日	無料	1,044		芦花小学校
		出張展示「SF入門 星新一 Vol.2」	2026年1月9日～ 1月30日	無料	309		駒沢中学校
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本 ～きみだったらどうする？」	2026年1月15日～ 2月20日	無料	551		代沢小学校
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本 ～きみだったらどうする？」	2026年1月22日～ 2月17日	無料	7,484		潮来市立図書館
		出張展示「大竹英洋 ノースウッズ 生命を与える大地」	2026年2月15日～ 3月31日	無料	56,684		中央図書館
		出張展示「宮西達也と子どもたち」	2026年2月20日～ 3月11日	無料	1,200		田園調布せせら ぎ館
		出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本 ～きみだったらどうする？」	2026年2月27日～ 3月13日	無料	643		千歳中学校
		出張展示「セタブン人生相談 あなたのための人生処方箋」	2026年3月2日～ 3月25日	無料	309		駒沢中学校
		出張展示「水丸さんのがたんごとん」	2026年3月13日～ 3月14日	無料	38		URアクティ三軒茶 屋5棟集会所
	幼保連携事業 [区受託]	世田谷区教育委員会「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」の基本方針の一つである「文化・芸術とふれあうための各園等における環境づくり支援」の一環として、乳幼児を対象とした文化・芸術体験のアウトリーチ事業と連携するため、世田谷文学館が制作した出張展示用バナーセットの展示を、当委員会から委託を受け実施した。					

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
地域連携事業	幼保連携事業 [区受託]	出張展示「ヨシタケシンスケさんの絵本」	10月23日～ 12月3日	無料	68	200	桜丘幼稚園
		出張展示「水丸さんのがたんごとん」	11月26日～ 12月26日	無料	950		教育総合センター
	新規出張展示バナー制作	出張展示バナー「宮西達也と子どもたち」スモールサイズ	—	—	—	—	—
		出張展示バナー「SF入門 星新一」スモールサイズ	—	—	—	—	—
講演会等事業	企画展・コレクション展・ライブラリー関連講演会、上映会、コンサート等事業	【土郎正宗展 関連イベント】 シロマサ語り20連発—土郎正宗のココスキ！	6月29日	3,000	59	1000	世田谷文学館 ほか
		【ドナルド・キーン展 関連イベント】 記念講演 出演：御厨貴	11月16日	500	59		
		<英語> 狂言・歌舞伎会 出演：ローレンス・コミンズほか	11月23日	1,000	91		
		トークとオペラ 出演：池辺晋一郎	12月16日	2,500～ 1,000	87		
		座談会と能楽 出演：織田紘二、児玉竜一、キーン誠己	2026年1月18日	2,500～ 1,000	86		
		ギャラリートーク 出演：室瀬和美、木下幹久、キーン誠己	2026年1月25日	無料	54		
		源氏物語記念対談 出演：毬矢まりえ、森山恵	2026年2月14日	500	135		
		浄瑠璃公演 出演：越後角太夫(キーン誠己)	2026年2月23日	1,000	150		
		日本文学史講演会 出演：角地幸男	2026年3月1日	500	157		
		【コレクション展 関連イベント】 ムットーニ コレクション ロ上つき上演会(前期コレクション展) 各日3回	6月28日、29日	無料	138		
		ムットーニ コレクション ロ上つき上演会(後期コレクション展) 各日3回	2026年2月8日	無料	56		
		講演会「文学の世界に走る世田谷線の百年史」	2026年2月21日	無料	60		
		【文学サロン 関連イベント】 文学散歩「キーンさんが愛した町」1	2026年2月28日	1,000	7		
		文学散歩「キーンさんが愛した町」2	2026年3月6日	1,000	7		

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
講演会等 事業	セタブンマーケット	広く区民が参加できる大型事業「セタブンマーケット」を開催した。開館30周年を記念し、文学館ゆかりの作家・アーティストの出店やイベントなどを実施。「日本・再発見」をテーマにした書店セレクトを行い、手仕事を元にした出店者や区内商店街と連携しマーケット空間を作ったほか、古浄瑠璃演奏や水引細工・茶道ワークショップ、ウルトラマンオメガ撮影会、作家の音楽ライブを実施した。	11月29日、30日	無料	3,175	2,000	世田谷文学館
	地域のまつり等との連携	地域催事(第13回烏山地域蘆花まつり、ライブペイントフェスタ2026in千歳烏山)と連携した。	10月26日、 2026年3月28日～ 29日	無料	—	500	蘆花恒春園、烏山区民センター前広場
活動支援・ 共催事業	市民活動支援など	文学活動を中心とする区内外の団体の講座や活動を支援し、区民の生涯学習の要望に応えた。	通年	—	249	500	世田谷文学館 ほか
人材育成 プログラム	学芸員実習	学芸員後継者育成のために、博物館学実習の講義・実習を行った。(6日間)	7月23日～25日、 30日、31日、8月1日	無料	4	5人以内	世田谷文学館
	職場体験などの受入	博物館の仕事全般を学び、事業の企画や実施にも直接携わることができるプログラムなど、中学校などの要望に応じて、職場体験、職場見学の受け入れを行った。	通年	無料	99	30	世田谷文学館
ライブラ リーの運 営	ライブラリー「ほんとわ」の運営 [指定管理]	「地域のための図書空間」の運営に伴い、来館者が「多様な書物と出会い、その魅力に触れることができる」空間作りを行った。授乳室とキッズスペースを備えた子どものための本のエリアや、展覧会やイベントと関連した特集コーナーなどを設け、定期的な入れ替えを行い、資料閲覧スペース(3階)においては閉架図書の閲覧サービスを行った。	通年	—	25,989	15,000	世田谷文学館
区民表現 の場の提 供	新世田谷文学賞	長らく区民より文芸作品を募集し創作活動を支えてきた「世田谷文学賞」を刷新し、「新世田谷文学賞」として再開。今年度は小説、エッセイの散文(長文)部門を実施し、前回、前々回の散文(随筆)部門を大きく上回る応募となった。質も高く、上位作からの入賞作決定でも伯仲した。また、入賞作と選評発表をホームページで公開するという新しい手法を導入した。	10月1日～10日	—	104	50	世田谷文学館
文学館広 報	文学館広報	駅貼広告のほか、ホームページやSNSなどのソーシャルメディアを駆使した広報活動を実施した。特に開館30周年を記念した事業として企画展示のみならず、コレクション展や普及事業などの情報を配信する機会が増大した。区の広報広聴課との連携では、デジタルサイネージやSNS配信が増え、30周年を迎えた館の活動内容について広く区民へ発信することが出来た。	通年	—	—	—	—
	ホームページコンテンツ制作 「ほんとわラジオ」放送 文学館ニュースの発行 「セタブンパス」事業	「文学館ニュース」の制作を行った。文学館の事業活動を広く周知するため、ホームページコンテンツの制作、文学館事業の特別番組として「ほんとわラジオ」を4回放送(特番仕様)を実施した。 利用者サービスの充実を目的とした「セタブンパス」事業を継続実施した。	通年	—	「ほんとわラジオ」 放送4回 「文学館ニュース」 10,000部 セタブンパス 会員 第3期199人	放送4回 10,000部	—

(7)財団共通

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
来館者サ ポート	来館者サポート	様々な状況にあるお客様の参加機会を増やすために、公演、イベント、施設利用などにおいて来館者サポートを行った。					
		【生活工房】					
		①車椅子の貸出	通年	—	—	—	セミナールーム ほか
		②手話通訳の配置(随時)	通年	—	—	—	セミナールーム ほか
		③視覚・聴覚障害者等と共に映像を鑑賞するワークショップの実施・記録音声の公開	通年	—	5	—	オンライン
		④多言語情報発信	通年	—	—	—	生活工房ウェブ サイト
		⑤聴覚障害者のための筆談具設置	通年	—	—	—	生活工房受付
		⑥授乳室の利用など	通年	—	—	—	授乳室
		【世田谷パブリックシアター】					
		①託児サービス 託児付き公演(447公演)	通年	2,200 6月19日から 2,600	70	—	パブリックシア ター/シアター ラム
		②車椅子サービス(貸出、スペースの確保、車椅子昇降機など)	通年	定価の10%引 付添1名無料	車椅子85 介添70	—	
		③視覚障害者のための音声案内システム付き化粧室の設置	通年	—	—	—	
		④視覚障害者のための舞台説明会(特定の主催公演)	7月13日、12月2日、 6日、2月15日、 3月22日	—	54 視覚障害者 うち21	—	パブリックシア ター
		⑤視覚障害者のための音声ガイド(特定の主催公演)	12月2日、6日、 2月15日	—	41	—	パブリックシア ター
		⑥補助犬を伴っての観劇(スペースの確保など)	通年	—	—	—	パブリックシア ター
		⑦聞こえにくい方向けのヒアリングサポートシステム(特定の主催公演)	通年	—	31	—	パブリックシア ター/シアター ラム
		⑧聴覚障害者のための字幕(特定の主催公演)	11月25日、29日、 2月14日、17日	—	12	—	
		⑨聴覚障害者のための上演台本貸出	通年	—	7	—	
		⑩聴覚障害者のための手話通訳者派遣(特定の主催公演)	11月25日、29日、 2月14日、17日	—	—	—	
		⑪聴覚障害者のための筆談具設置	通年	—	—	—	
		⑫多言語情報発信	通年	—	—	—	劇場ホームペー ジ
		⑬非常時の避難方法及び広域避難場所への地図の配布など	通年	—	—	—	パブリックシア ター/シアター ラム

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
来館者サ ポート	来館者サポート	【世田谷美術館】					世田谷美術館
		①講演会での手話通訳	通年	—	32	10	
		②車椅子の貸出	通年	—	—	—	
		③ベビーカーの貸出	通年	—	—	—	
		④授乳室の利用など	通年	—	—	—	
		⑤網膜投影視覚支援機器の貸出	通年	—	—	—	
	来館者サ ポート	【世田谷文学館】					世田谷文学館
		①車椅子の貸出	通年	—	—	—	
		②ベビーカーの貸出	通年	—	—	—	
		③授乳室の利用	通年	—	—	—	
	せたがやアーツカード	世田谷区在住の15歳以上を入会資格とする無料の会員制度。財団主催の公演チケットの割引・先行発売や展覧会観覧料割引などの特典により、事業参加者や施設利用者の拡大を図った。メールマガジン配信を希望する会員には、各事業部の最新情報を提供した。	通年	無料	会員数 22,470 メルマガ 配信者数 14,455 特典利用者 5,715	会員数 21,500 配信者数 15,000	—
財団広報	財団広報	財団ホームページの運用 財団運営に関する情報及び各事業部の事業内容等を掲載した。	通年	—	—	—	—
		第46回せたがやふるさと区民まつりでPR活動を行った。	8月2日、3日	—	—	—	JRA馬事公苑ほか
	せたがや文化・スポーツ情報 ガイドの発行	財団各部の事業を広く区民等に周知するため、タブロイド判の情報紙を発行した。区報25日号と合冊し、新聞(主要6紙)に折込んでの戸別配布、図書館等の区施設、区内鉄道駅広報スタンド等に配架した。(12回)	毎月25日発行	無料	毎月 170,400部	毎月 171,000部	—
文化芸術 の拠点施 設の管理 運営	世田谷文化生活情報セン ターの施設維持管理 [指定管理]	世田谷文化生活情報センターの施設維持管理を行った。	通年	—	—	—	世田谷文化生活 情報センター
		生活工房セミナールーム、ワークショップルームの貸出を行った。	通年	32,110～ 2,880 10月1日から 36,410～ 3,260	29,890	—	世田谷文化生活 情報センター

事業名	個別事業名	実施内容	実施月日	利用料金 (円)	実績人数 (人)	当初計画数 (人)	実施場所
文化芸術 の拠点施 設の管理 運営	世田谷文化生活情報セン ターの施設維持管理 [指定管理]	劇団等による演劇・舞踊公演など、様々な催し物を実施した。 6団体(公演回数134回)	通年	13,800～ 1,000	52,176	—	世田谷文化生活 情報センター
	世田谷美術館及び分館の施 設維持管理 [指定管理]	世田谷美術館及び3分館(向井潤吉アトリエ館、清川泰次記念ギャラリー、宮 本三郎記念美術館)の施設維持管理、区民ギャラリー及び講堂の貸出を行っ た。 世田谷美術館区民ギャラリー 118団体	通年	1日あたり1/4室 3,450ほか 10月1日から 3,910ほか (利用は6日単位)	71,309	—	世田谷美術館
		清川泰次記念ギャラリー区民ギャラリー 46団体	通年	1日2,880ほか 10月1日から 1日あたり 3,260ほか (利用は6日単位)	4,323	—	清川泰次記念 ギャラリー
		世田谷美術館講堂 16団体	通年	1日10,800ほか 10月1日から 1日12,240ほか	511	—	世田谷美術館
	世田谷文学館の施設維持管 理 [指定管理]	世田谷文学館の施設維持管理を行った。	通年	—	—	—	世田谷文学館
		講義室の貸出を行った。102団体	通年	無料	1,280	—	
物品販売 事業	生活工房事業関連商品の販 売	事業に関連するグッズ、制作物等の販売を行った。	適宜	—	—	—	世田谷文化生活 情報センター
	パブリックシアター関連商品 の販売	世田谷パブリックシアターとシアタートラムで上演された公演のパンフレットや 映像化したDVD等の関連商品の販売を行った。	通年	—	—	—	世田谷文化生活 情報センター
	美術館ミュージアムショップ の運営	美術館・分館のミュージアムショップを運営し、収蔵作品をモチーフとしたオ リジナルグッズ・絵葉書等の開発・制作及び販売、また企画展開催時における 関連グッズ・絵葉書・書籍等の販売を行った。	通年	—	—	—	世田谷美術館及 び3分館
	文学館ミュージアムショップ の運営	ミュージアムショップを運営し、オリジナルグッズの開発・制作及び販売、展覧 会に関連した書籍や絵葉書等のグッズの販売を行った。	通年	—	—	—	世田谷文学館
飲食物提 供事業	パブリックシアターのロビー カフェの運営	世田谷パブリックシアターのロビーのカフェを委託により運営した。(営業回数 225回)	—	—	9,000	10,000	世田谷文化生活 情報センター
	美術館のレストランの運営	世田谷美術館内のレストラン「ル・ジャルダン」は、利用者等への飲食提供サー ビスおよび結婚式等パーティー(81組)を実施した。	通年	—	16,361	20,000	世田谷美術館
	美術館のカフェの運営	世田谷美術館内の地下喫茶「セタビカフェ」にて、来館者への飲食提供サービ スを行った。	通年	—	40,800	30,000	世田谷美術館

3. 事業評価

(1)生活工房

暮らしとデザインの交流拠点として、生活文化やデザインを題材とした、多彩な事業を展開した。来場者数は令和6年度(2024年度)を大きく上回り27万人を超えた。

「ヘアカラー展 なぜ染める、なぜ染まる。」は、身近なものの歴史をひもとき、科学的な解説と合わせて紹介するというアプローチが生活工房らしい企画となった。「戦後80年企画・春日明夫コレクション 子ども時代―戦前・戦中・戦後 子どもをめぐる昭和の暮らしと文化展」は、「子どものくらし」から戦争をみつめるという独自の視点を打ち出し、その時代を懐かしむ高齢者だけでなく、夏休みの親子連れや、昭和のデザインに「レトロカワイイ」を見出す若者や外国人も多く来場した。「三軒茶屋 大三角地帯展―ひらき、ひもとく記憶と記録―」は、地域の歴史を掘り起こす展覧会であったが、地元の人のみならず、かつて住んでいた人、遊びに来る人など、老若男女問わず多くの来場者で賑わった。TSUTAYA 三軒茶屋店の閉店など、街を考える機会も重なり、付箋やワークシート、写真も多数集まった。これらの一部は、編集して生活工房アニュアルレポートの付録とした。

様々な人が集い、対話し、共に学ぶ場としてセミナーやワークショップを実施し、多くの参加者があった。「日常を見限らない〈味覚〉のワークショップ」では、参加者が、日常生活の中で見落とされがちな出来事を研究者と共に五感を使って味わい直す機会となった。「老人性アメイジング! Vol.3―寿ぎと尊厳」では、講演だけでなく映画鑑賞を合わせた独自のプログラムで、多くの参加者から好評を得た。いずれの事業も、参加者同士が積極的に交流し、様々な価値観が共有される場となり、参加者の満足度も高かった。また、電子チケットの導入、近隣大学との連携による経費削減など、効率的な事業運営も行った。

市民活動支援事業として令和4年(2022年)から実施しているトークシリーズ「ちかくのとく」は、これまでに5エリア・4テーマを取り上げ、地域で活動する人たちが、このイベントに参加することで他地域の実情を知る機会となっている。令和7年度(2025年度)は「三茶学」と題して、地元・三軒茶屋を3回にわたって掘り下げた。

「世田谷クロニクル」を鑑賞する「せたがやアカカブの会」「エトセトラの時間」など、オンラインも活用したインクルーシブな事業も継続し、リピーター、新規の参加者ともに増えている。参加者の声をウェブでも閲覧できるよう、「世田谷クロニクル」ウェブサイトを更新した。

広報や情報発信も積極的に行い、SNS 広告からの流入もあってホームページのページビュー数は増加した。「アニュアルレポート」には、令和6年度(2024年度)に引き続き、世田谷文化生活情報センター周辺の「三軒茶屋・三角地帯」をリサーチした読み物を掲載し、地域の魅力発信にも貢献した。

過年度事業も含め公開している YouTube のチャンネル登録者数は令和6年度(2024年度)より1,000名近く増え(総登録者数 4,090 名)、令和7年度(2025年度)の視聴回数は約6万回となった。

(2)世田谷パブリックシアター

観客動員については、主劇場・シアタートラム両劇場の年間入場者総数は約 159,966 人となった。令和6年度(2024 年度)の 119,278 人と比較して4万人近く増加したが、その主な要因は、国内演劇創作事業4件をすべて主劇場で実施しただけでなく、『シッダールタ』ではこれまでにないロングラン公演を実施したことにある。これは主劇場が令和8年度(2026 年度)に1年間休館となるために集中的に主催公演事業を実施したという特殊な事情によるものである。

『みんな鳥になって』が第33回読売演劇大賞において、最優秀スタッフ賞(長田佳代子)を受賞したほか、主催公演事業は各種メディアに取り上げられ、好意的な劇評も多数掲載された。また、第33回読売演

劇大賞では、令和7年(2025年)2～3月に上演した『ポルノグラフィ PORNOGRAPHY／レイジ RAGE』(令和6年度(2024年度)事業)が最優秀男優賞(亀田佳明)及び優秀女優賞(sara)を受賞。日本を代表する公共劇場として、引き続き高い評価を得ている。

令和5年度(2023年度)に採択を受けた文化庁「文化施設による高付加価値化機能強化支援事業」においては、最大5年間をかけて次代を担う若手クリエイター、アーティスト、スタッフ等の育成事業を展開している。文化庁主催のシンポジウム等で成果を共有しており、世田谷パブリックシアターの取組みは高い評価を受けている。

普及啓発・人材育成事業では、「コミュニティプログラム」「学校とその他区内施設との連携プログラム」「研究育成プログラム」「舞台技術者人材育成プログラム」の4つの柱により、通年でワークショップ・レクチャー・研究会を実施しているが、令和7年度(2025年度)から独立した部署となった「学芸事業担当」において、求められる役割や機能を常に意識しつつ、アップデートを行っている。また、劇場開場以来継続している「地域の物語」は、令和7年度(2025年度)は「広場」をキーワードとして新しいアプローチを試みている。

海外招聘事業は、円安や輸送費の高騰などで大きな逆風が吹いているが、新規企業・団体からの協賛金の獲得等、最大限のファンドレイズを行うことで事業を継続した。そのほか、今年度が5年の採択期間の最終年度となる文化庁「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」を適切に実施し、令和8年度(2026年度)以降の再度採択に向けた要望書の作成・提出を行うなど、資金獲得のための努力を継続して実施した。

諸物価の高騰などの資金的な困難に加え、働き方改革への対応やハラスメント対策の要請など、劇場を取り巻く環境は厳しさを増しているが、令和4年度(2022年度)に就任した白井晃芸術監督のリーダーシップのもと、国内外の公共劇場や民間の実演団体などと積極的に連携して、作品創造及び人材交流の活性化、普及啓発・人材育成事業の充実、多様な料金設定、アクセシビリティ拡充による鑑賞機会の拡充及び多言語による情報発信、新たな観客の育成等、新しい時代に対応した劇場のあり方に向けて着実に歩を進めることができた一年となった。

(3)音楽事業部(せたおん)

リニューアル2年目を迎えた、せたがやイーグレットホールの経常的な事業の形を作っていた。

まず、本格的な内容を無料で楽しめる「まちなかコンサート」を開催。多くの区民に足を運んでもらった。ホールはもちろん、集会室では子どもたち向けのコンサート、ラウンジではお茶を楽しみながらのコンサートと多様な提案をした。通常小ぶりの会場で行う「室内楽シリーズ」から『上野耕平 サクソフォン・ワールド』を実施。人気・実力を兼ね備えた、若きトップ・サクソフォン奏者は、満席のホールを沸かせただけでなく、練習室で小学生を対象としたワークショップも行い、子どもたちの心もつかんだ。

世田谷区民会館音楽事業アドバイザー会議にも参画、アドバイザーの協力を得た事業も展開した。宮川彬良アドバイザーの「せたがや音楽研究所」はおなじみのシリーズだが、今回はとりわけユニーク。子どもの「鼻歌」に着目して、子どもたちの持つ可能性に焦点をあてるという、地域の施設ならではの事業になった。世田谷アーティスト支援企画「Discovery Setagaya Sounds」は、ジャズ界を牽引するエリック・ミヤシロのビッグバンドが出演。ここにポップスのフィールドで活躍する井上鑑アドバイザーが加わって、他では聴くことのできないサウンドを響かせた。また「区民参加プログラム」として、亀田誠治アドバイザーのプロデュースで、『Setagaya Voice Fes』を開催。ワークショップ参加者だけでなく、客席をも巻き込んで、会場全体が一体化した。また、アドバイザーの推薦する音楽家を起用して、ラウンジ・スペースを利用した無料のコンサートを行った。

せたおん事業の根幹「せたがやジュニアオーケストラ」も活躍、せたがやイーグレットホールのステージに

4回上った。KSO 高雄市青少年交響楽団との『交流コンサート』、姫路市ジュニアオーケストラとの『合同演奏会』と、夏休み2週間ばかりの間に、交流のある2つのジュニアオーケストラと演奏会を行った。さらに、メンバーが進行役も担った「オータムコンサート」を経て力をつけ、堂々たる曲目の「定期演奏会」で締めくくった。フルート協奏曲のソリストをセクションディレクターが務めるなど、東京フィルハーモニー交響楽団との連携も強まった。

もちろん、他の地域での事業にも力を入れた。烏山区民会館では、“水と音楽”の関係性を明らかにした池辺晋一郎音楽監督企画「異分野とのコラボレーション」を開催。北沢タウンホールでは、リラックスして楽しめると人気シリーズとなった「ミュージック・ラウンジ」を3企画、ニーズが高い玉川せせらぎホールではクリスマス時期に「まちなかコンサート」を開催した。また、成城ホールでは、細川俊夫のオペラの日本初演をした『一子どもと大人に贈る語りと音楽—遠くから来たきみの友だち』、聴く機会が希少な「宮園節」を紹介した「シリーズ和・華・調」と、注目を集めた公演を行った。

さらに、特筆すべき点として、世田谷区からの受託で、「世田谷アーティストバンク(音楽演奏部門)」を立ち上げた。世田谷アーティストの活動の場を広げ、地域に音楽を広めていくための登録制度で、今後は事務局機能を担っていく。

令和7年度(2025年度)は、世田谷区と密接に連携しながら、これからの世田谷の音楽文化を探った1年だったといえる。令和8年度(2026年度)、20周年を迎える、せたおん。区民の〈音と、ココロの、重なるところ。〉をめざして、心を込めて、音楽を届けていく。

(4)国際事業部

「せたがや国際交流センター(愛称・クロッシングせたがや)」の認知度を向上させることに意識を置き、年間を通じて活動した。せたがや国際交流センターの入口へのデジタルサイネージの設置、区民まつりの国際交流コーナーや、地域イベント(砧地域ご近所フォーラム等)にもブース出展を行い、施設のPR活動を積極的に務めた。また要請に基づき【多文化共生／やさしい日本語】を課題にしたカリキュラム(地域大学、区立中学校等)には、講師派遣や資料提供等の連携をして積極的に協力を行った。広報についても電子媒体による発信を強化して、外国人、区民に向けて情報をわかりやすく届けることを優先的に心掛けた。

また、多様化する外国人の相談の対応力向上として、ただ相談機関を紹介するだけでは留まらず、主訴を詳細に聞き取り、スタッフ自らが相談機関と連携して課題解決に繋げるよう、伴走的な支援を行うことを徹底してきた。また、区内で活動する国際協力団体や大学と連携を進めて、有益な情報の収集と同時に事業への参加も促し、協力体制の強化に努めた。

「多文化理解講座」では、外国人を対象に日本文化に親しめる事業として「いけばな体験」「テーブル茶道体験」を実施し、大変好評をいただいた。令和8年度(2026年度)も引き続き外国人が日本文化を体験する機会を充実させていく。また、在住外国人との交流事業にも注力し、外国人のニーズの把握に努め、幅広い世代の関心を集める題材を絞り込み事業化を検討する。

また、カナダ・マニトバ州都ウィニペグ市姉妹都市提携55周年記念「ウィニペグ市の魅力～多文化共生の街を旅する」では、カナダ大使館のご後援のもと、先住民をはじめ多くの民族が暮らす多文化共生の街ウィニペグの知られざる魅力について探求した。同企画は、1月にパネル報告展としても館内で紹介した。

さらに、世田谷区内の大使館とも連携を深めた。前年に続きアンゴラ共和国大使館とは「小学生の大使館訪問」を開催し、子どもたちの多文化共生、異文化への理解を深めた。ルワンダ共和国大使館にご協力をいただいた「珈琲で知るルワンダ共和国」では、珈琲を通してルワンダ共和国の生活様式や独自の文化に触れることができた。

「外国人のための日本語教室」と、「せたがや日本語サポーター講座」は、年度当初から問合せも多く、事

業への関心の高さがうかがえた。一方で、講座途中で離脱する受講者も多いことから、講座の回数や開催時期を検討すると同時に、受講者へのサポート体制にも注力した。

令和9年(2027年)9月、三軒茶屋駅周辺における公共機能の再配置に伴い、太子堂複合施設へ移転を予定している。延べ床面積拡張により、【地域日本語教育の総合的な体制づくり】である「外国人のための日本語教室(初級)」を本施設にて実施する。また、交流スペースの施設機能も設置し、事業の充実・拡充を図る。そして、情報発信、場(機会)の提供、区民や団体のネットワーク構築を進め、多文化共生の推進や国際理解を広めるイベントや講座などの実施、地域活動を希望する区民・団体が活躍できる場を提供していく。

(5)世田谷美術館

「横尾忠則 連画の河」は、昭和11年(1936年)生まれの現役作家の積極的な創作意欲を、体調に気遣いながらサポートし、作家の新たな創作の挑戦へと繋げることができた。年齢を越えて挑戦する作家の姿に多くの来場者が共感した。「野町和嘉——人間の大地」の世界各地の辺境といわれる極限で生きる人々の姿を捉えた写真群は、現代社会に暮らす鑑賞者に圧倒的な迫力で様々な問題を投げかけた。会期が夏休みに重なり、多くの中学生が来館し鑑賞した。「自然と魂 利根山光人の旅 異文化にみた畏敬と創造」は、長年をかけて作家のアトリエを調査した成果を展覧会という形で実現することができた。アトリエに遺された世界各国を旅して記録した写真やスケッチからは、作家の創作の源泉を見出すひとつのきっかけを提示することができた。「つぐ minä perhonen」では、ミナ ペルホネンのものづくりのありかたを視覚的に体感できる展示によって、鑑賞者の理解が深まり、ブランドの魅力を一層高め、多くの人で賑わうとともに、実際に製品を手にする来場者も多かった。

ミュージアム コレクション(収蔵品)も企画性の高い内容で、「世田谷でインド」はインドという切り口を掲げることで、意外な作品を取り合わせた展示が可能となり、収蔵作品の新たな魅力を紹介することができた。「もうひとつの物語——女性美術家たちの100年」は、社会的にも注目されているテーマで女性作家の作品を紹介し、メディアからも取り上げられた。「ミュージアム コレクション特別篇 開館40周年記念 世田美のあしあと」は、世田谷美術館のこれまでの活動を、収蔵品を通じて多くの人々に周知する格好の機会となり、新聞各社で地域美術館の在り方の意義の重要性に絡めて本展を取り上げる記事が掲載された。また、展覧会の最後に、美術館の開館年から始まる来場者の年表コーナーを設け、来場者に自身の美術館との思い出のエピソードを書いた付箋を貼ってもらう企画を行ったところ、壁一面が様々な世代の来場者の付箋で埋め尽くされた。また、初めて来館したというコメントも数多く貼られ、本展によって美術館に愛着を感じた来場者も多いことが示された。3月28日(土)、29日(日)は開館記念日に因み、無料観覧日とし、両日桜の開花時期ということもあり、同時開催のさくら祭の相乗効果と併せ、2,000人を超える来場者となり、初めて美術館訪れる人や家族などで賑わった。

普及事業の100円ワークショップでは、展覧会毎に変わる内容を楽しみにされている常連の参加者も増え、僅か2時間の開催時間に100人を超える参加者となることも頻繁にあった。美術鑑賞教室など、こうした普及事業には多くのボランティアの協力があり、友の会会員も会員数を増やした。また、4回目となる若手を対象としたレジデンスプログラムは、脚本家・演出家の村田青葉が参加し、彼を含むこれまでのレジデンス参加者によるトークセッションと美術館ツアーの企画も行い、レジデンスを周知する機会とした。また、レジデンスがきっかけの新たな展開としてパフォーマンス事業「偶戯を巡る 2026/オシラサマを巡る旅」を実施した。世田谷区民展では、リピーターも増え、前年よりも出品者及び来場者が増加し、区民の創作支援の場として機能している。

広報事業においては、各種 SNS で魅力的な情報発信を行い、特に「つぐ minä perhonen」でフォロー

一挙や登録者数が増大した。

令和7年度(2025年度)は、464点の美術作品が寄贈され、これまでの収蔵品を補完し、今後の展示などに活用できる重要で貴重な作品・資料を多く収集することができた。今後も美術館の社会的使命である保存、研究、公開に努め、誰もが文化・芸術を楽しめる地域美術館の役割を果たしていく事業を展開していく。

(6)世田谷文学館

令和7年度(2025年度)は世田谷文学館が開館30周年を迎え、関係者・皆様の多大なご協力により、シンポジウムをはじめ、多数の記念催事を開催することができた。

企画展は2本実施した。「土郎正宗の世界展～『攻殻機動隊』と創造の軌跡～」は、当館がこれまで取り組んできた、漫画・SF・80年代サブカルチャー展示の集大成であり、かつ、当館のこれからの活動を見据えての新たなチャレンジとなった。もうひとつの企画展は「ドナルド・キーン展 Seeds in the Heart」を開催した。日本人以上に日本を知り、その魅力を伝え続けたキーンの生涯を通して、日本文化・文学とは何かをあらためて問いかけることにより、「文学」の「種を蒔く」ことこそ、当館の使命であることを再確認した。

コレクション展は前期に「海野十三と日本SF」と題して、日本SFの父・海野十三を軸に、海野作品を愛読して育ち、その後の日本SF文学を築いた作家たちの活躍を紹介した。同時期の企画展「土郎正宗の世界展」との相乗効果もあり、大きな反響があった。後期は「世田谷線・100年間のものがたり」と題して、沿線に住んだ作家たちや、地域を舞台に描かれた作品を紹介し、地域文学の豊かさを存分にお伝えすることができた。

資料関連では、インターネット資料検索システムも一層充実させたことに加え、資料調査研究の成果として、「世田谷文学館収蔵資料〈調査と探究〉03横溝正史/海野十三」を刊行した。当館収蔵資料への注目が年々増しており、未発表資料の調査研究・公開をはじめ、収蔵する館としての責務を今後も果たしていきたい。

「どこでも文学館」は、例年通り充実した活動を行うことができた。出張展示は全国に広がり、「セタブン」はどこでも活動できることの証明となっている。ワークショップも常に新しいアイデアでプログラムを開発し、実績を重ねている。

そのほか、連続文学講座、セタブンマーケット、文学館ゆかりの作家やアーティストを招いたさまざまなイベントの実施と、区民からの要望が高い「新世田谷文学賞」の再開もあり、31年目に歩みだす確かな一歩を刻むことができた。

4. 重要な契約の概要

契約件名	契約年月日	相手方	契約の概要
世田谷区文化施設の管理運営に関する基本協定	令和4年(2022年)4月1日	世田谷区長	1 (公財)せたがや文化財団は、世田谷区立世田谷美術館、世田谷区立世田谷文学館、世田谷区立世田谷文化生活情報センターの指定管理者として、世田谷区立世田谷美術館条例第18条、世田谷区立世田谷文学館条例第18条及び世田谷区立世田谷文化生活情報センター条例第20条の規定により、次に掲げる業務を行う。 (1)世田谷区立世田谷美術館 ① 美術館条例第2条第2号から第8号までに規定する事業に関する業務のうち、世田谷区が指定した業務 ② 美術館の利用の承認等に関する業務 ③ 美術館の施設及び施設の維持管理に関する業務 ④ その他、世田谷区が必要と認める業務 (2)世田谷区立世田谷文学館 ① 文学館条例第2条第2号から第7号までに規定する事業に関する業務のうち、世田谷区が指定した業務 ② 文学館の利用の承認等に関する業務 ③ 文学館の施設及び設備の維持管理に関する業務 ④ その他、世田谷区が必要と認める業務 (3)世田谷区立世田谷文化生活情報センター ① センター条例第2条各号に規定する事業に関する業務のうち、世田谷区が指定した業務 ② センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 ③ その他、世田谷区が必要と認める業務 2 指定期間は令和4年(2022年)4月1日から令和9年(2027年)3月31日までの5年間とする。
世田谷区文化施設の管理に関する年度協定	令和7年(2025年)4月1日	世田谷区長	1 (公財)せたがや文化財団は、世田谷区立世田谷美術館、世田谷区立世田谷文学館、世田谷区立世田谷文化生活情報センターの指定管理者として、世田谷区文化施設の管理運営に関する基本協定及び年度協定の仕様書に定める業務を行う。 2 協定期間は令和7年(2025年)4月1日から令和8年(2026年)3月31日までの1年間とする。

5. 登記事項

理事変更登記

令和7年(2025年)7月1日登記

令和7年(2025年)6月19日付 理事変更 (10名重任、1名退任、1名就任)

代表理事変更登記

令和7年(2025年)7月1日登記

令和7年(2025年)6月19日付 代表理事変更 (1名重任)

6. 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

回	開催日	議案番号	件 名
第1回 定時 (オンライン 併用)	令和7年 (2025年) 5月29日	議案第1号	令和6年度公益財団法人せたがや文化財団事業報告について
		議案第2号	令和6年度公益財団法人せたがや文化財団決算について
		議案第3号	令和7年度公益財団法人せたがや文化財団補正予算(第一次)について
		議案第4号	役員等賠償責任保険(D&O保険)の締結について
		議案第5号	令和7年度公益財団法人せたがや文化財団第1回評議員会(定時)の招集について
		報告事項	公益財団法人せたがや文化財団旅費規程の一部改正について
			三軒茶屋駅周辺における公共機能の向上について
			世田谷パブリックシアター天井改修工事について
			公益財団法人せたがや文化財団理事長及び常務理事の職務執行状況について
第2回 臨時 (オンライン 併用)	令和7年 (2025年) 6月19日	議案第6号	公益財団法人せたがや文化財団理事長の選定について
		議案第7号	公益財団法人せたがや文化財団常務理事の選定について
第3回 定時 (オンライン 併用)	令和8年 (2026年) 2月25日	議案第8号	令和7年度公益財団法人せたがや文化財団補正予算(第二次)について
		議案第9号	令和8年度公益財団法人せたがや文化財団事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
		議案第10号	令和8年度公益財団法人せたがや文化財団事業の概要について
		議案第11号	理事長の専決処分に関する承認について(公益財団法人せたがや文化財団寄附金規程等の改正)
		議案第12号	令和7年度公益財団法人せたがや文化財団第2回評議員会(臨時)の招集について
		報告事項	公益財団法人せたがや文化財団給与規程等の改正について
			公益財団法人せたがや文化財団一般事業主行動計画(女性活躍推進法・次世代法 一体型)の改訂について

		報告事項	公益財団法人せたがや文化財団人材活用計画(令和7年度改訂版)について
			第6期世田谷区文化施設の指定管理提案に係る提案書の検討について
			公益財団法人せたがや文化財団理事長及び常務理事の職務執行状況について
第4回 臨時 (書面開催)	令和8年 (2026年) 3月18日	議案第13号	令和7年度公益財団法人せたがや文化財団第3回評議員会(臨時)の招集について

(2) 評議員会

回	開催日	議案番号	件 名
第1回 定時 (オンライン 併用)	令和7年 (2025年) 6月19日	議案第1号	令和6年度公益財団法人せたがや文化財団事業報告について
		議案第2号	令和6年度公益財団法人せたがや文化財団決算について
		議案第3号	令和7年度公益財団法人せたがや文化財団補正予算(第一次)について
		議案第4号	公益財団法人せたがや文化財団理事の選任について
		報告事項	公益財団法人せたがや文化財団旅費規程の一部改正について
			役員等賠償責任保険(D&O保険)契約の締結について
			三軒茶屋駅周辺における公共機能の向上について
			世田谷パブリックシアター天井改修工事について
第2回 臨時 (オンライン 併用)	令和8年 (2026年) 3月12日	議案第5号	令和7年度公益財団法人せたがや文化財団補正予算(第二次)について
		議案第6号	令和8年度公益財団法人せたがや文化財団事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
		議案第7号	令和8年度公益財団法人せたがや文化財団事業の概要について
		報告事項	公益財団法人せたがや文化財団給与規程等の改正について
			公益財団法人せたがや文化財団寄附金規程等の改正について
			公益財団法人せたがや文化財団一般事業主行動計画(女性活躍推進法・次世代法 一体型)の改訂について
			公益財団法人せたがや文化財団人材活用計画(令和7年度改訂版)について
			第6期世田谷区文化施設の指定管理提案に係る提案書の検討について
第3回 臨時 (書面開催)	令和8年 (2026年) 3月25日	議案第8号	公益財団法人せたがや文化財団理事長の報酬額について
		議案第9号	公益財団法人せたがや文化財団監事の選任について

7. 役員名簿

(令和 8 年(2026 年)3 月 31 日現在)

【理事:11 名】

【任期:令和 7 年(2025 年)6 月 19 日から令和 9 年度(2027年度)定時評議員会の終結の時まで】

役職名	氏 名	備 考
理 事 長	青 柳 正 規	公益財団法人せたがや文化財団 理事長
常務理事	高 萩 宏	公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文化生活情報センター館長
常務理事	橋 本 善 八	公益財団法人せたがや文化財団 世田谷美術館館長
常務理事	亀 山 郁 夫	公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館館長
常務理事	志 賀 毅 一	公益財団法人せたがや文化財団 事務局長
理 事	柏 雅 康	世田谷区商店街連合会会長
理 事	熊 谷 吏 夏	弁護士
理 事	鴻 巣 友 季 子	文芸評論家、大学講師
理 事	武 濤 京 子	昭和音楽大学名誉教授・客員教授
理 事	名 児 耶 明	筆の里工房館長
理 事	板 東 久 美 子	日本赤十字社常任理事

【監事:2 名】

【任期:令和 5 年(2023年)6 月 15 日から令和 9 年度(2027年度)定時評議員会の終結の時まで】

監 事	大 澤 正 文	世田谷区会計管理者
監 事	山 本 嶋 子	公認会計士

8. 評議員名簿

(令和 8 年(2026年)3 月 31 日現在)

【評議員:11 名】

【任期:令和 5 年(2023年度)6 月 15 日から令和 9 年度(2027年度)定時評議員会の終結の時まで】

氏 名	備 考
秋 山 光 文	お茶の水女子大学名誉教授 公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事長
朝 生 公 章	区内企業代表
上 田 啓 子	世田谷区町会総連合会副会長
大 笹 吉 雄	演劇評論家
ゴロウィナ・ クセーニヤ	東洋大学社会学部准教授 イクリスせたがや共同代表
齋 藤 啓 子	武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科教授
佐々木 健二	弁護士
島 田 成 年	東京商工会議所世田谷支部副会長
田 村 哲 夫	学校法人渋谷教育学園学園長 学校法人青葉学園学園長
沼 野 雄 司	桐朋学園大学教授
萩 原 朔 美	多摩美術大学名誉教授 前橋文学館館長

9. 財団幹部名簿

(令和8年(2026年)3月31日現在)

職 務 名	氏 名	備 考
理事長	青 柳 正 規	
事務局長	志 賀 毅 一	常務理事
統括部長	山 本 恵 造	
世田谷文化生活情報センター館長	高 萩 宏	常務理事
副館長	馬 場 利 至	
総務部長	清 水 昭 夫	
生活工房室長	山 本 恵 造	事務局統括部長兼務
劇場部長	滝 口 健	
技術部長	福 田 純 平	
音楽事業部長	蓑 輪 勇 二	
国際事業部長	清 水 昭 夫	総務部長兼務
世田谷美術館館長	橋 本 善 八	常務理事
副館長	安 間 信 雄	
総務部長	安 間 信 雄	副館長事務取扱
学芸部長	村 上 由 美	
世田谷文学館館長	亀 山 郁 夫	常務理事
副館長	片 桐 誠	
総務部長	片 桐 誠	副館長事務取扱
学芸部長	中 垣 理 子	

芸術監督	白 井 晃	
音楽監督	池 辺 晋 一 郎	

財 務 諸 表

1. 貸借対照表

(令和8年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度		前年度		増 減	
I 資産の部						
1. 流動資産						
①現金預貯金	685,715,485		607,579,599		78,135,886	
②未収入金	171,661,726		199,889,754		△ 28,228,028	
③商品	35,489,053		35,350,014		139,039	
④貯蔵品	327,437		393,010		△ 65,573	
⑤繰延事業費	85,800,000		16,500,000		69,300,000	
⑥前払金	7,073,124		7,691,688		△ 618,564	
⑦立替金	0		108,680		△ 108,680	
流 動 資 産 合 計	986,066,825		867,512,745		118,554,080	
2. 固定資産						
(1)基本財産						
①預貯金	102,812,193		102,126,288		685,905	
②国公債	697,187,807		697,873,712		△ 685,905	
基 本 財 産 合 計	800,000,000		800,000,000		0	
(2)特定資産						
①退職給付引当資産	332,221,521		293,634,805		38,586,716	
②使途指定寄付積立資産	11,722,231		10,253,731		1,468,500	
特 定 資 産 合 計	343,943,752		303,888,536		40,055,216	
(3)その他の固定資産						
①建物附属設備	92,665,576		88,227,885		4,437,691	
減価償却累計額	△ 58,528,014	34,137,562	△ 54,060,319	34,167,566	△ 4,467,695	△ 30,004
②器具備品	192,051,675		171,831,242		20,220,433	
減価償却累計額	△ 136,158,749	55,892,926	△ 126,911,526	44,919,716	△ 9,247,223	10,973,210
③リース資産	124,149,479		45,410,200		78,739,279	
減価償却累計額	△ 37,008,443	87,141,036	△ 14,487,117	30,923,083	△ 22,521,326	56,217,953
④ソフトウェア	27,225,470		17,835,731		9,389,739	
⑤長期前払費用	0		881,830		△ 881,830	
⑥保証金等	60,000		60,000		0	
⑦大規模事業等実施積立金	31,500,000		31,500,000		0	
⑧経営安定化積立金	215,000,000		215,000,000		0	
⑨事故対策積立金	90,000,000		90,000,000		0	
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計	540,956,994		465,287,926		75,669,068	
固 定 資 産 合 計	1,684,900,746		1,569,176,462		115,724,284	
資 産 合 計	2,670,967,571		2,436,689,207		234,278,364	
II 負債の部						
1. 流動負債						
①未払金	289,404,338		259,343,433		30,060,905	
②前受金	4,307,600		18,553,690		△ 14,246,090	
③預り金	55,486,445		64,328,762		△ 8,842,317	
④賞与引当金	67,104,261		63,848,102		3,256,159	
⑤リース債務	23,805,152		7,701,381		16,103,771	
流 動 負 債 合 計	440,107,796		413,775,368		26,332,428	
2. 固定負債						
①退職給付引当金	332,221,521		293,634,805		38,586,716	
②リース債務	65,268,855		24,008,590		41,260,265	
③長期前受金	2,192,660		0		2,192,660	
固 定 負 債 合 計	399,683,036		317,643,395		82,039,641	
負 債 合 計	839,790,832		731,418,763		108,372,069	
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
①受取寄附金	11,722,231		10,253,731		1,468,500	
②世田谷区出捐金	800,000,000		800,000,000		0	
指定正味財産合計	811,722,231		810,253,731		1,468,500	
(うち基本財産への充当額)	(800,000,000)		(800,000,000)		(0)	
(うち特定資産への充当額)	(11,722,231)		(10,253,731)		(1,468,500)	
2. 一般正味財産	1,019,454,508		895,016,713		124,437,795	
(うち基本財産への充当額)	(0)		(0)		(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)		(0)		(0)	
正 味 財 産 合 計	1,831,176,739		1,705,270,444		125,906,295	
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	2,670,967,571		2,436,689,207		234,278,364	

2. 損益計算書(正味財産増減計算書)

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：円)

科 目		当年度	前年度	増 減
I	一般正味財産の部			
1	経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	基本財産運用益	3,728,332	2,599,958	1,128,374
	基本財産運用益	3,728,332	2,599,958	1,128,374
	特定資産運用益	1,258,300	1,261,308	△ 3,008
	特定資産運用益	1,258,300	1,261,308	△ 3,008
	事業収益	2,075,159,296	1,568,869,265	506,290,031
	事業運営収益	1,159,756,455	783,817,377	375,939,078
	区事業等受託収益	915,402,841	785,051,888	130,350,953
	受取区補助金	1,458,304,848	1,317,868,897	140,435,951
	受取区補助金	1,458,304,848	1,317,868,897	140,435,951
	受取助成金等	76,706,470	102,765,893	△ 26,059,423
	受取助成金等	76,706,470	102,765,893	△ 26,059,423
	受取寄附金	900,000	0	900,000
	受取寄附金	900,000	0	900,000
	受取負担金	13,068,558	13,390,532	△ 321,974
	受取負担金	13,068,558	13,390,532	△ 321,974
	雑収益	1,114,307	826,317	287,990
	雑収益	398,482	646,995	△ 248,513
	受取利息	715,825	179,322	536,503
	経 常 収 益 計	3,630,240,111	3,007,582,170	622,657,941
	(2) 経常費用			
	事業費	3,389,148,642	2,842,670,276	546,478,366
	給料手当等	812,489,102	753,742,842	58,746,260
	賞与引当金繰入	62,633,873	59,664,135	2,969,738
	退職給付費用	40,363,750	29,749,503	10,614,247
	交際費	671,546	628,556	42,990
	式典費	716,948	170,513	546,435
	会議費	632,732	344,404	288,328
	旅費交通費	21,480,002	14,494,103	6,985,899
	通信運搬費	8,433,813	9,835,943	△ 1,402,130
	消耗経費	34,586,202	33,232,121	1,354,081
	印刷製本費	48,167,870	46,192,420	1,975,450
	保険料	4,027,047	4,103,547	△ 76,500
	修繕費	20,120,232	27,443,868	△ 7,323,636
	光熱水費	11,177,342	11,829,089	△ 651,747
	諸謝金	44,930,835	47,503,257	△ 2,572,422
	支払負担金	80,422,277	55,092,198	25,330,079
	委託費	995,195,194	908,653,432	86,541,762
	使用料及び賃借料	42,685,899	48,003,097	△ 5,317,198

(単位：円)

科 目		当年度	前年度	増 減
	支払手数料	52,136,361	30,447,955	21,688,406
	広報宣伝費	99,533,571	79,447,735	20,085,836
	臨時雇賃金	87,323,521	79,430,793	7,892,728
	租税公課	39,123,000	31,576,630	7,546,370
	上演出演料	503,400,363	308,734,573	194,665,790
	舞台費	245,695,603	142,735,224	102,960,379
	制作企画費	72,320,175	60,762,811	11,557,364
	商品仕入	6,210,359	8,584,343	△ 2,373,984
	減価償却費	51,038,734	47,696,266	3,342,468
	支払利息（リース債務）	3,429,869	994,811	2,435,058
	流動資産除却損	73,815	1,522,602	△ 1,448,787
	雑費	128,607	53,505	75,102
	管理費	114,837,641	103,808,325	11,029,316
	役員報酬	5,239,744	5,022,944	216,800
	給料手当等	57,260,443	57,453,340	△ 192,897
	賞与引当金繰入	4,470,388	4,183,967	286,421
	退職給付費用	3,779,564	2,914,558	865,006
	交際費	16,331	9,551	6,780
	旅費交通費	288,445	346,551	△ 58,106
	通信運搬費	204,236	178,497	25,739
	消耗経費	175,833	500,104	△ 324,271
	印刷製本費	350,251	381,172	△ 30,921
	保険料	533,090	411,550	121,540
	諸謝金	2,157,420	0	2,157,420
	支払負担金	141,600	139,200	2,400
	委託費	25,310,110	18,638,132	6,671,978
	使用料及び賃借料	6,337,294	4,472,460	1,864,834
	支払手数料	362,967	357,621	5,346
	臨時雇賃金	6,255,861	6,778,405	△ 522,544
	租税公課	868,364	1,199,900	△ 331,536
	減価償却費	1,085,700	820,373	265,327
経 常 費 用 計		3,503,986,283	2,946,478,601	557,507,682
当期経常増減額		126,253,828	61,103,569	65,150,259
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
	雑収益	165,262	25,890	139,372
	雑収益	165,262	25,890	139,372
	雑収益	165,262	25,890	139,372
経 常 外 収 益 計		165,262	25,890	139,372
(2) 経常外費用				
	固定資産除却損	773,295	5	773,290
	固定資産除却損	773,295	5	773,290
	固定資産除却損	773,295	5	773,290
経 常 外 費 用 計		773,295	5	773,290

(単位：円)

科 目		当年度	前年度	増 減
当期経常外増減額		△ 608,033	25,885	△ 633,918
他会計振替前当期一般正味財産増減額		125,645,795	61,129,454	64,516,341
法人税、都民税及び事業税		1,208,000	6,969,700	△ 5,761,700
当期一般正味財産増減額		124,437,795	54,159,754	70,278,041
一般正味財産期首残高		895,016,713	840,856,959	54,159,754
一般正味財産期末残高		1,019,454,508	895,016,713	124,437,795
Ⅱ	指定正味財産の部			
	受取寄附金	1,468,500	1,462,753	5,747
	基本財産運用益	3,728,332	2,599,958	1,128,374
	一般正味財産への振替額	3,728,332	2,599,958	1,128,374
	当期指定正味財産増減額	1,468,500	1,462,753	5,747
	指定正味財産期首残高	810,253,731	808,790,978	1,462,753
	指定正味財産期末残高	811,722,231	810,253,731	1,468,500
Ⅲ	正味財産期末残高	1,831,176,739	1,705,270,444	125,906,295

(1)損益計算書(正味財産増減計算書) 内訳表

科 目		公益目的事業会計		
		公1 文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	公2 市民活動の支援及び 振興に関する事業	小計
I	一般正味財産の部			
1	経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	基本財産運用益	0	0	0
	基本財産運用益	0	0	0
	基本財産運用益	0	0	0
	特定資産運用益	0	0	0
	特定資産運用益	0	0	0
	特定資産運用益	0	0	0
	事業収益	2,025,434,439	374,900	2,025,809,339
	事業運営収益	1,110,031,598	374,900	1,110,406,498
	事業運営収益	1,110,031,598	374,900	1,110,406,498
	区事業等受託収益	915,402,841	0	915,402,841
	指定管理受託収益	759,623,000	0	759,623,000
	区事業受託収益	155,779,841	0	155,779,841
	受取区補助金	1,267,037,848	53,258,000	1,320,295,848
	受取区補助金	1,267,037,848	53,258,000	1,320,295,848
	受取区補助金	1,267,037,848	53,258,000	1,320,295,848
	受取助成金等	75,183,470	1,523,000	76,706,470
	受取助成金等	75,183,470	1,523,000	76,706,470
	受取助成金	75,183,470	1,523,000	76,706,470
	受取寄附金	900,000	0	900,000
	受取寄附金	900,000	0	900,000
	受取寄附金	900,000	0	900,000
	受取負担金	6,954,556	0	6,954,556
	受取負担金	6,954,556	0	6,954,556
	受取負担金	6,954,556	0	6,954,556
	雑収益	346,142	0	346,142
	雑収益	346,142	0	346,142
	雑収益	346,142	0	346,142
	受取利息	0	0	0
	受取利息	0	0	0
	経常収益計	3,375,856,455	55,155,900	3,431,012,355

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
0	0	0	3,728,332		3,728,332
0	0	0	3,728,332		3,728,332
0	0	0	3,728,332		3,728,332
0	0	0	1,258,300		1,258,300
0	0	0	1,258,300		1,258,300
0	0	0	1,258,300		1,258,300
46,145,218	3,204,739	49,349,957	0		2,075,159,296
46,145,218	3,204,739	49,349,957	0		1,159,756,455
46,145,218	3,204,739	49,349,957	0		1,159,756,455
0	0	0	0		915,402,841
0	0	0	0		759,623,000
0	0	0	0		155,779,841
0	0	0	138,009,000		1,458,304,848
0	0	0	138,009,000		1,458,304,848
0	0	0	138,009,000		1,458,304,848
0	0	0	0		76,706,470
0	0	0	0		76,706,470
0	0	0	0		76,706,470
0	0	0	0		900,000
0	0	0	0		900,000
0	0	0	0		900,000
172,650	5,941,352	6,114,002	0		13,068,558
172,650	5,941,352	6,114,002	0		13,068,558
172,650	5,941,352	6,114,002	0		13,068,558
30,340	0	30,340	737,825		1,114,307
30,340	0	30,340	22,000		398,482
30,340	0	30,340	22,000		398,482
0	0	0	715,825		715,825
0	0	0	715,825		715,825
46,348,208	9,146,091	55,494,299	143,733,457	0	3,630,240,111

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域文化創造活動の支援及び教育普及に関する事業	市民活動の支援及び振興に関する事業	
	(2) 経常費用			
	事業費	3,295,504,585	51,176,692	3,346,681,277
	給料手当等	782,407,164	28,890,582	811,297,746
	賞与引当金繰入	60,858,464	1,672,356	62,530,820
	退職給付費用	40,201,726	92,503	40,294,229
	交際費	661,456	10,090	671,546
	式典費	716,948	0	716,948
	会議費	632,732	0	632,732
	旅費交通費	21,453,002	27,000	21,480,002
	通信運搬費	7,846,170	92,760	7,938,930
	消耗経費	29,519,682	1,041,075	30,560,757
	印刷製本費	48,085,870	71,660	48,157,530
	保険料	3,989,869	37,178	4,027,047
	修繕費	20,120,232	0	20,120,232
	光熱水費	4,775,889	0	4,775,889
	諸謝金	44,543,348	387,487	44,930,835
	支払負担金	80,409,277	10,000	80,419,277
	委託費	959,974,985	14,918,978	974,893,963
	使用料及び賃借料	40,104,680	1,818,668	41,923,348
	支払手数料	50,065,596	4,095	50,069,691
	広報宣伝費	99,461,601	71,970	99,533,571
	臨時雇賃金	85,488,848	1,834,673	87,323,521
	租税公課	38,895,202	2,120	38,897,322
	上演出演料	503,400,363	0	503,400,363
	舞台費	245,695,603	0	245,695,603
	制作企画費	72,192,751	127,424	72,320,175
	商品仕入	0	0	0
	減価償却費	50,489,473	66,073	50,555,546
	支払利息（リース債務）	3,429,869	0	3,429,869
	流動資産除却損	73,815	0	73,815
	雑費	9,970	0	9,970

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
35,486,501	6,980,864	42,467,365			3,389,148,642
974,188	217,168	1,191,356			812,489,102
81,511	21,542	103,053			62,633,873
55,868	13,653	69,521			40,363,750
0	0	0			671,546
0	0	0			716,948
0	0	0			632,732
0	0	0			21,480,002
384,663	110,220	494,883			8,433,813
4,017,745	7,700	4,025,445			34,586,202
10,340	0	10,340			48,167,870
0	0	0			4,027,047
0	0	0			20,120,232
257,333	6,144,120	6,401,453			11,177,342
0	0	0			44,930,835
3,000	0	3,000			80,422,277
20,301,231	0	20,301,231			995,195,194
710,996	51,555	762,551			42,685,899
2,066,670	0	2,066,670			52,136,361
0	0	0			99,533,571
0	0	0			87,323,521
188,593	37,085	225,678			39,123,000
0	0	0			503,400,363
0	0	0			245,695,603
0	0	0			72,320,175
6,210,359	0	6,210,359			6,210,359
105,367	377,821	483,188			51,038,734
0	0	0			3,429,869
0	0	0			73,815
118,637	0	118,637			128,607

科 目			公益目的事業会計		
			公1	公2	小計
			文化芸術の振興、地域文化創造活動の支援及び教育普及に関する事業	市民活動の支援及び振興に関する事業	
		管理費			
		役員報酬			
		給料手当等			
		賞与引当金繰入			
		退職給付費用			
		交際費			
		旅費交通費			
		通信運搬費			
		消耗経費			
		印刷製本費			
		保険料			
		諸謝金			
		支払負担金			
		委託費			
		使用料及び賃借料			
		支払手数料			
		臨時雇賃金			
		減価償却費			
		租税公課			
		経 常 費 用 計	3,295,504,585	51,176,692	3,346,681,277
		当期経常増減額	80,351,870	3,979,208	84,331,078
	2	経常外増減の部			
	(1)	経常外収益			
		雑収益	165,262	0	165,262
		雑収益	165,262	0	165,262
		雑収益	165,262	0	165,262
		経 常 外 収 益 計	165,262	0	165,262
	(2)	経常外費用			
		固定資産除却損	773,295	0	773,295
		固定資産除却損	773,295	0	773,295
		固定資産除却損	773,295	0	773,295
		経 常 外 費 用 計	773,295	0	773,295

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
			114,837,641		114,837,641
			5,239,744		5,239,744
			57,260,443		57,260,443
			4,470,388		4,470,388
			3,779,564		3,779,564
			16,331		16,331
			288,445		288,445
			204,236		204,236
			175,833		175,833
			350,251		350,251
			533,090		533,090
			2,157,420		2,157,420
			141,600		141,600
			25,310,110		25,310,110
			6,337,294		6,337,294
			362,967		362,967
			6,255,861		6,255,861
			868,364		868,364
			1,085,700		1,085,700
35,486,501	6,980,864	42,467,365	114,837,641	0	3,503,986,283
10,861,707	2,165,227	13,026,934	28,895,816	0	126,253,828
0	0	0	0		165,262
0	0	0	0		165,262
		0			165,262
0	0	0	0	0	165,262
0	0	0	0		773,295
0	0	0	0		773,295
		0			773,295
0	0	0	0	0	773,295

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援及び 振興に関する事業	
	当期経常外増減額	△ 608,033	0	△ 608,033
	他会計振替前当期一般正味財産増減額	79,743,837	3,979,208	83,723,045
	他会計振替額	5,793,987	0	5,793,987
	法人税、都民税及び事業税	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	85,537,824	3,979,208	89,517,032
	一般正味財産期首残高	699,341,066	27,929,876	727,270,942
	一般正味財産期末残高	784,878,890	31,909,084	816,787,974
II	指定正味財産の部			
	受取寄附金	1,468,500	0	1,468,500
	基本財産運用益	0	0	0
	一般正味財産への振替額	0	0	0
	当期指定正味財産増減額	1,468,500	0	1,468,500
	指定正味財産期首残高	10,253,731	0	10,253,731
	指定正味財産期末残高	11,722,231	0	11,722,231
III	正味財産期末残高	796,601,121	31,909,084	828,510,205

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
0	0	0	0	0	△ 608,033
10,861,707	2,165,227	13,026,934	28,895,816	0	125,645,795
△ 4,830,959	△ 963,028	△ 5,793,987	0		0
1,007,217	200,783	1,208,000	0		1,208,000
5,023,531	1,001,416	6,024,947	28,895,816	0	124,437,795
160,092,740	17,118,610	177,211,350	△ 9,465,579	0	895,016,713
165,116,271	18,120,026	183,236,297	19,430,237	0	1,019,454,508
0	0	0	0		1,468,500
0	0	0	3,728,332		3,728,332
0	0	0	3,728,332	0	3,728,332
0	0	0	0	0	1,468,500
0	0	0	800,000,000	0	810,253,731
0	0	0	800,000,000	0	811,722,231
165,116,271	18,120,026	183,236,297	819,430,237	0	1,831,176,739

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については、取得価額と債券金額の差が金利の調整と認められるため償却原価法を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品については、先入先出法を採用している。

(3) 固定資産の評価方法

有形固定資産については定額法により減価償却を実施している。

無形固定資産については定額法により減価償却を実施している。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金については、職員に対する退職給付金の支給に備えるため、職員退職手当支給規程に基づく期末要支給額を計上している。

賞与引当金については、職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

平成20年4月以降の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、「リース取引に関する会計基準」等を適用し、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引にかかる方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上している。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(6) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込み方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
国 公 債	697,873,712	1,254,513	1,940,418	697,187,807
定 期 預 貯 金	80,000,000	0	0	80,000,000
普 通 預 金	22,126,288	685,905	0	22,812,193
小 計	800,000,000	1,940,418	1,940,418	800,000,000
特定資産				
退 職 給 付 引 当 資 産	293,634,805	43,347,405	4,760,689	332,221,521
使途指定寄附積立資産	10,253,731	1,468,500	0	11,722,231
小 計	303,888,536	44,815,905	4,760,689	343,943,752
合 計	1,103,888,536	46,756,323	6,701,107	1,143,943,752

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
国 公 債	697,187,807	(697,187,807)	—	—
定 期 預 貯 金	80,000,000	(80,000,000)	—	—
普 通 預 金	22,812,193	(22,812,193)	—	—
小 計	800,000,000	(800,000,000)	—	—
特定資産				
退 職 給 付 引 当 資 産	332,221,521	—	—	(332,221,521)
使途指定寄附積立資産	11,722,231	(11,722,231)	—	—
小 計	343,943,752	(11,722,231)	—	(332,221,521)
合 計	1,143,943,752	(811,722,231)	—	(332,221,521)

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
第 116 回名古屋高速道路債券	102,036,066	99,778,000	△ 2,258,066
第 138 回名古屋高速道路債券	100,000,000	97,490,000	△ 2,510,000
第 155 回名古屋高速道路債券	200,000,000	182,280,000	△ 17,720,000
R4 年度第 2 回大分県公募公債	99,899,275	89,720,000	△ 10,179,275

科 目	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
第 124 回日本高速道路保有・債務返済 機構債券	107,024,985	94,330,000	△ 12,694,985
第 9 回大阪府公債	88,227,481	81,090,000	△ 7,137,481
第 481 回大阪府公募公債	100,000,000	89,660,000	△ 10,340,000
第 236 回共同発行市場公募地方債	49,968,070	44,820,000	△ 5,148,070
第 1 回群馬県公募公債グリーンボンド	100,000,000	89,410,000	△ 10,590,000
合 計	947,155,877	868,578,000	△ 78,577,877

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補 助 金 等 の 名 称	交 付 者	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高	貸借対照表 上の 記載区分
令和 7 年度 世田谷区補助金	世田谷区	0	1,458,304,848	1,458,304,848	0	
令和7年度文化芸術振興 費(Innovate MUSEUM 事業)	文化庁	0	1,782,520	1,782,520	0	
令和 7 年度地域日本語教 育の総合的な体制づくり 推進事業	東京都	0	1,523,000	1,523,000	0	
令和 7 年度劇場・音楽堂 等機能強化推進事業(総 合支援事業)	独立行政法人 日本芸術文化 振興会	0	43,832,000	43,832,000	0	
令和7年度劇場・音楽堂等 機能強化推進事業(バリア フリー対応)		0	2,000,000	2,000,000	0	
令和7年度芸術文化振興 基金		0	3,000,000	3,000,000	0	
令和 7 年度地域の文化・ 芸術活動助成事業	一般財団法人 地域創造	0	861,000	861,000	0	
民間助成金	21 件	0	23,707,950	23,707,950	0	
合 計		0	1,535,011,318	1,535,011,318	0	

7. 関連当事者との取引の内容
なし

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	3,728,332
合 計	3,728,332

9. その他

平成23年4月1日に公益財団法人に移行している。

3. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載をしているため、記載を省略する。

2. 引当金の明細

賞与引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	63,848,102	67,104,261	63,848,102		67,104,261

退職給付引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	293,634,805	43,347,405	4,760,689		332,221,521

4. 財産目録

(令和8年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	8,482,870
	預貯金	三菱UFJ銀行三軒茶屋支店	運転資金として	360,630,005
		三菱UFJ銀行成城支店		807,518
		みずほ銀行世田谷支店		11,102,161
		三井住友銀行自由が丘支店		122,231,131
		昭和信用金庫本店		227,840
		昭和信用金庫三軒茶屋支店		564,274
		世田谷信用金庫用賀支店		71,060,627
		世田谷信用金庫駒沢支店		2,029,415
		世田谷信用金庫烏山支店		2,314,633
世田谷桜丘三郵便局		1,442,274		
東京中央農協千歳支店	2,281,528			
世田谷目黒農協本店	101,907,504			
ゆうちょ銀行	633,705			
未収入金		区受託料、助成金、チケット収入など	171,661,726	
商品	各館ショップ等	ミュージアムショップ等の商品	35,489,053	
貯蔵品	手元保管	収入印紙、郵券等	327,437	
繰延事業費	次年度実施事務所移転費用	将来に効果が及ぶ費用の繰延	85,800,000	
前払金		翌年度諸経費等	7,073,124	
流動資産合計				986,066,825
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	第116回名古屋高速道路債券	公益目的事業に必要な法人管理業務の財産であり、運用益を管理費の財源として使用している	102,036,066
		第138回名古屋高速道路債券		100,000,000
		第155回名古屋高速道路債券		200,000,000
		令和4年度第2回大分県公募公債		99,899,275
		第124回日本高速道路保有・債務返済機構債券		107,024,985
		第9回大阪府公債		88,227,481
		定期預貯金		東京中央農協千歳支店
		世田谷目黒農協本店	50,000,000	
		昭和信用金庫本店	10,000,000	
	普通預金	三菱UFJ銀行三軒茶屋支店	公益目的事業に必要な法人管理業務の財産であり、運用益を管理費の財源として使用している	22,812,193

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産	退職給付引当資産	・有価証券 第481回大阪府公募公債 第236回共同発行市場公募地方債 第1回群馬県公募公債グリーンボンド	職員に対する退職金の支払いに備えた積立資産	100,000,000
		・定期預金 東京中央農協千歳支店		49,968,070
		・普通預金 三菱UFJ銀行三軒茶屋支店		100,000,000
	使途指定寄付積立資産	・普通預金 三菱UFJ銀行三軒茶屋支店	せたがや文化財団の自主事業のための資金として管理	10,000,000
その他の固定資産	建物附属設備	スポットライト、配線設備等	公益目的保有財産であり、次の割合で用に供している 公益目的事業：97.9%	72,253,451
			収益事業：2.1%	11,722,231
	器具備品	映像・音響システム、展示ケース等	公益目的保有財産であり、次の割合で用に供している 公益目的事業：98.0%	33,420,673
			収益事業：2.0%	716,889
	リース資産	サーバー、パソコン等一式	公益目的保有財産であり、次の割合で用に供している 公益目的事業：97.6%	54,775,067
			収益事業：0.4%	1,117,859
			管理費：2.0%	85,049,651
	ソフトウェア	財団会計システム、美術館・文学館収蔵品管理システム等	公益目的保有財産であり、次の割合で用に供している 公益目的事業：94.9%	348,564
			管理費：5.1%	1,742,821
	敷金・保証金	駐車場保証金	公益目的事業の用に供している	25,836,971
	大規模事業等実施積立金	・定期預金 東京中央農協千歳支店 世田谷目黒農協本店 ・普通預金 三菱UFJ銀行三軒茶屋支店	公益目的事業に充当する積立資産	60,000
				16,500,000
				10,000,000
			5,000,000	

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他の 固定資産	経営安定化積立金	・ 定期預金	公益目的事業に充当 する積立資産	
		昭和信用金庫本店		70,000,000
		東京中央農協千歳支店		20,000,000
	事故対策積立金	世田谷目黒農協本店	公益目的事業に充当 する積立資産	120,000,000
		・ 普通預金		
		三菱UFJ銀行三軒茶屋支店		5,000,000
		・ 定期預金		
		世田谷信用金庫用賀支店		60,000,000
		世田谷信用金庫烏山支店		30,000,000
固定資産合計				1,684,900,746
資産合計				2,670,967,571
(流動負債)				
	未払金		今年度事業費等	264,284,355
			未払法人税等	1,208,000
			未払消費税等	15,530,900
			未払社会保険料等	8,381,083
	前受金		翌年度事業チケット 収入、翌年度分施設 利用料	4,307,600
	預り金		源泉所得税、住民 税、社会保険料等 チケット代	11,278,785
			区への補助金返還額	17,172,259
			受託販売商品の業者 支払い分等	22,438,152
				4,597,249
	賞与引当金		職員の賞与支払いに 備えた引当金	67,104,261
	リース債務		リース会計処理に伴 う負債(1年以内に支 払うもの)	23,805,152
流動負債合計				440,107,796
(固定負債)				
	退職給付引当金		職員に対する退職金 支払いに備えた引当 金	332,221,521
	リース債務		リース会計処理に伴 う負債(1年を超えて 支払うもの)	65,268,855
	長期前受金		翌々年度以降分施設 利用料	2,192,660
固定負債合計				399,683,036
負債合計				839,790,832
正味財産				1,831,176,739

監査報告書

公益財団法人せたがや文化財団

令和8年5月22日

理事長 青柳 正規 殿

公益財団法人せたがや文化財団

監事 山本 鳩子

監事 工野 宏一

私たち監事は、当財団の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会等の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、当財団の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書））及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当財団の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

令和8(2026)年6月発行

公益財団法人 せたがや文化財団

〒154-0004

東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー5F

TEL 03-5432-1501 FAX 03-5432-1559

MAIL jimukyoku@setagaya-ac.net

URL <https://www.setagaya-bunka.jp>

*この冊子はリサイクルできます

(様式5)

外郭団体役員名簿

(令和8年4月1日現在)

外郭団体名	氏名	役職	肩書	任期(自)	任期(至)
公益財団法人 せたがや文化財団	青柳 正規	理事長	公益財団法人せたがや文化財団理事長	令和7年6月19日	令和9年度定時評議員会終結まで
公益財団法人 せたがや文化財団	高萩 宏	常務理事	世田谷文化生活情報センター館長	令和7年6月19日	令和9年度定時評議員会終結まで
公益財団法人 せたがや文化財団	橋本 善八	常務理事	世田谷美術館館長	令和7年6月19日	令和9年度定時評議員会終結まで
公益財団法人 せたがや文化財団	亀山 郁夫	常務理事	世田谷文学館館長	令和7年6月19日	令和9年度定時評議員会終結まで
公益財団法人 せたがや文化財団	志賀 毅一	常務理事	事務局長 区OB	令和7年6月19日	令和9年度定時評議員会終結まで
公益財団法人 せたがや文化財団	鴻巣 友季子	理事	文芸評論家、大学講師	令和7年6月19日	令和9年度定時評議員会終結まで
公益財団法人 せたがや文化財団	熊谷 吏夏	理事	弁護士	令和7年6月19日	令和9年度定時評議員会終結まで
公益財団法人 せたがや文化財団	柏 雅康	理事	世田谷区商店街連合会会長	令和7年6月19日	令和9年度定時評議員会終結まで
公益財団法人 せたがや文化財団	武濤 京子	理事	昭和音楽大学名誉教授・客員教授	令和7年6月19日	令和9年度定時評議員会終結まで
公益財団法人 せたがや文化財団	名児耶 明	理事	筆の里工房館長	令和7年6月19日	令和9年度定時評議員会終結まで
公益財団法人 せたがや文化財団	板東 久美子	理事	日本赤十字社常任理事	令和7年6月19日	令和9年度定時評議員会終結まで
公益財団法人 せたがや文化財団	山本 嶋子	監事	公認会計士	令和5年6月15日	令和9年度定時評議員会終結まで
公益財団法人 せたがや文化財団	玉野 宏一	監事	世田谷区会計管理者	令和8年4月1日	令和9年度定時評議員会終結まで